



伊藤音次郎日記

1925(大正 14)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成 30)年 6 月

* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼0ページ▲▼

大正十四年

▲▼1ページ▲▼ 前年ヨリ繰越事項

旧会社清算
新規發展策ヲ講ズ

▲▼2ページ▲▼ 大正十四年要記

○他カヲタノムベカラズ
○三月廿七日ヲ見ヨ

▲▼3ページ▲▼ 1月

○陸軍朝日注文取ルコト 中島式解決ノコト 急
○北海道飛行ヲ具体化スルコト
○紙製飛行機完成ニ努力スルコト 橋本
○安藤案ヲ確カメ事実ナレバ進行スルコト 急
○稲垣送金

▲▼4ページ▲▼ 大正14(1925)年1月1日(木)

天気 曇少晴少雨
朝風呂四方拝 家内皆無事 徳治ノ腕ト金ナキ事ノミ不足
九時半禮服ニ着替エ川辺ニ立寄り電車ニテ上京 佐藤喜三郎挨拶 式中五百円会社
買収説ヲ聞ク 不圖立寄りテ第一ノ福音縁起ヲ嬉(ママ)ブ
知覽ヲ訪ヒ同道シテ本部長安満氏ニ行ク 來客アリ名刺ノミニテ自分獨兒玉課長ニ挨拶
之又來客アリ話シノイトマナク辭シテ鳥飼高田ニ寄り七時ノ電車ニテ帰宅 川辺
夫妻來宅 話シテ十一時就寝

▲▼5ページ▲▼ 大正14(1925)年1月2日(金)

天気 晴

朝橋本ヲ呼ビニヤリ今年度ノ計畫ヲ話シ本日ノ廻禮(千葉方面行)ヲタノム 自分ハ信太郎徳治ヲ連レ千葉徳永氏白戸氏ニ挨拶 後小供ニ曲馬ヲ見セテ七時前帰宅
紙製飛行機橋本ニ命令ス 紙製ノ名ヲ適當ノモノヲ考慮スルコト
夜金太郎川辺妻ト花 十二時就床

千葉方面年賀

○紙製飛行機進メルコト

▲▼8ページ▲▼ 大正14(1925)年1月3日(土)

天気 晴

九時起床

學校獨立ノ予算書作製夜ニ及ブ 佐野來一通リ話シス
夜十一時就床

○十一月分決算支出調べ

○學校獨立ノ収支予算川辺君トノ協定 所員ノ同意ヲモトム

▲▼7ページ▲▼ 大正14(1925)年1月4日(日)

天気 晴曇

本日ノ予定ヲ変更シ作業報告書ヲ佐野ニ書カセ自分ハ收支十二月分ヲ取調べ
鳥飼氏來 佐野、高野、菅野等ト晝食

本日ヨリ發動機部ノミ仕事ヲ初ム

午後写真ノ原板整理ヲナス

朝高橋健來

○上京 高田デ銀行及高山ノ件聞合セ 加藤正世分其他清算へ渡シ

○菱伊氏會見 安藤等協定及清算方針確立ノコト

▲▼8ページ▲▼ 大正14(1925)年1月5日(月)

天気 快晴

高田、朝日、早川(早川ノ用件ヲ主トシ) 佐野上京セシム 夜帰ル 皆不在ノ由 明日
早川ダケヤルコトニス 夜高田ヨリ明朝來テ呉レトノ來電アリ

朝眞写(ママ)整理ヲ終ル 橋本ヲ呼ビ設計ヲ急ガス。山崎來 川西ヨリ返書ナシ 今一回ヤル事ニス
晝藤森、三倉來 手形ノ件明日高田ト会见返事スル事トス
夜花 十一時過ギ床ニ就ク
古金古タイヤーヲ賣テ三十五円ヲ得

▲▼9ページ▲▼ 大正14(1925)年1月6日(火)

天気 快晴

時事 海軍ノ帝都發(ママ)飛行アリ

發信 後藤勇吉エ山崎ノ件

正午前高田ニ行ク 昨日横山、伴野、高田会见 北海道土地問題分前下記ノ通りニ話シ合アツタトノ事 三分六運動費其他トシテ別ニスル事 三分五ノヲ政党、横山伊野ニ於テ分配 三分五ノハ伊藤取分 其内二分ヲ伊藤一分五ノヲ高田、堀ニ分配
吉田禎治不在ノ爲メ朝日ニ行ク 十日頃發動機送ルトノコト 六時過ギ帰宅 夕食中
菊池帰ル 秋田縣ニテ飛行ノ事 個人デ金出ス人アルトノコト

▲▼10ページ▲▼ 大正14(1925)年1月7日(水)

天気 曇リ

八時起床 工場ヲ一順 本日發動機部モ休ム

大毎ノ二式三日破損分來ル 吉田ヨリ來翰 修理依頼ノ件

信太郎ヲ連レテ正午上京 鳥飼ニ寄ル 吉田來ラズ 日日ニ電話セシモ居ラズ手紙ニ爲替手形控ヲ入レテ明日來タラ渡ス様依頼シテ帰ル 対馬氏二年賀 明治神宮参拝後 四時晝食 安藤幾太郎氏訪問 不在 畑閣下二年賀ノ爲メデ丁度帰宅サレタルバカリニテ玄關ダケニテ帰ル

福知氏ヨリ吉田宛十年式写真送レトノ來電アリ 我點(ママ)行カズ

▲▼11ページ▲▼ 大正14(1925)年1月8日(木)

天気 快晴

今日仕事始メニ付七時半工場ニ行ク 男工一名女工五名發動機三名金工一名 樋口妻君病氣ノ爲休 正午迄女工六工場ノ掃除ナドヲサセル

横山氏同道 高田來場ノ予定ノ處高田治作使トシテ來 明日福島ニ行ク予定ニテ本日來ラレズ 小生ニモ同行シタシトノコトニ午後上京 川辺君ト道々學校ノ事協議ス 三時半高田着 費用ハ持タセルカラ一所ニ行キ都合デ北海道迄行クトノコトニ同行ヲ

約シスグ永住町へ金策ノ爲メ川辺君ヲ訪フ 不在 帰宅 妻君ニ手紙ヲ事傳テル 入浴
夕食後床

▲▼12ページ▲▼ 大正14(1925)年1月9日(金)

天気 曇少雨

昨日ノ協議ニ基キ福島北海道ニ向フベク仕度ヲナス 昨夜川辺ノ妻君ニ依頼セシ金策
ノ手紙ニツキ八時過ぎ妻ヲヤル 後不在中ノ事ヲ書付ケ佐野、橋本トヨク打合ス。仕
度シテ川辺ニ行キ表ニテ百五十円一時借リス(川辺二百円借りタラシ) 共ニ上京 三
百円ノ約手ヲ書イテ川辺ニ預ケル

局ニ行キ新年ノ挨拶 計器拂下代金ヲ預ケ兒玉課長ニ稲垣ノ事、宮本手形ノコト、朝
日ノ仕事ノコト、北海道飛行ノコト、飛行部獨立ノコトニツキ領(ママ)解ヲ求ム。事ム所
ニテ知覧君ニ會フ 本部ノコト 航空研究所ノコト 安藤氏ノコトヲ頼ンデ夕食後高田
ニ行 横山氏妻君風邪ノ爲メ明日ニ延期 高田ニ泊 十二時床

▲▼13ページ▲▼ 大正14(1925)年1月10日(土)

天気 曇後晴

昨夜降り初メタル雪一寸三分 晝頃迄ツゞク 午後晴レ

終日高田ニ階ニテ講談クラブヲ見ル 五時頃ヨリ横山隆氏訪問 米山氏ニ會フ 十一
時出發ノ打合セラシタ 幕内ニ帰リ夕食後出發

横山氏オソク大ニ氣ヲモム ヤット間ニ合ッテ出ル

▲▼14ページ▲▼ 大正14(1925)年1月11日(日)

天気 晴

時事 午前十一時山階ノ宮殿下台臨 晝食ヲ召サレ午後三時頃還啓サル

ウンヨク眠ル 高田氏一睡モセズ七時福島着 通知ノ行違ヒアリ出迎エナク間違(ゴ)ッ
ク

駅前ノ宿ニテ朝食 稲葉氏來 十一時頃自動車ニテ飯坂ニ向フ 湯野稻荷屋ニ入ル
終日雑談 五時頃稲葉氏自宅ニ帰ル 協商八明日ノコト 余ハ此處見物談ナリ

二回湯ニ入ル 信州浅間ニ似テ無色澄明 熱サモ又熱シ

夕食後町ヲ一巡ス サビシイ事 寒サハ予期ニ反シ東京トカワリナシ

▲▼15ページ▲▼ 大正14(1925)年1月12日(月)

天気 雪

雪三明ケテ雪三暮レル山ノ湯ノ里 時々晴レ 風強シ 午前中發信八通繪ガキニテ
午後稲葉氏來 鉄道問題大体協定ニ入ル 余ハ湯ニ行キテ坐ヲハツス 具体協定ハ明日
ノ事トシテ四時半ノ自動車ニテ一先ツ帰ヘラル
夕食後現代ヲ見ル 九時就眠

ノンビリト 湯ノ中デ聞ク 吹雪カナ

▲▼16ページ▲▼ 大正14(1925)年1月13日(火)

天気 雪

午前中朝鮮航空会社ノ趣意書ヲ書ク 午後稲葉氏老組員ヲ連レテ來 イヨ、本題ニ
入ル 夕食ヲ共ニス 九時頃帰ヘラル
稲葉組トシテハ仕事ニハ非常ニヤリタイ希望ヲ持ツテ居ルガ会社ノ未成立ト云フコトニ
大分懸念ガアルラシイ口振りデ明日確定の返事アル筈
佐野ニ用件ト稲垣へ出ス手紙津田沼工送ル

今日も又 雪ニたゞられ 坐敷牢

▲▼17ページ▲▼ 大正14(1925)年1月14日(水)

天気 晴曇風

發信東京朝日計畫部

今日ハ大ニベンキウヲシタ 朝鮮ノ趣意書ヲ終リ午後航空資料ニヨツテ講話材料ヲ
集メタリ、ハンドレーページノ間隙翼ヲ研究ス 話シハ今日ヨリ具体案ニ入り稲葉氏モ當
宿ニ泊ラル 明日決定ヲ見ルベシ
内容ハ知ラズ

今日も又 無駄に一日くらしけり なやめる我家 氣に懸りつゝ

▲▼18ページ▲▼ 大正14(1925)年1月15日(木)

天気 晴

發信 安岡駒好、松本源三郎、知覧鳥飼

晝前自動車ニテ高田、横山両ト稲葉氏訪問 お寺ノ様ナ感ジノスル家デアッタ 鉄道
問題ハ覺書成立シタラシカッタ

禁酒ト飛行機ノ講演ヲスルベク中學其他聞合セラレタガイヅレモ學校側ノ方デ都合悪
ルカッタ 横山氏ハ残念ソウデアッタガ自分ハホットシタ 夜イツ迄モ眠レズコマッタ
稲葉氏

寝苦しく 我家思ふて とりのこゑ

▲▼19ページ▲▼ 大正14(1925)年1月16日(金)

天気 晴

横山氏妻君病氣ノ爲メ晝頃福島ヲ引上グ 駅前辰巳屋ニ泊ル。宿ノモノ不親切ナリ
トテ横山高田両氏大ニ怒ル 馬鹿気タ事ダ 此人達ノ自論行ヒ等甚ダシン士振ル如ク
感ジラレイヤナ氣ガシテ來タ

今日モ又調印迄スミナガラマダ話終ラヌ由 グータラナ仕事ノ仕方ニモアキレタ
稲葉氏ノ都合ニテ高田帰京 横山氏モ一時上京 廿三四日頃稲葉氏同道渡道スルト
ノコト 小生盛岡ニ立寄り一足先キニ行クベク決シテ川辺、吉、佐野、知覧ニアテソ
レ、月内ニ帰レナイノデ其處置ヲ申ヤルコトハヤッタガ今日迄ノグータラヲ見テハ廿三
四日ニ必ず出立スルヤ否ヤモアヤシクナツテ來タノデ大ニマヨッタ
夜久シ振リデ活動ヲ横山氏ト共ニ見ル。歎キノクジヤク 写真モヨク役者モヨクナツタニ
ハ驚イタ。横山氏ハ感心シナカッタラシカッタ 万事ソノ通り

▲▼20ページ▲▼ 大正14(1925)年1月17日(土)

天気 晴少雪

終日宿 自分ハ今夜九時発盛岡ニテ照井ニ多少金策セシムル予定ヲナス 高田、横山今
夜十二時上京
知覧君ヨリ手紙來 運動金ナク僕ノ帰リヲ待ツトノコトニソレデハラチガ明カナイノデ
取アエズ金一兩日中ニ送ル旨ヲ申ヤリ運動ヲウナガス。佐野ヨリ何等通信ナクハガキ
出ス

日本製廉(ママ)ノ岡田氏 立川ノ木下氏ニ手紙出ス

▲▼21ページ▲▼ 大正14(1925)年1月18日(日)

天気 雪

五時着 赤帽ニ案内サセテ陸奥館ニ入ル。アンカヲ入レテ呉レタノデ、アタリナガラウ
ツ、ス 八時朝食 別記歌ガ出來タ 高田氏ニタノマレタ 手紙電報ヲ打チ手紙ヲ出ス
十時頃禿氏氏訪問 同社主催ノかるた会ヲ見物シ終テ禿氏宅ニ帰リ夕食後泊ル

阿部君來 明日夕食ニ同氏宅ニ行クコトヲ約ス 禿氏氏ヨリ白戸妻君以外ニ一万円定期予定シテ居ルトノコトヲ聞イテ実ニ親友トシテ交際スルニ足ラザルモノト憤概(ママ)ニタエナカッタ 一時頃眠ル

鶏ノ声、鐘についで 鳥鳴く 寒サニ氷る 盛岡の朝

此内ニ 人ありと見て 來つるかや、ものほしそくに 犬ノほゆるよ

午前九時 君ハ今 つゝがあらせず 都に入り 遠くはなれて 心淋しも

▲▼22ページ▲▼ 大正14(1925)年1月19日(月)

天気 晴

八時起床 朝食後阿部君ノ勤メ先キ職工照(ママ)介所ニ立寄り照井ニ行ク 靴ノ右カバト痛ク大ニ困ル 照井ノ評判甚ダ宜シカラズ。ガ金ヲ少シ取りタイト思テ行ツタガ青イ顔シテ、疾(ママ)デ困ツテ居ルトカノ事デアッタ 一寸話シテ居イテスグ帰ル トテモ出來ソウニモナカッタ 午後ハ職業紹介所デタ方迄遊ビ阿部君ノ宅ニ行ク 古ビタ大キナ家デ古イシヨセオ老舗ヲシノバセタ 妻君ハ相変ラズ濃ク塗ツテ居タ 十二時近ク迄笑ヒ興ジテ今夜ノ出發ヲ見合テ泊ル

照井ノ帰り大慈寺ニ參詣。横山氏照(ママ)介ノ日出館主中田ヲ呉服町ニ訪問シタ

▲▼23ページ▲▼ 大正14(1925)年1月20日(火)

天気 晴曇

八時起床 銭湯ニ行ク 朝食後十時照(ママ)介所ニ同行 後禿氏氏ニ帰り十一時社ニ同行 雑談 工藤長孝來 共ニ一度宿陸奥館ニ帰り知覽、堀、工場等エ手紙出ス。工藤ト共ニ照井ニ後援シタリト云フ野川氏宅ニ同行。八幡ノ女郎屋 シバラク待ツテ面会酒ノ馳走ニナツテ禿氏宅ニ五時帰り入浴後本街ノ扇屋ニ行ク 阿部君モ同席 藝者揃ワズ八幡ノ料亭ニ九時頃變ツテ又ノミ直ス 十一時ノ汽車ニ車迄來タガ禿氏氏帰サズツヒニ一時ノ汽車ニ延期ス。工藤、西小路、十二時頃旗亭ニ尋ネ來ル 立話シシテ分レ一時宿ニツイタガ、アマリ眠イノデ今夜ノ出發ヲ見合セ泊ル

▲▼24ページ▲▼ 大正14(1925)年1月21日(水)

天気 晴曇リ

宿ノ拂シテ八時十分ニ乗ル。初メテ這入ツタ時ハイヤナ坐敷へ通サレイヤナ感じガシタガ女中ガ丁寧ナノデ帰りニハ大變氣持ヨカッタ

青森近ク雪ガ降ツテ居タ 二尺位モ積ツテ居タ 青森ノ連絡乗場モ變ツテ居タ 二時

間余リアルノデ食堂デ晝食 四時ニ信太郎外工場ナドエ繪葉書ヲ出ス サンパツヲスル
内ニ丁度時間ニナツタ 松前丸ニ乗ル 船中阿部、禿氏両氏ニ禮状ヲ出ス 夜九時五分
函館着 コ、モ大変ヨクナツテ居タ 夕食後少時待ツテ十時二十分ニ乗ル スグ横ニナツ
テ眠ル

▲▼25ページ▲▼ 大正14(1925)年1月22日(木)

天気 曇雪

七時二十分札幌着 駅ニ出迎エテ居ル各宿ノ若イモノノ中ニ中村屋ヲ見出シ荷物ヲ持
タセテ宿ニ行ク 足ノ靴ズレガ馬鹿ニイタシダ 宿ニツイテ直シニヤロウト思ツテ聞クトゴ
ム靴ガヨイトノコトニ買フコトニシタガ僅カニ三四円シカ残金ノナイニ頗ル心細カッタ
川辺へ手形ニ枚入レテ送り金策ヲ依頼ス。高田、宅五到着ノ電報ヲ打ツ
晝前アマリ眠クナツタノデ床ヲ取ラセ、アンマヲ呼ンデヤラセル。ソレカラ、グッスリ眠タ
タ食入浴後食事シテ又床ニツク。イクラデモ眠イニハ自分デオカシカッタ

▲▼26ページ▲▼ 大正14(1925)年1月23日(金)

發信午前 知覽、信太郎、児玉、森川、早川

午後發信 吉、大蔵、高田、大坂兄、橋本、飛行部、知覽、下山田大佐

十二時半車ニテ竹下氏訪問ニ出ツ 五十位ビノ元氣ソウナ且ツ好々爺ラシイ人ヲソラ
サナイ人デアッタ 三十分程話シテ、大蔵ト橋本カラノ手紙ト今ツイタト云フ小包ヲ
受取ツテ帰途阿由葉氏訪問 コ、デモ三十分程話シテ帰ル

橋本ノ手紙デ朝日モノ二台ニ三日内ニ發送スル由デアル。又十二日ニ山階ノ宮殿下
三度目ノ台臨アリタリト 光榮至極 大ニ氣持ヨクナル ヨツテ午後ノ發動手紙ヲ書ク
夜町ヲ散歩シ遊樂館ノ活動ヲ見テ十一時過ギ帰ル

あまたゝび 台臨を得し 晴やかさ

▲▼27ページ▲▼ 大正14(1925)年1月24日(土)

天気 晴

發信 高見安次 返 荒井三郎 拂下頼 鳥飼、菱伊、佐藤、信太郎、好司。

三角山ノスキー大会ヲ見ニ行クツモリシテ居タガ手紙ヲ書イタリ北海道飛行ノ予算ヲ
立テタリシテ居タノデ、オソクナツテ金モナイノデ止メタ

高田君ニ打電ス 二三日カ、ルアトツミトノ返電アリタリ

夜二本ノンダ處馬鹿ニヨクキク酒デアッタ 思ワズ歌ナドロカラ出タ

さみしさを 酒で忘るゝ 夕まぐれ
返電を 見てやけくそに 今一本
一月に よい残りける 今日酒
どゞいつが たゞ何んとなく 口に出る
よいしれて たゞ書きちぐる 出駄落目の句

◆▼28ページ▲▼ 大正14(1925)年1月25日(日)

天気晴

朝大分降ツテ居タガ十時頃カラリト晴レタ
阿由葉氏ニ電話ヲカケテ居イテ公園ニ行ク マダ昨夜ノ雪ヲカイテ居タ 約七寸位積
ツテ居タ 其間氷ノ切出シヲ初メテ見タ
ヤガテホツケーガ初ツタ。中々面白カッタ 二時頃阿由葉氏來ラズ。竹下氏ヲ訪問ス
不在 宅ヨリ小包ト手紙数通來テ居タ 帰途、阿由葉氏訪問 今公園へ行ツタトノコ
トニスグ帰宿 手紙ヲ見テ、ソレレ事ム所、吉、川辺君へ返事出ス

朝タニ 日増ニ太る つらゝかな

◆▼29ページ▲▼ 大正14(1925)年1月26日(月)

發信 川辺、鈴木菊池事ム所。發動機部、組立部、金太郎、久松氏、村上 五平 發
信。

毎日ナス事モナク高田氏イツ立ツ共分ラズ氣ガ氣デナイノデ獨立デモ話シ進メル方針
ニツキ工夫ヲコラス

午後阿由葉、竹下両氏ヲ訪問シタガ不在 中島公園ヨリ豊平橋ノ方ニ散歩シテ帰ル
知覽君ヨリ日本自動車利子送レトノ電來ル 先ヅ延期承知シテ呉レタコトヲ嬉(ママ)
ブ

此處のさけ 二本のめば やりがさび
めんように にたるつらゝに 朝日さす
めんようの くびにもまごう つらゝかな

◆▼30ページ▲▼ 大正14(1925)年1月27日(火)

天気晴

發信 利子ノ件ニツキ知覽、鳥海(ママ) 台北号ノ件ニツキ謝文達。佐野ニ一通 來信
モアリ 佐野ヨリ
宅ヤ工場ノコトガ氣ニナツテ居タラ昨夜ハソシナ夢バカリ見タ
二時半五十円電爲替來ル スグ郵便局ニ行キ受取ル 早速安全カミソリノ外二三點買
物シタラ五円ナクナツタ

▲▼31ページ▲▼ 大正14(1925)年1月28日(水)

天氣 雪

毎日寢テモ醒メテモ氣ニ懸ル事ノミ 折角札幌迄來テ手ブラデ帰ル譯ニハ行カズ内ノ方
モ氣ニナルシ実ニ困ツタモノダ
午後竹下氏訪問 都合デ東京ヘ行クトノコト イヨ、益々遅レルカラ明日ハ阿由葉氏
ニ會ツテ進行ヲ計リタイモノダ
帰途新聞デ広告ヲ見テ居タジヤキーカーガンノ活動ヲ見テ竹下氏ニタノマレタ手紙ヲ
駅ニ入レテ帰宿 十一時 活動ヨリ駅前迄馬櫓ニノル 初メテダガ割合ニ乗心地ノヨイ
モノデアツタ 細カイ雪ハタチマチ、ヒザニ眞白クナツタ 何ンダカ露西亞ノ小説中ノ様
ナ氣ガシタ
対馬二郎氏ヘ手形ノ件發信

▲▼32ページ▲▼ 大正14(1925)年1月29日(木)

天氣 晴後曇

來信 高田、川辺、近藤、吉
發信 高田、同治作、川辺、吉、近藤
十時頃阿由葉氏來 明夜行ツテ上京スルトノコトニ二三氏ニ照(ママ)介状ヲ依頼ス
午後国際飛行場ノ設備費ヲ計算ス
夜夕食後阿由葉氏ヘ照(ママ)介状貰ヒニ行ク 女中ガ名刺ヲ持ツテ出テ來タ 三葉貫
フ少シ、シヤクニサワツタ。錦坐ヘ這入ツガ寒クテヤリキレナイノデーツダケ見テスグ帰
宿 入浴 床ニツク 十時

高々と 日本晴や 雪のあさ
空も地も、身をも心も清めける 登る朝日に 雪のかゞやく

▲▼33ページ▲▼ 大正14(1925)年1月30日(金)

天氣 晴

晴レタレドモ寒氣キビシ 朝少シ頭痛ガシタノデ十一時迄床ニ居タ 晝食後昨日作ツタ
ノヲ清書シテ高田ニ發送 夜九時二十分ニテ阿由葉ニ上京スルニツキ右国際飛行場ノ
維持費ニツイテ計算ヲシ尙小生ノ行動ニ関シ手紙ヲ同封シテ阿由葉氏ニ事傳ケル
鈴木ヨリ手紙來 飛行部ノ現状ト同人ノ自身ニ對スル心持チヲヨク書イテアツタ

▲▼34ページ▲▼ 大正14(1925)年1月31日(土)

天気 晴

今朝勘定書ヲ出サレタノデビクツトシタガ何氣ナク一所ニヤルコトニ云ツタ 横山氏ノ
話ガ出タ處横山氏ハコノエ余リ支拂ガヨクナイノデヤムヲ得ズ商品デ差引シテ居ルトノ
主人ノ話 道理デ待遇ガヨクナイト思ツタ

晝頃ヨリ測候所ヘ行ク 所長不在 代理ノ松川氏ニ面会 用談後大ニ話シテ林氏ヲ訪
フベク出懸タガ、ツヒニ見當タラズ湯谷ヘ行ツタガ之レモ見當ラナカッタ 四時帰宿 入
浴夕食後松川氏來訪 九時頃迄大ニ談ジ明日第一中學ノ雪合戦ヲ見ニ行ク約束ヲナ
ス

今日対談中フト今話シテ居ルノヲ何ニラドコ迄話シタカ忘レル様ナ感ジガ一二度シタ。
タシカニ頭腦ガ悪イ。ナントカ早く治療シタイモノダ 若返リ法デモ用ヒルカナ

▲▼35ページ▲▼ 2月

- 1 北海道具体化スルコト 金取ルコト
- 2 朝日機体輸送ノコト
- 3 陸軍同上
- 4 稲垣送金ノコト
- 5 会社清算ノ件
- 6 諸手形ノ件

▲▼36ページ▲▼ 大正14(1925)年2月1日(日)

天気 晴雪

朝八時半起床 來信 川辺、橋本外一通 右ニ對シソレ、發信ス
十時半頃松川氏來 共ニ第一中學ニ行ク 雪戦ナルモノヲ見タガ他ノ運動ニ比シテ大ニ
バンナ處ト純日本式ナ處ト又其真儉(ママ)ナ點ニ感ケキノ涙ガウカンダ

四時一先ヅ帰宿。七時松川氏ト樽新ノ板谷記者來 共ニ有合軒ニ行キ夕食ヲ共ニシ
今日ハ又馬鹿ニオシヤベリガ出來タ 飛行機ノ事ハ元ヨリ内閣問題カラ思想問題其他

十時ニツヒニ有合デ追ヒ出サレル迄話シテ居タ

▲▼37ページ▲▼ 大正14(1925)年2月2日(月)

天気晴

高田横山ヨリ一度帰レトノ手紙來ル 兎三角帰ルコトニシ決メタガ宿ノ拂ヲシテ行キタ
イノデ村上ニ借リルベク明日旭川へ行クコトニシタ。ソシテ五日ニ出ツ予定ニシタ 十時
半頃板谷君電話カケテ呉レタノデ支社ニ行キ共ニ林氏訪問 不在 夜約束ヲシテ帰途
タイムスニ立寄ル 何ンダカ金談デアッタ サンパツシテ宿ニ帰リ夕食後林氏ヲ訪問 二
時間余リ昔シノ飛行界ヲ論ジ佐渡島、竹島、外一名發信 高田ト宅へ五日立ツ旨打
電ス

▲▼38ページ▲▼ 大正14(1925)年2月3日(火)

天気晴

松川氏ニ旭川行キノ電話ヲシテ居ク。

十時二十分ニテ出發 車中北海ノ山口氏ト會フ 岩見沢迄同行 ユックリ飛行機ノ話
ヲスル タイムスニテ飛行機ホシイトノ由 拂下ノコト新機製作ノコト又ハ契約シテ飛行
スルコトナド話シス

三時二十分旭川着 車ニテスグ村上ニ行ク 直チニ酒ガ出ル 五時頃ヨリ北海ホテルト
云フノニ行ツテ又會食後活動ヲ見十一時帰宅 金ノコトハツヒニ云ヒ出セナカッタ。夜夢
ニ見タ

▲▼39ページ▲▼ 大正14(1925)年2月4日(水)

天気晴

八時起床 錢湯ニ行キ帰ツテ朝カラ酒ガ出タ 一杯ヤリナガラトウ、百五十円切り
出シタ スグ承認シテ呉レタノデ先ヅ有難カッタ 十一時過ぎ名刺ニ借用証ヲ書イテ
渡シテ辭シ旭川新聞社ニ田中社長ヲ訪問シタガ上京中デ他ノ社員ニ會ツタガ別ニ之レ
ト云フ話モ出ナカッタ 飛行場問題ニツイテハ市長ガ非常ニ骨折ツテ居ルトノコトニマダ
時間ガ早イノデ長(ママ)役所へ行ツタガ市長モ助役モ不在 二時十八分ニテ帰札 入
浴夕食後問題ノ金春館ヲ見ニ行ツテ十一時就床。明日函館デ橋本君ノ女ノ事ヲ聞キ
合セルノ二名ガワカラナイノデ至急報デ聞合セタラ夜中ニモウ返事ガ來タ

▲▼40ページ▲▼ 大正14(1925)年2月5日(木)

天気晴

山口氏、松川氏、竹下氏、今日出発ノコト電話シテ居ク
カバンヲ求メ土産ニリンゴヲ八函買テ朝日、高田、早川、好、各一 津田沼ト出張所へ
各二函ツ、一ヶ一円九十四銭 運賃共宿ノ支拂ヲナシ一時二十分ニテ出発 南小樽
下車 小樽新聞社ニ坂中取締役ヲ訪問ス 大ニ援助スルトノコト 市内見物ヲス 雪漸
ク降り止ム。小樽築港ハ着水ニツヨイ場所デアッタ 埋立地ヲ山上カラ見タ處ヨサソウ
デアッタガ後千隅(ママ)然マヨツテ埋立地へ出タ處トテモダメデアッタ
小樽八仁川ニ似感ジガシタ
駅前ニテ夕食 六時四十分ニテ出發ス

◆▼41ページ◆▼ 大正14(1925)年2月6日(金)

天気晴

五時半函館着。荷物ヲ一時預ケシテ駅前ノ宿ニ入り朝食 日記後、橋本君ノ境新太
郎ヲタツネル 小學校ノ教師ヲシテ居テ宅ニハカギガカ、ツテ居タノデ學校ニテ面会
女ノ事ヲ聞キ合セタガ叔父デアアル同氏モ、アマリヨクハ云ワナカッタ 要スルニ血統ハ保
証スルガ人物其者ニツイテハ保証出來ナイトノコトデアッタ 一応帰宿 晝食後弟藤次
郎ト云フノヲ通信講習所ニ訪問シタ。ヤハリ叔父ノ話シ位デクワシイコトハ分ラナカッタ
ノデスグ辭シテ連絡船ニ乗ル 九時二十分青森着 十一時二十分、列車ニテ發

◆▼42ページ◆▼ 大正14(1925)年2月7日(土)

天気曇リ

四時十三分盛岡着 窓ヲ明ケルト丁度西小路ノ顔が見エタ 練習費千円ハムツカシイ
ガアト何ントカシテ、ヤラセテ呉レナイカトノコトデアッタ。話ダケ聞イテ發車 午後四
時半上野着 出ルトスグ知覧君ノ顔が見エタノデ駅前ニテ休憩。陸軍ノ話ヲ聞ク 堀
二十日警察ニ引張ラレタコトナド話シガアッタ 飛行機ハ何ンデモ來年度ニナルトノコト
ニ方針ヲ変エ下志津へ行クコトニシタ

七時半津田沼着。高田へ九日午後行ク旨打電ス

徳治ダケ眠ツテ居タ 信太郎ヤ皆嬉(ママ)ンデ中々眠ラナカッタ

◆▼43ページ◆▼ 大正14(1925)年2月8日(日)

天気晴

風出ル

九時起床 不在中ノ朝日ノ件外廳(ママ)取 工場休場セシムルコトトシ半給々與ノコト

トス

書橋本ニ函館ノ結果ヲ話シ自分ノ意見結婚見合ノコトヲ議ス
菊池ヲ呼び飛行ノコト機体購入ノコトヲ話シ將來ノ飛行場トノ關係等ニツキ領(ママ)
解セシム

夜橋本、近藤、鈴木、菊池ト会食ス

十一時頃川辺君來 高田ノ模様ナド聞ク

▲▼44ページ▲▼ 大正14(1925)年2月9日(月)

天気晴

九時起床上京 朝日新聞ニ交渉 結局運賃工場持チニテ二台引受ケル事トス 卅一
号ノペラ板卷キ同運賃合計三十六円十銭受取ル 日日新聞ニテ吉田君ト会见 何シ
ノ事ダ 金が借リタカッタラシイ ローン八十ノ請求書出シテ呉レ ソシテ今月中其金
ヲ融通サセテ呉レトノコトデッタ 到(ママ)分請求書ハ見合セ様
事ム所ニテ小包ヲ受取ル メリンスガ一反這入ッテ居タ

高田ニ行ク サ渡二十万坪トカ朝鮮ニ埋立地トカ色シナ話シガアッタガソナ願書ヲヤ
タラニ陸軍へ出シテ利権屋ニナッタト思レテハ仕事ニ差支ルヤモ知レヌト思ッタノデ、ヨイ
加減ニ聞イテ居イタ コレモ當分出サナイ事ダ

▲▼45ページ▲▼ 大正14(1925)年2月10日(火)

天気 曇風

西小路千円デニ等迄練習サセルコト、青島クレルジー五百五十円ノ返事出ス

午後下志津學校ニ相良少佐訪問 修理ヲ本部へ取急イデ貰フコトヲ依頼ス 學校デモ
實際急グトノコトデ今週力來週最(ママ)非本部へ行クカラ其時ヨク相談シテ來ルトノコ
トデアッタ 四時ノ汽車ニ乗り遅レ六時ニテ帰宅

昨日夜帰宅後亀井戸在住ノ某氏來 シキリニ操縦士後援云々シテ居タガ、先ヅ出來
タラ養生ハ御引受ケスルガ、ソ迄ハ御コトワリスルコトニシタ

▲▼46ページ▲▼ 大正14(1925)年2月11日(水)

天気晴

青島來 グレルジー五百五十円ニテ内五十円青島ニヤルコトニキメル

十一時頃福永四郎來 昨日モ來タノダソウダ。中島式局ヨリ拂下ゲテ貰ッタトノコト
事情ハ一通リ話シテヤッタガ親分ノ事ダカラ万事積込ミ迄世話スルコトニシテ晝食ヲ共
ニス

午後金太郎ヤ近藤小供ノ写真ヲ写ス 夜花ヲシテ遊ブ

▲▼47ページ▲▼ 大正14(1925)年2月12日(木)

天気 晴

晝食後下志津へ行ク 三時學校着 相良少佐ニ面会 初対面ダガ感ジノヨイ人デアツ
タ

工場ノ模様ト目下休場状態ヲ話シテ一日モ早く機体ヲ廻送シテ貰フコトヲ懇願ス。學
校トシテモ機体不足ノ爲困ツテ居ルトノコトデアッタノデ好都合デアッタ

▲▼48ページ▲▼ 大正14(1925)年2月13日(金)

天気 曇リ晴

終日床ニツイテ考へ事ヲ仕様ト思ツタガ少シモ思慮ガマトマラナカッタ

▲▼49ページ▲▼ 大正14(1925)年2月14日(土)

天気 晴

今日八十銭ノ金モナクナッタノデ佐野ヲ吉田ヘヤツタ

午後写真室ノ整理ヲナス

夜八時頃川辺夫妻來 十一時頃追遊シテ帰ル

朝鮮人一名夕方練習生トシテ入所申込ミアリ

▲▼50ページ▲▼ 大正14(1925)年2月15日(日)

天気 晴

朝恵美子ト仁三郎ノ写真ヲ写ス

青島話シノクレルジ一金來ラズ

▲▼51ページ▲▼ 大正14(1925)年2月16日(月)

天気 晴

上京 正午着 サンパツ後高田ニ行ク 不在

航空局ヘ立寄ル 井上長一來 引時間追一所ニ居ル 後チ事ム所ニ立寄り後幸樂ニテ

夕食ヲ共ニス。今年度新機製作補助金ニテ新機製作計畫ニ対シ之レガ注文ヲ引受ケル

事ニ話シ出來ル 其爲課長ニ領解ヲ求メ置ク必要アリ

後高田ニ立寄り後チ帰ル 十時帰宅 雨模様アリ 川辺君待ッテ居テクレルジー支那へ
ヤリタイトノコトデアッタ

▲▼52ページ▲▼ 大正14(1925)年2月17日(火)

天気 雨

昨日上京ノ爲メカ晝迄夢ウツ、ニ眠ツタ 時々コンナコトガアルガ性力が不足カ
午後写真ノ焼付ヲナス 計二十九枚

青島來 昨夜川辺君ノ話シヲ話ス 驚イテ川辺君ノ處へ行ツタ

夜川辺君來 橋本君等ト一戦ヲナス 後チ學校問題其他氏ノ希望アリタリ(操縦士ニ
ツキ)

クレルジー問題ニツキロニ出サナイガ青島ニ安ク賣タコトガ不平ラシカッタガ今度ノ安
岡ノ事ハ僕ハ少シモ知ラナイ上ニ先キニ三百円デ賣ルコトヲ承認シテ居タコトニ青島ニハ
二百五十円ト云ツテ居タナドハ川辺君ニ似合ワナイヤリ方デアッタ

▲▼53ページ▲▼ 大正14(1925)年2月18日(水)

▲▼54ページ▲▼ 大正14(1925)年2月18日(水)

天気 晴

工場員佐野初メタイ業気分アリ 一ツ休業スルコトニ決心ス

午後上京 朝日新聞ニ行ク。シバラク遊ブ 久松矢野野中中将來 少時話シス 久松、
早川帰ル 木下君モ來 三十号ノコトヲ聞ク 三十三号モ急グトノコト 今朝送ツタ、
タンクノ金受取ル。知覽君ニ行キ各ヶ原(ママ)及名古屋ノ用件ヲ頼ミ明日出發ヲ依頼
ス 金五十円ト外五十円渡。丁度徳永氏來テ居ラレタノデサ式用ノペラヤ板ヲ頼ンダ

▲▼55ページ▲▼ 大正14(1925)年2月19日(木)

天気 曇

今日ハ終日菱伊氏ヲ待ツタガ來ナカッタ

▲▼56ページ▲▼ 大正14(1925)年2月20日(金)

天気 晴

佐野ノ近來ノ勤振リ非常ニ悪シク云ヒ付タコトサエ出來テ居ナイ。イワシヤ工場長トシテノ行爲ハサラニ認メラレス百五十円ノ掃除夫ノアダ名アリ 実ニ困ツタ人間ダ
朝井上長一瀬部君ニ金融ノ件依頼状ヲ出ス 午後菱伊氏來 來月總會ヲスルコトニシ
大辻其他勘定ヲ取調ベテ歸ル

仙台飛行協會ノ大石氏ト友人關係デ將來事業ニ盡力サレタイト頼マレタトカ 尚輪
送事業ニツキ考ヘヲ有シ居ルトノコト

夜十時頃高田治作來 自動車ヲ鳥飼氏ガ買イタイトノコト 十一時半頃六七名ヤツ
テ來テ自動車ノ手入ヲ初メツヒニ、徹夜ス。發動機調子悪シク、プラグヲ取りニ東京
へ一部歸ル 鳥飼、高田外一名トマル 午前五時床ニツク

▲▼57ページ▲▼ 大正14(1925)年2月21日(土)

天気 晴後曇

七時過ぎ起床 八時過ぎ東京ヨリ使來 自動車一先ツ其マニシテ引上ゲラレタシト
ノコト 昨夜一晚ノサワギモマッタクノ空サワギニ終ツタ 十一時頃ヨリ床ニ入ル 三四
時間ヨク眠ツタ 今日下志津行キ中止ス

佐野出勤セズ 戸野ヨリ發動機整備ノ注文アリ

菅野昨夜自動車ヲ出スノヲ寝テ、手傳ワナカッタノデ今日不都合ヲセメ尚近所へ遊ビ
二行ツテハ、ツマミ喰ヒスルコトモイマシ(ママ)タル

廿二日ノ記事六十八日ニアリ

▲▼58ページ▲▼ 大正14(1925)年2月23日(月)

天気 晴

知覽ヨリ有望明日歸ルトノ入電アリタリ

恵美子マゲヲカミ結サンガ結ツテヤルト嬉ンデ写真ヲ写シテ呉レト云ノデ写シテヤル
アト妻トカミ結サンヲ写シスグ現象(ママ)ス

晝頃下志津へ中島式ニテ出張 相良中佐ニ面会 修理機ノコトヲ聞ク 仕事ノ分ハ各々
原(ママ)へ送付ノ命令ヲ受ケタリトノコト 本所へ他ニ何等理由ナキモ價格ニ於テノミ高
イ爲メ出セヌトノコトナリシ由。脚ゲージ未着

午後橋本君來 三十円程入ルトノコト 明日ヤルコトニス 尚三月ヨリ剛(ママ)紀肅正ニ
ツキ同氏ノ領(ママ)解ヲ求ム

▲▼59ページ▲▼ 大正14(1925)年2月24日(火)

天気晴

八時十五分川辺君ト上京 十時半局着 三月ヨリ川辺君ト協同ノ事ノ挨拶ヲシテ廻ル 協会同様

朝日ニパンニテ晝食ヲスマセ分レテ朝日ニ行キ八百円受取ル 五時頃迄遊ブ 知覧來ラズ

高田ニ行ク 夕食後阿由葉氏ヲ訪問 挨拶ヲナス 高田拂下ノ件 鉄道ノ件二三話シテ帰ル 十一時帰宅

朝日ノ修理機ニツキ、早川氏大ニ同情スル言葉アリ 全部ヲ引受ケ得ラルベク、努力ヲ要ス

▲▼60ページ▲▼ 大正14(1925)年2月25日(水)

天気曇リ

朝鈴木再ビ來 荒木問題ニツキ同人ト相入レザルヲ説ク 後子菊池ヲ呼ビ聞ク 鈴木ニ同情アル言葉ナリシ。夕方、荒木ヲ呼ビ問ヒタゞス 原因ハ鈴木ガ所長ノ事ヲ云々セシ爲メノ反感ナリシト 外ニ他意ナシトノコトナレドモ練習問題多少ナキニアザルハ認メ得ラル イツレニシテモ本人ノ希望モアリ鈴木ノ云分ノミデ通ス理由ナリ立タゞス 所分スレバ、ケンカ両セイバイヲ要スベシ

高田治作氏アトヨリ信行氏來 自動車賣レタカラ取りニ來タラ渡シテ呉レトノコト 芋屋八百円支拂シミ利子モドリテ川辺君ニ社ニヤルコト

▲▼61ページ▲▼ 大正14(1925)年2月26日(木)

天気曇リ少晴

川辺夫妻洪夫妻ト上京 雷門ニテ分レ朝日ニ行ク 四時頃遠慮リ事ム所ニ行ク 菱伊知覧両氏ト會フ 名古屋ノ状況ヲ聞ク 御原氏問題ニツキ明日知覧山本大尉訪問スルコトニス 菱伊氏ハ間モナク別レル スグ帰宅

朝出發前芋屋手形二百円ニ書替川辺君ニ持ッテ行ク

朝鈴木ニ荒木ノ件話ス 万事一任ストノコトニテ鈴木午後郷里ニ帰ル

▲▼62ページ▲▼ 大正14(1925)年2月27日(金)

天気晴

高田氏ヨリノ電報ニヨリ午前中ニ行クベク八時前ニ井上長君へ金融急ギノ手紙トページエント参加ノ相羽君へノ手紙ヲ書ク 川辺君ニ立寄り朝日仕事ニツキ早川氏ノ領(ママ)

解ヲ求ムルベク同君ニ今夜会ッテ貰フコトヲ依頼ス 十時ノ電車ニテ上京 十二時高田着 阿由葉氏ト東氏ニ明日会フ打合せノ爲ナリキ
外二三倉ノ手形成ルベク書キ直サナイ事ニ頼ム 本願等ト業平製油今日事ワリニ治作君ニ行ッテ貰フ 航空局ニ行ク 荒井大尉ニ甲式三型拂下ノ件ト中川氏ニ三月二三日頃台北號ノ検査ヲ願フ

菊池君ト會フ 共ニスグ帰所 台北号ヲ引出シテ写真ヲ取ル

◆▼63ページ◆▼ 大正14(1925)年2月28日(土)

天気 晴少曇

朝上京 スグ井上ノ照(ママ)介状ヲ持ッテ瀬部氏訪問 会談シタガ結局注文書ヲ貰ッテ來テ呉レトノ事ニ今日一日ラムダニシタ 高田ニ行ク 不在 明朝東氏ト會フ事ニナッテ居ルトノコトニナッテ居ルトノコト 散髪ヲシテ事ム所ニ行クニ時間早ク日ニ寄ル羽太君ト少時話ス内三時吉田君來 共ニ横町ニテ晝食 北海道日日ノ販賣店デ金ヲアツメサセルカラ一ヶ所五百円ツゞデ、ヤッテ呉レトノコト。明日東氏ニ面会ノ上返事スルコトニス 事ム所ニテ菊池ト會フ 三人協議ノ上秋田縣ニイカ程ノ募集シ得ルヤヲ石川氏ニ吉田君ヨリ聞イテ貰フコトトス
スグ帰宅

◆▼64ページ◆▼ 3月

北海道飛行決定ノコト
陸軍運動ノ事
片桐交渉ノ件
紙製飛行機進行ノ事
金融ノ事

◆▼65ページ◆▼ 大正14(1925)年3月1日(日)

天気 晴

四時四十分起床 朝食後仕度シテ五時四十分ノ電車ニテ上京 上野駅ヨリタクシーニテ桜木町ニ阿由葉氏ヲ訪問 同乗シテ高田ニ行ク 丁度七時十分 高田氏起キタバカリデアッタ 四十分以上マタサレテ芝白金ノ東武氏訪問 スグ面會シテ呉レテ飛行ノ件其他ヲ話シテ大体ノ領(ママ)解ヲ得詳細ハ山口氏ト商議スル事トシテ辭去

電車ニテ神明ノ伊豆菜ニ行ク 十時半デアッタノデマダ掃除ナドシテ居タ 晝食。阿由

葉氏一足先キ帰り余次ギニ辭シ金三十円高田氏ニ預ケル。朝日ニ行キ注文書ヲ書イテ貰テ、日日ニ吉田君訪問 北海道飛行ノ件自分七八日頃北海道ニ出發 帰京後決定スルコトニシテソレ迄保留シテ貰フコトトス
七時頃帰ル 川辺君ト会谈 朝日仕事ニツキ早川氏ノ意見ヲ聞クコトヲ得タ
十二時就眠

◆▼66ページ◆▼ 大正14(1925)年3月2日(月)

天気 晴

佐野其他今日カラ割ニ早ク出勤シタ 午前今日迄ノ陸軍、朝日、飛行部等ノ経過ヲ話シ尚將來過古(ママ)ノ欠點ヲ難ジ將來ヲイマシム
今日ヨリ朝日三十三号機ニ着手ス
台北号試験ニ來ラズ
稲垣君ニ久シ振リデ手紙出ス
局ノ永田飛行士來 晝食 台北号ノ試飛行ヲ見テ帰ル
本日東京ヲ見合ス 近藤ヲ使ニヤル

◆▼67ページ◆▼ 大正14(1925)年3月3日(火)

天気 晴風アリ

川辺橋本ト九時上京 橋本知覽ト航空研究所ヘヤルベク事ム所ヘヤル 自分瀨部氏ニ行ク 不在 スグ上野ニ行キ晝食ヲ取ル 十二時駅ニ行ク 高田氏スグニ來 十二時半阿由葉氏來 空中写真ト台北号ノ写真ヲ渡ス
一時十分瀨部氏ニ行ク 明朝ニシテ呉レトノコト 大ニシヤクニサワツタガ昨日行ク予定ヲ行カナカッタカラ明日一度行ツテ見ル
事ム所ニ行ク 知覽來ラズ 橋本航空局ニ立寄ラセテ帰ス 三時半頃知覽來 川辺君モ來 學校原稿其他ヲ商議ス
日本製麻岡田氏大曾怒ツタ様ダガ結局無期延期
菱伊氏來 高田治作ノ手ニテ十二日十七日モーター商会ヨリ五百五十円スデニ受取り居ル由 領収書モ見ル 信行同服ナリヤ 多分□ジ居ルナランモソレニシテハ余リ器ガ小サスギルトハ川辺君ノ意見。明朝菱伊氏高田ニ行キ結果晝聞クコトニ約束ス

◆▼68ページ◆▼ 大正14(1925)年3月4日(水)

天気 晴

上京 瀨部ニ行ク スグ小切手呉レタ 朝日ニ行キ大杉氏ニ会フ 大坂ノ機運賃持ツテ

ヤツテ呉レトノコト 承認ス 小切手替エテ貰フト思タガカワラズ、大東商会ニタノム
判ガチガツテダメ 取替ニ行ク 不在 夕方五時過ぎ又行ク ヤット銀行渡リヲ取消シ
テ判ヲカエテ貰フ 今一度百円ダケデモ現存金ト取替様ト思タガテ再ビ大東ニ行ッ
タガ不在 今日ハ終日行違ヒノミニテダメ
午後事ム所ニテ日野、知覧氏ト会フ 菱伊氏ツヒニ來ラズ 高田ノ模様聞ケナカッタ

▲▼72ページ▲▼ 大正14(1925)年3月5日(木)

天気晴

在宅 小切手橋本君ニ渡シ知覧ト東大研究所ニヤル 夜帰ル 麻布持チ帰ル 塗料知
覧君ニ頼ム 研究所岩本技師不在ニテスグ帰ッタトノコト
高田ヨリ至急面談シタシトノハガキ來 菱伊氏ニ明日晝会ヒ夕方高田ニ行クベク両氏へ
打電ス

▲▼70ページ▲▼ 大正14(1925)年3月6日(金)

天気晴

今日上京ヲ中止シ佐野ヲヤル
十時迄芝入君中川君來 南部君モ來 台北号飛行マグネト故障シテ久々田ニ不時着
シタガ駿(ママ)查ハ終ル
永田、川边上京
松田松次郎來 三十円ヤツテアト手形

▲▼71ページ▲▼ 大正14(1925)年3月7日(土)

天気晴

明日代々木ノ飛行準備ニイソガシ
永田、大蔵、川辺局其他ニ行ク

▲▼72ページ▲▼ 大正14(1925)年3月8日(日)

天気晴

永田君五時起シニ來タ 六時起床七時過ぎ機体引出 八時十分飛行開始シタガ上空
ニテ發動機切レルトノコト 二回目八十二分バカリ飛行シタガヤハリ面白カラズ 中止シ
テ永田君二代々木へ行ッテ貰フ
十時頃下志津ヨリ九機飛行スルノヲ見タ 金ガホシイト思ッタ

午後風強シ

▲▼73ページ▲▼ 大正14(1925)年3月9日(月)

天気 晴

在所 午後中ノ写真ヲ取ル

高田菱伊氏会见ノ模様ヲ知りタク菱伊氏へ会见ノ日取りヲ知ラサレタク手紙出ス

▲▼74ページ▲▼ 大正14(1925)年3月10日(火)

天気 晴風

午後ヨリ猛烈ナ風

上京シタクモ一銭ノ金モナク止ムヲ得ズ竹中ノ整備費ヲ受取ルベク菊池上京セシム

午後渡辺來 夕食ヲ共ニス 鈴木結婚問題ニツキ話シ兎ニ角正式ノ事ハ病氣全快ノ上ノ事ニ相談ス

▲▼75ページ▲▼ 大正14(1925)年3月11日(水)

天気 晴

今日ハ風が出ナカッタ

戸野練習生竹春屋借金ニツキ日ヲ聞イテヤル

台北号試飛行 水ノジュンカン悪シク、中止 ポンプ取替エル

夜食事中栄助君ヨツパラッテ金ノサイソクヲ初メタノデ、シバラクガマンシタガ余リウルサイノデ一番ドナリツケテヤッタラスグ帰ッタ

竹中ヨリ金百五十円受取り土地ノ分千葉ト地代栄助分小林へ各四十円ヅゝ拂

菊池叔母死去ノ爲メ帰郷ス

今日紙製飛行機ノ設計ヲ進メル

▲▼76ページ▲▼ 大正14(1925)年3月12日(木)

天気 晴雨曇

六時ヨリ床ノ中ニテ規則書ヲ書ク 八時半雨ガ降り出シタ 川辺君ニ立寄り橋本ト共

ニ上京 停留所附近デハ大雷雨ニナッタ 上京 自分ハ秋田ニ行ク頃吹雪ニナツテ居タ

秋田氏大坂行不在 取締役罰金ノ事デアッタ 書類ヲ受取り事ム所ニテ菱伊氏ニ渡ス

高田ノ方百五十円治作ノ手當トシ百円現金受取 アト月賦トシタル由。夕方債務ノ

引繼ギヲナスベク高田ニテ会フトトシテ、自分ニ時迄知覽ヲ待ツ 來ラズ 橋本一人

研究所ニヤリ自分朝日ニ行ク 菊池氏ノ近藤君ノ見舞ヲノベ五十円香奠ヲ送ル
二百円受取り四時過ギ追早川氏其他ト雑談 大坂ノ機体急送シテ貰フコトニス
事ム所ニ帰ル 知覧君ト明日山本大尉ニ會フコトヲ約ス
高田ニ行ク グチラシク金ノコト治作ノ精ニシテ居タ 菱伊氏來 アンドリユース明日行
ツテ貰フコトトス

九時稲葉君來 鶴見ト瀬田參拜ニ町債、四百万円、茨木ナドノ言葉ヲ聞ク 明日東
京駅デニ時會フ由 川辺君モ來合セ同道シテ帰ル 十時半ノ電車

▲▼77ページ▲▼ 大正14(1925)年3月13日(金)

天気 晴

井上長一君へ見舞 高見氏へ広瀬氏ト來 會見ノ手紙書ク 午後上京 川辺君ト共ニ
出懸ケタガ途中お春サンニ小供ノ學校ト大蔵ノ事ヲ話シテ居ル内ニ一足オクレテ川辺
君先キニ上京

事ム所ニテ知覧君ヲ待チ合セ国分寺へ山本氏訪問 駅カラ中々巨(ママ)離ガアッタ 行
ツタガ今日ハ當直トノコトニ空シク帰ル 丁度往復一時間カヽッタ スグツクト帰宅シタ
ガソレデモ十一時ニナツタ

▲▼78ページ▲▼ 大正14(1925)年3月14日(土)

天気 晴南風

今日ハ宅ニ居テ學校ノ規則書ヲ書クツモリノ處横山氏北海道ニ帰ルトノコトニ見送りニ
行ク

今日ハ風ツヨク台北号試験出來ズ 明日ヤルコトニシテ高田モ午後來ルトノコト 浅草ニ
テサンパツヲシテスグ帰津 長尾小供ノ件ニテ三橋亭ニヨル 初メテヨク事情ヲ聞ク。次
ギニ大蔵女ノ件ニテお春サント明日ノ打合セヲシテ五時帰宅入浴夕食

恵美子ニ二尺程ノ人形ヲ買ツテ來テヤッタ 二円三十銭 着物ハ内デ作ラセルコトニシ
タ 嬉(ママ)ンデ居タ

▲▼79ページ▲▼ 大正14(1925)年3月15日(日)

天気 雨

規則書ヲ書ク

深川ノ山田浦尾貸金ニツキ來 断ル

高田氏來 十八日出発ノコトニ約束ス

川辺來

長尾 一郎二宛手紙ヲ書ク

▲▼80ページ▲▼ 大正14(1925)年3月16日(月)

天気 晴後曇

終日規則書ヲ書ク。カタガ張ツタ

近藤上京 協会金、朝日大坂ノ機体輸送ノ件

▲▼81ページ▲▼ 大正14(1925)年3月17日(火)

天気 晴

夜夢バカリ見テ、サメルト頭ガシク、痛ク東京へハ佐野上京サセ、白戸へ近藤手紙ヲ持
タセテ金策ニヤル。金ハ作ツテ居クカラ僕ニ來テ呉レトノコトニタ方家内ヲヤル 七時頃
帰ル 永ク行カナイノト今日ノ手紙デ大分氣ニシテ居ルラシカッタ

乾氏來 八月除隊後ノ打合せノ爲メ

夜高田へ明日晝迄ニ上野へ行ク旨打電ス

▲▼82ページ▲▼ 大正14(1925)年3月18日(水)

天気 晴風

高田ヨリ一時頃來テ呉レトノコトデアッタガ兒玉少佐ノ領解ノ事ニツキ自分責任ヲ以
テ求ルベク手紙ニカイテ近藤ヲヤル

今日ハ準備ガ出來タノデ写真引延シヤル 初メテトシテハ割合ウマク行ツタ。シバラク
同ジ紙デ練習スレバ大丈夫ト云フ自信ガツイタ

鈴木帰ル

川辺、河辺氏小兄危篤ニツキ上京 金六十円一時貸シ 午後杉本光子小供ヲ連レテ
來ル 京都へ帰ルノデ金ガ入ルトノ端書ガ來テ居タノデ五十円渡ス 小供ハ弱ソウデア
ツタ

▲▼83ページ▲▼ 大正14(1925)年3月19日(木)

天気 晴

不在中ノ事ヲ佐野、橋本、近藤三人ニ話シ後チ鈴木荒木ノ和解ヲ解決シ九時半出發
今年初メテ汽車ニ乗ル 途中車ニテ川辺君ニ会フ 関東廠局長ニ会フ事ヲタノム 處書
キト手紙渡ス 車中津田沼駅ニテ宮本組川口君ニ会ヒ同車シテ上京 宮本ノ様子ナド
聞ク

十二時十五分前上野着 十二時二十分頃高田氏治作君ト來 一時発車 川辺君ニ手紙一通渡スコト治作君ヲ通ジテ高田氏妻君ニ依頼ス
車中オート、現代ヲ讀ム

◆▼84ページ▲▼ 大正14(1925)年3月20日(金)

天気 晴雪アリ

五時半ボーイニ起サレテ仕度 六時半青森着 麗ラカナ小春日和デアッタ 工場、知覽君川辺、宅ナドニ手紙繪ハガキヲ出ス。軽イ朝食ヲ取り八時ヒラン丸ニ乗船 青森湾内ニテ一度吹雪ニ会フ

函館ハ又晴レテ、温イ日デアッタ。船中ニテ食事。札幌ノ商會議員松本氏ト高田ノ照(ママ)介デ会フ 一時二十分発急行ニ乗ル 黒松内ヲ過ギル頃ヨリ雪降り札幌モ降ツテ居タ

船中車中現代ト文藝クラブオートヲ讀ム

十時十五分着 山形屋ニ入ル 高田氏知合ノ女中ニ名居リ夕食後遅ク迄話シテ居タ 自分御先ニ失礼スル 時十二時

◆▼85ページ▲▼ 大正14(1925)年3月21日(土)

天気 雪後晴

二三寸積ツテ居タ 七時起床入浴

十時過ギ車デ竹下氏訪問シタ 高田氏トノ会见振りハ心好イモノデナカッタ。帰宿

一時頃阿由葉氏來 飛行機ノ事話シテアルカラ明日十二時カラ一時迄ノ間ニ會フ様ニ仕様トノコトデアッタ。アトハ土地ノ事ヤ鉄道ノコトデ一時間程デ帰ラレタ

自分ハ高田氏ニ借リタ賀川氏ノ壁ノ声キク時ヲ讀ム

高田君春沢氏へ手紙出ストノコトニ自分モ一筆書キ送ル

雪とけの 音を聞きつゝ 春しのぶ

雨だれの

雪どけの 音に気がつく 北の春

◆▼86ページ▲▼ 大正14(1925)年3月22日(日)

天気 雪

時々晴レタガ終日雪

今日晝阿由葉氏招待ニテ関屋トキワデ、山口氏ト社会部長河合氏ニ會フ。タ、顔ツナ

ギ位ノ事ダ 飛行機談モタゞ大勢ニツイテノ事ダケデ例ニヨツテ高田氏ノ外交辭令的
ナ長講一席聞イテ居テ、ドウモ感心シナカッタ アトハ乗タ氣持チナドドコアデモ素人
ノヨク出ル雑談デ終リ 一タユックリ会談(多分明日)ヲ約シテ五番館ニ高田氏ノ旧友
ヲ訪ヒ帰宿

高田氏ニ婦人ノ訪問者アリ 夕食後一人リミマス館ニジヤツキーカーガン君ヲ見ニ行ク
十一時帰ル 面白カッタ

佐野、橋本、大口、外一名発信

▲▼87ページ▲▼ 大正14(1925)年3月23日(月)

天気 曇リ雪風

午前札毎ノ社長吉田氏來 晝近ク追話シテ帰ツタ 午後地圖ニ航空網ヲ畫ク 夕方五
番館ニコンパスヲ求メニ出テツヒデニ駅デ現代四月号ヲ求ム

今日ハ阿由葉氏ト電話デ打合ノ結果明日夕方宿へ氏及山口氏來テ貰フコトニ決ス
発信児玉課長、知覧、吉田、喜代市。打電川辺、工場

▲▼88ページ▲▼ 大正14(1925)年3月24日(火)

天気 曇リ

終日薄暗クイヤナ天気デアッタ 高田氏大分悪イラシカッタ

朝阿由葉氏來 夕方山口、河合両氏來ルトノコト コツミツシヨン問題高田ヨリ阿由葉
氏ニ話ス間自分席ニ居ラズ 山口、河合氏ニモ五〇〇位トノコトデアッタ

北海道飛行場問題ト計畫書ト予算書ヲ作ル 六時頃三人來 夕食ヲ共ニシ後チ本題
ニ入ル 予定計畫ノ第一事業ニ約五万円バカリ必要ナノデ、コレニハ予期ガハヅレ驚イタ
ラシカッタ。飛行機賣込ミニツイテマダ阿由葉氏カラ話シテナイラシカッタ 結局其他
ニモ案ヲ作ツテ、明日会合 河合氏明後日上京ニツキ東氏ニ相談スルコトニ決ス
川辺、佐野、宅へ手紙出ス

▲▼89ページ▲▼ 大正14(1925)年3月25日(水)

天気 曇リ雪

今日ハ高田氏風邪デ床ニツク

タイムスノ返事待ツダケデ用ナク終日現代ヲ讀ム

夜松川氏來 一時間余リ話シテ帰ル

拂下希望、工場ヨリノ手紙ニヨリ打電ス

東京時事デ盛岡飛行場近ク發起人会ガアルトノコトニ阿部ト禿氏ニ手紙ヲ出シタ

▲▼90ページ▲▼ 大正14(1925)年3月26日(木)

天気 晴

久シ振リデ晴レタ

早朝阿由葉氏電話ニテ返事ヲ聞ク 今日十時頃社ヨリ電話スルトノコト 十二時過ぎ同氏宿ニ來 社トシテ今日直チニ金ヲ出シ兼ネルノデ道長官ヲ總裁トスル後援会ヲ組織シ社ハ此後援会ヲ極力後援シテ計畫ノ実行ヲ期スル。ソレソノ事ヲ今夜河合氏上京ニ付東氏ニ相談ストノコト 尚明日晝食ヲ山口氏招待ストノコトデアッタ
夜河合氏ノ出発ヲ見送ル

小田桐へ手紙出ス

午後散髪ニ出タガ道ノキタナイニ驚イタ。ソノ筈ダ 半年分ノユメント馬フンガ一時ニトケテ丸デ馬フンノトキ水ノ中ヲ歩ク様ダ

▲▼91ページ▲▼ 大正14(1925)年3月27日(金)

天気 曇雪

昨日感ジタ事デアルガ自分ハ多年金ニノミ苦心シテ本來ノ事業ヲ忘レテ居タ 否忘レタノデハナイガ、ヤツテ居ラレナカッタ 今日ニナツテ見ルト生活ノ安定ノ爲メ金ナルモノニ非常ナシユウ着ヲ覺エテ來タガ自分ニハ金ヲ、モウケルト云フ資格ハ全クゼロデアル。資格ヲ有セザルモノガ、アセルカラ人カラ非難サレル様ナコトニナル。之レハムシロ金ヲ去ツテ自分ハ自分ニ生キナケレバナラナイ 真面目ニ事業ヲヤツテ居サエスレハ、又イツカ信用ヲ回復シ得ルデアロウ。ソウダ五年間、今一度金ノ事ヲ忘レナケレバイケナイ

朝日キタイ到着電ニテキ、アワス。マダコヌトノ返 タ方再ビ大蔵下坂スルナラ早クサセ機オクラセト打電ス

本日正午タイム社東氏山口氏ノ招待ニテ豊平館ニ阿由葉氏共ニ行ク イヨ、後援会組織ノ事ニ決定シタガ至急責任者ヲ決定シド、進行シナケレバナラナイノデ其方法等ニツキ午後高田君ト協議 氏ノ發案ニテ最初ノ飛行機一台本所ヨリ寄贈スル型式ニス

古平ノ横山氏來 夜喜號ヲ見ル 高田横山ニ時迄話シテ居タ

▲▼92ページ▲▼ 大正14(1925)年3月28日(土)

天気 晴

七時半起床 入浴 朝食後日本製麻岡田氏、渡瀬材木店へ手紙出ス

十一時阿由葉氏ノ電話ニテ市役所へ行き市長高岡氏ニ會見 飛行場ノ必要ナルヲ力

説ス。阿由葉氏ノ照(ママ)介ニテ帝国製麻ヲ見学。聯隊区指令部ニ挨拶ヲナシ、林氏訪問 不在 コ、デ高田氏帰宿 自分測候所ニ行キ見学雑談シテ三時帰ル

鉄道問題ニツキ夜横山氏ト高田ト會商シテ居タガ竹下氏行衛不明。服部氏、横山氏會見セリト 明日服部氏ト會見スベク高田氏ヨリ手紙ヲ持タセテヤツタガ今夜上京シタトノコト 大分フンガイシテ居タ。稲葉ヨリハ手紙ヤ電報デ毎日結果ヲ聞キニクル 高田モ一寸コ、閉ロダロウ

コノ人ハ事業ハマダ、ダメダ。小イサクトモ少々ノ商店ヲ待タナケレバ第一信用ヲスル人ハナイ 服部、竹下ノニゲルノモ又六(ママ)理デモナカロウ。高田カク阿由葉氏ヲハナシタラ何シモ出來マイ

夜松川氏來 夕食ヲ共ニス ヘリコプターニツテ思ワズ大分話シタ

▲▼93ページ▲▼ 大正14(1925)年3月29日(日)

天気 大雪

知覽ニ電報及手紙ヲ出ス

佐野ヨリ來信 神田ノ父死シタ由

正午タイムム(ママ)ニ山口氏ト會見 最初ノ飛行ニ対スル費用出資ニツキ協議シタ。結局タイムストシテハ飛行場ノ借入ケイカイ位ノコトデソレ以外トシテハ本紙社告ヲ利用シテ東京デ広告ヲ取ツテ來タラドウカトノ事デアツタ。右モ社デ取ツテ呉ルナラト三角電通ニ話シテ、電通デ取ラセタラヨカロウトノコト 頗ル不熱心ナ話シテ途中カラ、イヤニナツテ來タ 帰宿後明夜余帰ルコトニシ山口氏金ニ対スル權利ナキ事 阿由葉氏又左程山口氏ニ対シテモ權威ナキ事ヲ高田君ニナジツテヤツタ 知覽ニ電報ノコト日本自動車ノ件

▲▼94ページ▲▼ 大正14(1925)年3月30日(月)

天気 晴

今日ハ春ラシイ日デアツタ

夕方食事共ニスベク相羽、山口氏來ルトノコト

終日ヘリコプター考案ヲナス

阿部君カラ最(ママ)非寄ツテ呉レトノ手紙ガ來タ 工場ヨリ報告モ來タ

夜六時前阿由葉、山口氏來 今日ハ、昨日來鉄道ノ話シノミデ竹下、服部ノ不徳行爲ヲ盛シニセメテ居タ 想像スルニ藪家ニ対シ阿由葉氏ノ言ヨリ山口氏ノ方ガ信用ガアルノデ同氏カラ藪氏ヲ動カシ竹下、服部ヲ除外シテ進メ様トノツモリラシイ。山口氏ハ服部氏ニ尚好意アルラシカッタ ツヒニ飛行機ノ話出來ズ 明日正午社ニ山口氏訪問スル事トス。阿由葉氏カラマダ何ニモ話シテナイトノコト。同氏ノ信用努力モ、少々アヤシ

イモノダ

汐千狩り 噂聞きつゝ、雪見かな

▲▼95ページ▲▼ 大正14(1925)年3月31日(火)

天気 大雪快晴

昨夜十時半頃阿由葉氏來 決(ママ)局高田君金ノ事ヲ云ヒ出サナカッタ。割ニ役ニ立
タナイ男ダ。商業的度胸ガナイ僕ト同ジ事ダ 二人デ道廳へ行ツタ スグ帰ツテ來タ
金ノ事話シタトハ云ツテ居タガ、ダメ 多分云ヒ得ナカッタノダロウ。然シ結局幸ダ 五
百円ヤ千円借りテ今旅費ニ半分モ取ラレテ、ソレデ責任ガ増シタノデハ、困ルカラ。其
ノ事ハ阿由葉氏來ル前ニ高田氏ニヨク云ツテ居イタ
大口カラ頼マレタ山崎猪次郎ト云フノヲ、サガシニ行ツタガ、ソシナノハナカッタ
六時四十四分阿由葉横山、高田、松川氏ニ送ラレテ帰ル 高田金ガ來ナイト郵便
局へ聞キニ行ツタリシテ居タ
盛岡カラ氏ノ自宅へ七十円送ツテ呉レトタノマレタ

▲▼96ページ▲▼ 4月

三月廿七日ヲ忘ルベカラズ

北海道航空事業後援会設立
陸、海、航空研究所、運動
片桐交渉
紙製飛行機
台北号賣却
借金整理

▲▼97ページ▲▼ 大正14(1925)年4月1日(水)

天気 晴

五時四十分函館着 洗面 朝食 ビール一本ノンダガ、アト腹ガイタクテ困ツタ 十二
時青森着 駅前カギヤニテ入浴晝食
小田桐ニ電話カケル 今日ハ浅□カラマダ來ズトノコトニハガキヲ出シテ居イテ二時三十
分ニ乗ル 講談クラブヲ讀ミツゝ、九時盛岡着 陸奥館ニ入り入浴 夕食後アンマヲ取り

眠ル

▲▼98ページ▲▼ 大正14(1925)年4月2日(木)

天気 曇リ

八時起床 阿部君ニ電話シテ後チ照(ママ)介所ニ行ク 案ジラレタ禿氏氏ハ在岡中デヨ
カッタ。工藤君ガ会ヒタガツテ居タトノコトニ呼ビニヤツテ貰フ 晝日報社ニ行ク途中工
藤君二百円依頼ス 五十円位ナラ出来ルトノコト

禿氏氏ト会见 急(ママ)ガシソウデアッタノデ三十分バカリ話シ台北号ノ事モタノシ
氏ノ自宅ニ行キ奥サント話シテ帰リヲ待ツ。五時頃帰宅サル。阿部君トノ約束ガアル
ノデ氏ノ宅ニ行ク。工藤君モ来 七時頃ヨリノム。馬鹿ニヨツテシマツテ、工藤君ニオクラ
レ禿氏氏ニ泊ル

▲▼99ページ▲▼ 大正14(1925)年4月3日(金)

天気 曇リ

二日ヨイデ気持悪シク八時過ぎ起床 朝食モ一杯シカ通ラナカッタ 十時半頃禿氏氏
ト知事後藤氏訪問 大分熱心デアッタ 近日發起人会ノコトニツイテモ心ヨク承認ヲ
與ヘテ居タ 尚成立後ノ収支予算ヲ作ツテ呉レトノコトデ午後禿氏宅ニテ最少限ニテ
作ル 一万円デ經常費ガ三人ノ飛行士ヲ育成スルノニ五百六十円シカ、カヽラナイ
夕食 台北号ヲ最(ママ)非契約ダケデモサセ様ト思ツタガ出来ナカッタ 残念ナガラ
陸奥館ニ引上ゲテスグ床ニ入ル。工藤君ニタノシダ金ガ明日ニナツタノデ又一日延バシ
タ

高田氏福島カラ電報ト手紙ヲヨコシテ居タ 後電話モカヽッタガ氏ノ宅へ金ハ送ツテヤル
コトハ出来ナカッタ。札幌ハ意外ニ宿泊料多ク拂エズニ借リテ帰ツタトノコト
台北号話マトマラズ帰宅後ガ心配ニナツタ

▲▼100ページ▲▼ 大正14(1925)年4月4日(土)

天気 曇リ

今日ハ一日五十円ノ金ヲ借ル爲メニ滞在シタ

晝前照介(ママ)所ニ阿部君ヲ訪問 小使ヒニ工藤君ノ處ヲ教ヘテ貰ツテ行ク 資本家ノ
小野氏ニ會フ 大分木工機械ガソロッテ居タ

三時頃工藤君三十円持ツテ来タ 夜西光(ママ)路来 九時過ぎ工藤来 二十円受取
ル 十一時五十一分ニテ発車 二人見送ツテ呉レタ

◆▼101ページ◆▼ 大正14(1925)年4月5日(日)

天気 曇リ

仙台近ク見(ママ)ヲサマス 一二寸ノ雪ガトテモ、キレイデアッタ。五時過着 駅前泉屋旅館ニテ一寝入 八時朝食後鈴木氏訪問 漁業飛行本年度最(ママ)非ヤリタク其節ハ本所へ御願ヒストノコトデアッタ

後チ練習場ニ行ク 岸本君格納庫ヲ案内シテ呉レタ。町ニテ晝食 一巡シテ帰宿 五時頃門脇加藤両氏自動車ニテ迎エニ來テ呉レタノデ梅林(門脇ノ宅)ニテ同地協会役員中沢氏ト会食 大ニ定期飛行ヲス、メテ居イタ

◆▼102ページ◆▼ 大正14(1925)年4月6日(月)

天気 晴

八時二十分上野着 サガシタガ知覽君見當ラナカッタノデ両国駅前林亭ニテ朝食 九時半ニテ帰宅

終日工場ヲ見廻リ後チ金融状態ヲ見ル 出発ノ時云ヒ付ケタニモカ、ワラズ、一二軒ニマトメタ支拂ヒシ給料ハ佐野自身ニ五十円ト大蔵三二十円ヤッタノミデ外ニ六職人ニマダ一文モヤラズ朝日カラハスデニ取レルダケ取ツテ居ル有様ニテ残余金ナク困ツタモノデアッタ

何ントカ方法ヲ立テナケレバナラナイ

◆▼103ページ◆▼ 大正14(1925)年4月7日(火)

天気 曇リ

阿由葉、阿部、禿氏、中沢、其他礼状ヲ出ス

川辺君來 學校其後ノ状況ヲ聞キ北海道ノ經過ヲ話ス 局ヨリアブロ(竹中)検査ニ來ル

十二時前川辺、渡辺同道上京。飛行協会ニヨリ荒木ノ奨励金受取り。北海道飛行ノ件ヲ話シ日日ニ吉田ト会ヒニ式廿四型賣渡シ契約書ヲ作ラセル 之レデ千円バカリ融通ガ出來ル譯ニナッタ 今日ハ予定意外ノヒロヒモノヲシタコトタ

朝日皆不在。高田マダ帰ラヌトノコト 不思議ダガ宅へ帰レズ、東京ノドコカニ居ルノカモ知レナイ様ナ氣ガシタ 帰宅後夕食

◆▼104ページ◆▼ 大正14(1925)年4月8日(水)

天気 晴

朝雨後曇リ 次第二晴レ夜又雨

荒井大尉、辻本氏來 青島オノ口不合格 鈴木竹中、延期 竹中ノ花王ノビラ撒布ア
ブロ間ニ合ズ鈴木同乗カーチスニテ行ク
朝日其他佐野上京セシム

▲▼105ページ▲▼ 大正14(1925)年4月9日(木)

天気 曇リ

上京 事ム所ニテ知覽ニ會フ 松本氏へ行ツテ貰フト思タガ自分デ行ツタ方ガマトマルト
ノコトニソウスルコトニシタガ判ヲ忘レテ來タノデ明日ノコトニシ高田ニヨリ明日タイムス
ニ行ク打合セヲシテ四時過ギ帰宅 夜川辺君來 鈴木菊池故郷飛行ニテ収入計ルコト
ヲ提議ス

雨宮氏來 訪欧飛行機ノ標式ヲ書キニ來テ呉レトノコト ツヒデニ大坂カラ來タ機体ヲ
見テ貰フ

▲▼106ページ▲▼ 大正14(1925)年4月10日(金)

天気 晴

六時起床 スグ上京 ズット藤沢ニ行ク車中話方等色考ヘナガラ行ク。アイニク不在 ス
グ引返シ朝日ニ行キ久松雨宮両氏ノ帰リヲ待ツテ三十四号ノ注文書ヲ貰ヒスグ瀬部
氏ニ行キ十二日ノ分五十円内入ニテ延期ス。四時過ギ事ム所ニ行ク 高田スグ行クト
ノコトニ待ツタガツヒニ七時頃ヤツテ來タ タイムス西氏ニ面会 初メハ中々話シガ分ラ
ナカッタガ終リニ非常ニヨク領解(ママ)シテ呉レタ 明後日大坂ヨリ広告部長帰ルカラ
其上ニテ返事スルトノコトデアッタ

▲▼107ページ▲▼ 大正14(1925)年4月11日(土)

天気 晴

十時頃ヨリ片瀬へ行ク 十一時半ノ汽車デ一處ヲヤッタ 一時着面会 氏ハ中島へ行ツ
タトノコト

金策不調 スグ帰宅 帰途永住町ニ立寄ツタガ川辺君來テ居ナカッタ 帰津後川辺君
ニ話ス

▲▼108ページ▲▼ 大正14(1925)年4月12日(日)

天気 雨

川辺君ニ金策依頼 夜行ツテ呉レタ

▲▼109ページ▲▼ 大正14(1925)年4月13日(月)

天気 晴

昨夜一寸話シタダケデ今日役所へ行ツテ話シスルトノコト 今日モツヒニ出ラレナカッタ
広告マク。ガソリン三函分立替ル 晝過ぎ古瀬來
午後入口ノ芝ヲ直シ水ハケヲ作ル
近藤上京 高田へ寄ラセ

▲▼110ページ▲▼ 大正14(1925)年4月14日(火)

天気 晴

菱伊氏晝頃來 佐野朝日へ金借リニヤル
会社總會廿八日トキメ通知出ス事トス

▲▼111ページ▲▼ 大正14(1925)年4月15日(水)

天気 雨

瀨部氏へ金策ニ行ク 不調。高田ニ行ク 北海タイムス対策ニツキ協議 兎三角河合氏ノ
帰ルヲ待ツ事トス
帰途玉吉園ニ寄ル 夜九時帰宅

▲▼112ページ▲▼ 大正14(1925)年4月16日(木)

天気 晴

朝起キルトニ倉ガ來テ居タ 弍千円ダケ手形書キ替エテ呉レトノコト 明日菱伊氏ト
相談ノ上返事スルコトニス 明後日朝ナラ宅ニ居ルトノコト
千葉ニ行ク 白戸ニ立寄ル 荒木ノ弍百五十円他へマワシテ協会へ取りニ行ツタトノコト
大キニマヅカッタ 三時帰宅
局ヨリ中川氏來
竹中機ニテ戸野不時着陸ヲナス 八時過ぎ作業終ル

▲▼113ページ▲▼ 大正14(1925)年4月17日(金)

天気 晴

佐野、朝日其他二三東京へヤル
午後浜名、荒井外二名機体及操縦士拡張ニ來ル

▲▼114ページ▲▼ 大正14(1925)年4月18日(土)

天気 晴

六時起床 今朝ハ笹山、及鈴木ノ台北号デアッタ 笹山中島式エンジンストップデアヤ
フク事故ヲヤル處デアッタガ漸ク着陸 シヤフトヲマゲタダケデ終ル カーチスニテヤリ
直ス

川辺午後迄顔見セズ 万一ノ場合ヲ思ヒガソリンノ手當ヲ考へ居ク 午後來ル 朝カラ
宅ニ居タトノコト 何ソノ事カイ

佐野朝日、三倉、渡瀬へ上京セシム

白戸妻君カラ又手紙來 廿八日入用ダカラ最(マ)非間ニ合セテ呉レトノコト。之レガ
返事ニ今日ハ大分頭ヲツカッタガ結局佐野朝日デ受取ッタカ否カノ上デヤル事ニ決ス

▲▼115ページ▲▼ 大正14(1925)年4月19日(日)

天気 晴

久シ振リデ競技会ニ行ク 押上ハ人出デ電車ニノレズ帰ル人が多カッタ 原宿下車。入
場 ヤハリ知ツタ人ハ皆丁寧ニ挨拶ヲシテ呉レル 日野氏モ居ラレタ

北島氏ヨリ木炭瓦斯發生器ノコトデ話シガアッタ 午後課長ニモ会フ

今日ノ競技会ハ第一航空好成绩ニテ本所ハ全隣敗 ワズカニ小西ガ難着陸ノ三等ニ這
入ツタ 問題ハアブロニ操縦士ガナレナイノト統一ヲ欠イタノガ原因シテ居ル
夜十時帰宅

▲▼116ページ▲▼ 大正14(1925)年4月20日(月)

天気 晴

佐野上京セシム 今日ハ用件ハタセナカッタ

今日ハクタブレタガ朝ユツクリ寝タ アブロ機タ方帰ツタガ降リラレズ下志津ニ行ク

▲▼117ページ▲▼ 大正14(1925)年4月21日(火)

天気 晴

朝日三十三号機 大蔵機飛行 ループヲ七八回ヤッタ

アプロ帰ル 竹中機着陸ノ際破損。陸上ゲハカドラズ満潮ニアル 自分外三名ト水中作業ス 何年振りカデヤッタ
午後菱伊氏來 近藤ト帳簿ヲヤツテ居タ
夕方入浴中千葉ノ高崎氏來 川辺君ト話シス 廿四日具体案ヲ以テ千葉へ行クコトニス

▲▼118ページ▲▼ 大正14(1925)年4月22日(水)

天気 雨後晴

終日在所 夕方植木ヲ手入ス

柳原氣ニナルノデ又手紙出ス

先月分給料工賃ノ内工賃ダケハンパヲ残シテ渡スコトガ出來タ

▲▼119ページ▲▼ 大正14(1925)年4月23日(木)

天気 雨

晝前帯広飛行会関係者來 一寸会フ 雨ガ上ツタノデ、立川へ急イダノデ大体話ヲ聞イタダケデ、朝日三十三号機ニ乗ル 市川ヲ過ギル頃カラクモニ這入タリ出タリ雨モカナリ降ツテ居タ 東京ノ上ハカナリ低ク三十分デ立川ニ着。訪欧機モ見タ

木下氏ニ晝食ヲ馳走ニナル 色々工場ノコトヲ話シテ仕様ト思ツタガ、芝入ガ來タノデ出來ナカッタ 野沢氏ニモ会フツモリガ会エズ、三時三十分ニテ帰ル 小池中尉ニ会フ

知覽ニ立寄ル 不在 安藤氏ノ件依頼状ヲ書イテ高田ニ行ク。河合氏電話シタガ不在 自分行ク 出發間極(ママ)デアッタガ二三分話ス。金銭ノ事ハ絶対ニダメト断言。東氏ニ一度会ツテ呉レトノコト

其旨高田ニ手紙デ使ニ持タセテヤリ帰宅後入浴夕食 ア、ハラガヘッタ

今朝、佐野、橋本、両氏ニ經濟状態ヲ話シ仕事ノ事ヲ打合せス

▲▼120ページ▲▼ 大正14(1925)年4月24日(金)

天気 晴

今日ハ千葉ノ高塚へ返事ヲスル日ナノデ晝前川辺へ相談ニ行ク 病氣デ寢テ居タ

リバディーガ飛ビ出シタノデ帰ツテ來たら海ノ中ニ人ダカリガシテ一人タオレテウゴカナイトノコトハット思タガ幸ヒ女ノ人デアッタガ頭ヲプレデスツタダケデ何ントモナ

カツタガ宮内醫師ニ見セ應急手當ヲナス。夜先方ノ希望ニヨリ千葉病院ノ田中博士來。

内出血ノオソレアリトテ入院スルコトニス 夜二時頃大蔵付添ニテヤル

夕方高塚ニ行キ來月中旬北海道ノ金ライイクラカ入レテアト一年据置キ又ハ随意金高

ヲ入金スルコトニ話シテ帰ル

▲▼121ページ▲▼ 大正14(1925)年4月25日(土)

天気 晴

丁度幸ヒ戸野ヨリ百円爲替出來タノデ妻ヲ病院へ行様ニ命ジテ上京ス
事ム所ニヨリ知覽來ラズ日本クラブニ行ク 寺家村氏ヨリ稲垣ノ話アリ 汗顔ノイタリ。
人前デノ話シテ顔カラ火ガ出ル様ニ思ツタ 明日講話ガ初ツテ間モナク知覽來 安藤
手形ニ関スル件及陸軍ノ事聞ク内講話ハ終ニ近イテ居タノデカンジンノ事ハ聞ケナカッ
タ 明夕自宅ヲ訪問スル事ニ打合セテ帰ル 宮本ノ川口氏ニ会フ 銀行へ最(ママ)非行ク
トノコトニ同道シテ対馬氏ニ会フ ヨクオワビシテ明後日今一度行クコトニ約シテ帰リ高
田ニヨル 例ニヨツテウマイ話シ一ワタリアリ。アトアス晝迄二十五円最(ママ)非入ルノダ
カトノコト。竹中カラ受取ツタ金ガアッタガヤラズニ明日晝頃迄ニ出來ルダケ届クル約
束ヲス

▲▼122ページ▲▼ 大正14(1925)年4月26日(日)

天気 雨

朝佐野橋本ト仕事其他ノ事ニツキ協議
晝頃船橋警察署ニ出頭 少シ向ニ差支ガアツタノデ其間サン。パツニ行ク 後出頭 工場
ノ大体ノ経歴ト昨日ノ模様ニツキ聞取書ヲ作ツテ一時間バカリデ終ツタ
明後日總會ニツキ委任状ガ少ナイノデ竹島へ電話デ請求スルト同時ニ明日佐藤秋田
宮本等ノ委任状ヲ貰テ來ル事ニシタ
ゴムホース米井ノ百四十五円ノハ引取レナイノデ仕事ニモ差支ルノデ佐藤デ引取ツテ貰
ツテ口銭ヲツケテ少シデモ買フ方針ニシ様ト思フ

▲▼123ページ▲▼ 大正14(1925)年4月27日(月)

天気 曇リ

九時頃川辺ニ見舞ニ立寄り上京 秋田ニ行キ佐藤ニ寄ル 両方共不在 事ム所ニ行ク
知覽來ラズ 宮本ニ行キ朝日ニテ久松氏ニ会フ 秋田佐藤ニ今一度行ク 不在 明日
總會ノ件及秋田ハ菱伊氏ノ件ニツキ野口氏ニ聞合セタガ別ニ氏個人トシテ八法(ママ)
美人トシテ差支ナキ様ナ口振りデアッタ イヅレ秋田氏ニ会フ約束ヲシテ帰ル 宮本ニ
行ク。銀行ニ対スル方針ヲ聞キ寺家村氏訪問 夕食ヲ馳走ニナル 稲垣君ニハ少額デモ
毎日キマツテ送金シテヤル事ガ出來レバ大變ヨイトノコトデアッタ
帰途高田ニヨリ塩路トノ契約書ヲ貰ヒ押上道同行シテ帰ル 二時眠ル

橋本下志津、及千葉へ見舞ニヤル

▲▼124ページ▲▼ 大正14(1925)年4月28日(火)

天気 晴

佐野立川へゴムホース借りニヤル 朝日ペラ代金ト

晝頃川辺へ見舞ニ行ク マダ大会ノ勘定ノ事ヲゴタ、云ツテ居タ 困ツタ人タチダ

荒木出發ス(北海道へ)

主婦ノ友社々長令嬢アプロニ乗セル 写真ヲ写シテヤル

三時過ギ佐藤、荒井氏來 コレヨリ先キ鳥飼、西塚妻君ヤ母親ヲ連レテ御花見気分デ

ヤツテ來タノデ大ニシヤクニ、サワツタ

五時頃鳥飼帰ル 佐藤荒井氏一時間程後チニ帰ル

▲▼125ページ▲▼ 大正14(1925)年4月29日(水)

明日佐野朝日ニテペラ代金七十五円受取り 二十円最(ママ)非呉レトノコトデ病院ノ
支拂出來ズ 止ムナク職工ダケ先月分ヲ残りデ支拂ツテ仕舞フ ハツカニアト五円余
リ残ツタノミ

▲▼126ページ▲▼ 大正14(1925)年4月30日(木)

天気 曇リ

例ニヨツテ金ナク困ツテ居タガタ方川辺カラ今月分ノ食費外合計六十円バカリ來タノ
デスグ近藤二千葉ノ看護婦ト巴屋ノ支拂ヲサセニヤル 醫師ハ五十二円バカリデアツタ
ガ往診料ノ三十円ニハ驚イタ

▲▼127ページ▲▼ 5月

四月ノ予定ゴト、失敗

○陸軍新ラシク運動ヲナスコト

○北海道帯広ヲ後援シ將來ノ仕事ノ保証ヲ得ルコト

○紙製飛行機進行ヲハカルコト

○台北号完成ノコト

○借金整理ナルベク他人ヲワズラワサザル事

▲▼128ページ▲▼ 大正14(1925)年5月1日(金)

天気 晴

今日ハ雑念ヲ忘レル爲メ芝ノ植替ヲナス

午前中ハ一人デアッタガ午後カラ金太郎ガ手傳ツテ呉レタノデ大ニ楽ガ出来タガ植付ケハ一部分シカ出来ナカッタ

佐野朝日新聞ヘヤル 機体検査ガ済ンデカラ金出ストノコトデアッタ

▲▼129ページ▲▼ 大正14(1925)年5月2日(土)

天気 晴後曇リ

八時内ヲ出川辺ニ立寄り上京 局ニ行キ中川氏二月曜日朝日三十号見ニ來ルコトヲ頼ミ課長ニ会ヒ北海道ノ札ヲ述べテ事ム所ニヨリ知覧見エズスグ宮本ニ立寄り桑原ニ行ク銀行ノ方三年位据置キニ話シタ方ヨカロウトノコトニ同道シテ宮本組ニ歸ル 川辺君トモ打合七月曜日銀行ニ行クコトニシ事ム所ニヨル 知覧ヨリ安藤氏直接解決スルトノ返事ヲ聞キ明日辨護士ニ自分ヨリ其事ノ返事ヲ出スコトニシテ分レル 有隣生命モ話シテ川瀬辨ゴ士ニ会フ 大川ノ返金方法ハ会社清算ハ清算トシテ自分個人トシテハ將來材料ヲ貰ツタ度毎ニ幾分ツツ入金スルコトニスル

トテ領(ママ)解ヲ求メ要求ニヨリ金額ノ承認書ヲ書ク 尚自分個人ノ引受モ最(ママ)非書イテ呉レトノコトニ前記條件ノ下ニ決シテ川瀬氏係ノ内ハ急ナコトハナイトノコトデ引受ヲ書ク

ステーションホテルニテ宮本喜代造氏ニ会フ 別ニ之レト云フ話シモナカッタ

朝出ル前鈴木ヲ呼ビ漁業飛行ノ方進メルコトヲ進メ決果予算書ヲ作ツテヤル事トス 菊池今日佐藤博士ニ会フ由

▲▼130ページ▲▼ 大正14(1925)年5月3日(日)

天気 雨

朝撰擧ニ行ツタガ余リ人多イノデ佐野デ十一時過ぎ迄待合セ行ク 帰途再ビ立寄り十二時頃川辺ニ寄り 橋本君ノ母堂ガ來テ居ルカラトテ迎エガ來タ由 晝食ヲ馳走ニナリ歸ル

橋本君母堂ヲ呼ビニヤル 二時頃バカリゴボシ話シヤ泣話ノミヲ聞サレ閉ロシタ 結極(ママ)ハ歸ル爲メノ金ト帰国後再今毎月何程カヅ、送金スル様ニシテ呉レトノコトデアッタ

後チ銀行ヘ出ス願書ヲ書キ直ス

鈴木予算書、井上長一手紙、柳原手紙、銀行整理案、町会議員撰舉 修理補助金發表 タダチニ各飛行士飛行場へ發送スベキ引札(ママ)原稿ノ件

▲▼131ページ▲▼ 大正14(1925)年5月4日(月)

天気 雨曇

鈴木漁業飛行ノ予算書ヲ作テ渡ス

中川氏來 三十号見テ貰フ 郵便物投下用ノパラシュート製作ヲ頼マレ色々打合せヲナス 北海道ヨリ明日金送ルトノ返電アリタリ

工場仕事 塗料ナキ爲メ行キナヤム。明日ハ最(ママ)非朝日ノ方金ニシナケレバナラナイ

夜明日千葉入院中ノ女退院スルカラトノ挨拶ガアッタ 又金ダ

昨今東京行ノ旅費モナイノデドウスル事モ出來ナイガ又何ントカ方法モツクダロウ

▲▼132ページ▲▼ 大正14(1925)年5月5日(火)

天気 晴

中川氏名刺ヲ以テ佐野上京 朝日ヘヤル

朝手紙デ橋本ヘ金ノ事、事ハリヤル 広瀬取り行ツテ居ル様話シス。北海道ヨリ四時

頃送金來 橋本出勤 ハラシユートノ布断チ方ヲ製圖

リバティー三回練習 調子好シ

朝川辺カラ呼びニ來タノデ行ツテ見ル 金ノ件昨日家内ガ行ツテ鉛ノ三十三円ヲ広瀬ノ拂ニシタイカラホシイト云ッタコトニツイテ例ノフンガイクセラ出シタラシク、貸シ貰ヒタイト云ツテホシカッタトノコト。何デモヨイ事ダガ真面目ニ話シテ帰ツタ

山口、阿由葉、氏及大連高見氏ヘリバティーニテ大連行キノ件手紙出ス

午後庭イジリヲナス

▲▼133ページ▲▼ 大正14(1925)年5月6日(水)

天気 雨

橋本母堂本日帰ル ヤレ、

明日川辺出發ノ予定 妻君又ゴタ、家内手傳ニ行ク 困ツタ夫妻ダ

▲▼134ページ▲▼ 大正14(1925)年5月7日(木)

天気 晴

朝川辺君二行キ出發迄居ル 十時出夕
佐野上京 朝日ニヤル 金今日ハ受取テ帰ツタ
夕方局伊藤氏ヨリ明日山階ノ宮武彦王殿下台臨トノコト
橋本出勤 パラシユートノ布設計
自分写真 小児トチユールップヲ写シ引延シヲナス
佐野ニ命ジタ捻切盤ノ件自分デ大体ノ案ヲ作ル

▲▼135ページ▲▼ 大正14(1925)年5月8日(金)

天気 曇雨

時事 山階ノ宮殿下台臨

七時起床 全員ニ大掃除ヲヤラセル。駐在へ報告ス 巡查三四名來 十一時頃來場
御附ハ伊藤君一人デアツタ
アブロ(鈴木)一回飛行 雨降ル 午後益々ハゲシ
晝餐後経営ノ事ニツキ御下問アリ 学校一分二円ニ定メタ動機其他ニツキ言上一時
過ギ御帰ニナル
羽太石橋來 午後食事ヲ共ニス

▲▼136ページ▲▼ 大正14(1925)年5月9日(土)

天気 曇リ少晴

川辺ヨリ午後到着及飛行日刻ノ電アリタリ
大毎十年式試飛行 吉田君航空社ノ宮川氏同伴來場 甲式三型見積書渡ス
リバディー晝前帰ル タイヤー900×200ノ立派ナノヲ借りテ帰ツタ
近藤竹中ノ金受取リニ上京セシム 竹中行違ヒニ來 夕方齋藤善ヨリビライツ撒クカ
來電アリ 明日ビラ受取リニ行キ返事スル事トス
渡辺幸來 五円渡シ残千九十余円八式百五十円ト八百四十余円ノ二枚ニ約手ヲ書イ
テ渡ス

▲▼137ページ▲▼ 大正14(1925)年5月10日(日)

天気 曇雨

時事 聖上銀婚式日

曇後チャ、ヨクナル

古谷及マニス各一回ツ、飛行ス

大毎機故障 飛行通延 三時頃代々木ニ出發ス

ガソリンヤ何ニヤカヤ大ニ急(ママ)ガシカッタ

◆▼1388ページ◆▼ 大正14(1925)年5月11日(月)

天気 曇少雨後晴

五時起床 菊池同伴上京 石川定辰氏ニ會フ 菊池郷土飛行ニツキ新聞社紹会(ママ)ノ件ヲ依頼ス スグアチラコチラ電話ヲシテ呉レタガ皆不在 菊池午後佐藤博士ニ會フコトニシテ自分スグ帰宅 十一時半マニースヨリ人スデニ來テ居タ 金持參セズ 飛行後鈴木同道上京セシム
夕方昨日今日ノ飛行ノ計算中松田來 昨日ノビラノ金百円呉レトノコトニ大ニシヤクニサワル マダ何處モ受取ツテ居ラズタトエ受取ツテ居テモ計算中ニ急イデ取リニヨコシタ事ガ氣ニサツタノデ笹山ノ爲替証書ト計算書ヲ其マ、持タセテヤツタ

◆▼1399ページ◆▼ 大正14(1925)年5月12日(火)

天気 晴

時事 訪欧練習飛行阿部大尉太刀洗ヨリ盛岡迄九時間余ニテ千八百キロヲ飛行ス
五時半起床 腹ヨロシカラズカユラ喰フ

佐野近藤ニ竹中ノ金受取り次第佐野上京 瀨部朝日ニ行ク事 近藤千葉へ登記ニ行クコトヲ命ジ自分九時ノ電車ニテ上京 スグ宮本組ニ行キ川口氏ト共ニ対馬氏ニ面會
過日提出ノ書類ヲ見テ貰フ 尚今日ノ状況及當時ノ止ムヲ得ザル事情ニツキ陳述ス。然シ此マ、ニテハ如何トモ本店ニ申訳タ、ズ宮本氏トモ相談シテ呉レトノコトニ一先ツ帰ル 但シ口振ニヨレバ自分分宮本ノト一マトメニ本店ニ報告シアル由
事ム所ニテ知覧君ニ會フ 磯部氏モ居タ 東京輕合金ノ三宅氏知り合トノコトニ後刻同伴ヲ約シ協會ニ野中氏局ニ課長ヲ訪問 帯広飛行祝電ノ事ヲ話ス スデニ先方ヨリ依頼アリ發送セリトノコト 阿部機平通過ノ報ヲ聞ク。書籍ヲ借り磯部氏同道ニ宅氏訪問 不在 高田益三氏ニ會フ 目下延べ金ニスルコトデ砲兵工廠ニ交渉中トノコト不圖思ヒツイテ佐渡島へ報恩ニ之レガ延べ仕事及販賣ヲ一手ニヤラセル事ニシテハト思ツタノデ砲兵工廠ノ方免(ママ)倒ノ様デアレバ佐渡島ヲ照介(ママ)シテモヨイト話シテ居イタ。高田信行ニ行ク 齋藤末吉氏出資ノ件大分進行 明後日午前十時同家顧問役ニ會ヒニ行コウトノコトデアッタ 七時辭ス

◆▼1400ページ◆▼ 大正14(1925)年5月13日(水)

天気 晴

終日在所 此度修理補助金下附ヲ期トシテ拂下代理ヲナスベク代理部設置趣意書ヲ

作ル

▲▼141ページ▲▼ 大正14(1925)年5月14日(木)

天気 曇リ

八時來ル 十時高田ニ行ク 同道原氏訪問 不在 斎藤氏訪問 不在 明日八時迄ニ高田ニ行ク 今一度同行ヲ約シテ宮本ニ行ク 主人行違不明 明日ノコトニス 朝日新聞ニテ丁度野田氏ニ會フ 大蔵ノ件依頼シテ渡辺ヘクヤミニ行ク 事ム所ニ立寄り航空局ニ行キ荒井大尉ニ昨日書イタ書類ヲ見テ課長ニ話シテ貰フ。サンセイヲ得タノデスグ準備ニ着手シタヲヨカロウトノコト 佐藤ヘ相談スベク行ク 不在 スグ帰宅 晝食又キデ大二腹ガヘッタ 途中田浦デ大蔵、西田ノ帰リニ會フ 台北号四十分飛行 成績ヨシトノコト 今日ハスベテヨイ日デアッタ

吉田禎治君社ヘ訪問 不在 自宅ヘ甲式三型ノ件手紙東京ヨリ出ス

▲▼142ページ▲▼ 大正14(1925)年5月15日(金)

天気 雨

今朝上京ノ予定ノ處菱伊氏來ルトノコトニ上京ハ見合ス 九時頃菱伊氏田中大將ニ近シイ人トカ云フ松野ト云フ、頗ル低級ナ顔ヲシタ人ガ來タ 晝食後帰ル 昔四十二年頃航空船ノ事デ講話ナドシタコトモアルトノコトデアッタ 大二尽力シヨウト云ツテ居タ

島村マグネトカーブレター、プロペラシヤフト持テ來タ。マグネト六十五円デ一寸予定ヨリ高カッタガ他ハ予定價格ナノデ買ツテ居クコトニシテ川辺ヘ金ヲ取リニヤッタ處ナイトノコト 又品物ハイラス、買フ時ニハ妻君自分デ所沢ヘ買ヒニ行クトノコトデ又シヤクニサワツタガ品物ハ預テ居クコトニシタ。ムシクシヤ頭痛ガシタノデ床ニツイテ居ルト大降りノ中ヲ天王寺君ガ學校ヲヤルノデトテ意見ヲ聞キニ來タ

▲▼143ページ▲▼ 大正14(1925)年5月16日(土)

天気 晴

五時起床 上京 佐野ニ立寄り鉄道聯隊ノ用地取調ベヲタノム 神田ノ母居リ自分ニ用アリトテ父死去後佐野ニ預ケタ百円ガ又ナクナツタトノコト 特ニ自分ニ於テ將來佐野ヲ引ツゞキ使用セラレルノカドウカト云フ様ナ質問デアッタノデ過日來頭ノ中ニアツタ佐野ノ不都合ヲ大分話シタ ソシテ使用スルセヌトノ事ハマダ考ヘタコトハナイガ現在ノ勤メ振りデハ困ルト話シテ居イタ 少シスツトシタ

高田ト原氏ニ會フ 次ニ斎藤氏ヲ訪問シタガ代理ノ人カラ援助ハコトワル、若シ代物ガ

アレバ一方位ハ融通スルトノコト 後高田氏ニ、北海道自分ニハ自信ガナイカラ借金追シテヤル勇氣ハナイトコトワツタガ其方ハ自分ガ責任ヲ持ツカラ面目上最(ママ)非ヤラネバナラヌトノコトデアッタ。実ニ迷惑ナ事ダガ一ガイニ事ワル事モ出来ナカッタ 横山氏ニ面會 廿一日振旗次官ト会見スルトニ打合セル 手形割引ヲ斎藤デシテ(一万五千円位)内五千円借リル様ナコトガ出来ルトノコトデアッタ。成ル可ク出来ナイ事ヲイノル

朝日カラ大蔵ノ件甲式三型貰ツテ退職スルトニ決定

日日ニ吉田ヲ訪フ 不在 甲式ノ件羽太君ニ頼ム 今夜会フトノコト 佐藤ニヨリ代理部ノ件相談 賛成ヲ得テ佐藤ヲ出張所トスルトニシタ

三宅氏ノ話出佐渡島ニ結ビ付ケルコト佐藤氏モ同意シテ居タ

▲▼144ページ▲▼ 大正14(1925)年5月17日(日)

天気 雨後曇リ

川辺ヨリ夜無事終了ノ電來 十九日札幌ニ行ク由 山口ニ電タノムトノ依頼來ル

朝十六聯隊ノ軍旗祭ニ台北号ニテ行ク奉祝軍旗祭ノ旗ヲ投下ス ウマク當庭ニ落チタ午後ライトエコープレシクラブノ会則ヲ作ル

佐渡島英祿氏三宅氏ノ件手紙出ス

▲▼145ページ▲▼ 大正14(1925)年5月18日(月)

天気 曇リ

佐野各務ヶ原へ乙式及甲式引取りニヤル

リバディー大蔵、西田、今村、立川ニ飛行 今日ハツヒニ帰ラナカッタ

十時ヨリ上京 佐藤ニ立寄り代理部ノ印刷物ノ件其他打合セシテ航空局ニ行ク 中川氏明後日乙式検査ニ來テ貰フコトニス。主時早川氏今カラ出發シマスト云フ處へ出合シタ。課長ニ稲垣ノコト聞ク。モスコイ追ニナツタノデ用ガナクナツタトノコト 三時東京ステーションホテルニ宮本氏ヲ約束ニヨリ訪問 今日ハコナイトノコト 店ニ行ツテ宅へ電話デ聞イテ貰フ 行違(ママ)不明 二三小供ノ買物ヲシテ帰ル

川辺君ヨリ長々シイ手紙來 妻君ニ話シテ呉レト書イテアツタガ手紙ヲ其マ、見セル

▲▼146ページ▲▼ 大正14(1925)年5月19日(火)

天気 晴

午前大連飛行ニツキ高見氏笹山氏へ手紙出ス

午後自製飛行機ノ写真引延シヲナス

夕方カラ白戸ニ行ク 白戸式ローン組立ニツイテ打合せヲナス 妻君ヨリ金ノ件ヨリ話初マリ僕ガ何ニカ氣持悪クシテ居ナ(ママ)カトノコトニ禿氏カラ聞イタ事ヲスツカリ話シテヤツタ。氣ガ清々シタ 之レカラ思エルコトハ何ンデモ遠慮ナク云フコトダ 帰途カシナヲ求メテ帰ル
川辺君ヨリ飛行機賣ツタコト アト飛行機準備ノコト 今夜札幌ニ行クコトノ電アリタリ

▲▼147ページ▲▼ 大正14(1925)年5月20日(水)

天気晴

朝三倉件ニテ上京ノ予定ノ處菱伊氏ヨリ行クニ及バズトノコトニ何ントカ挨拶ヲシナケレバナルマイト思ヒ近藤ヲ上京セシム 夜帰ル 手紙出スコトニス
佐野ヨリサ式ナシニ式ダケ送ルトノ電アリ 近藤ニ荒井氏ニ聞合セサセル 一台有ツタノダガ社デアマリ取りニ來ナイノデ外ハヤツテシマッタトノコトデアツタ 中川氏來 サ式三十四號機トカーチス及白戸ノ分見テ貰フ

昨夜オソク川辺ヨリ又電報アリ マグネットトハンドマグネットー送レトノコトニ今朝白戸へハンドマグネット買ヒニヤツタガ貸スガ賣レヌトノコトニ台北号ノ分ヲ送り白戸ノ分ハ預リ居ク

朝北海タイムス氣付ニテ川辺宛飛行機ノ件返電ス 金ナク川辺ヨリ打タセル 外ニ二十円借リル

▲▼148ページ▲▼ 大正14(1925)年5月21日(木)

天気 曇後雨

今日ハムネガ終日変ニ痛ンダ

九時過ギヨリ上京高田ニ行ク 横山事ム所トノコト 同所ニテ会フ 今ハ会見出來ナイノデスグ失敬 日時ヲ電報デ知ラセテ貰フコトニス 其節北海飛行ノ話シ出タノデ自分ハ借金シテ迫ヤル意志ハナイト云フコトヲ重ネテ云テ居イタ

朝日ニテ卅四号殘金受取ル 佐野今先キ帰ツタトノコト 木下氏ニ会フ 事ム所ニテ菱伊氏ニ会フ 三濃津ノ金高田受領費消シテ居ルノデ此マニ出來ナイトノコトデ菱伊氏ニ其方ハマカス。之レヲ機会ニ高田ト手ヲ切ルコトガ出來レバ好都合デモアル。佐藤ニテピアノ線ヲ買ヒ帰ル

▲▼149ページ▲▼ 大正14(1925)年5月22日(金)

天気晴

時事 河内氏太刀洗ヨリ盛岡迄八時間ニテ飛行ス

川辺君ヨリ何ノ通知ナシ 何處デナニラシテ居ルカワカラス神田佐藤ニテアプロ機打合せ 日曜ニ土浦へ行く予定ヲナス

朝日ニテマーク記入費受取り五十円寄贈ス 日日ニ行ク 吉田居ラズ福知(ママ)氏來ラズ

知覧君ニ會フ 月曜ハ本部行キヲ約束ス

宮本喜代藏氏ニ面會 瀬尾氏ヲ通ジテ飛行機ヲ奉天ニ賣ルトノコト 値段書ヲ作ルコトニナル 夕方帰ル

▲▼1500ページ▲▼ 大正14(1925)年5月23日(土)

天気 晴

時事 關西大地震アリ 城ノ崎、豊岡両町全滅ス

宮本組へ出スリバテイー外五種ノ写真ヲ焼き橋本ニ表ヲツクラセ價格ヲ入レ近藤ニウツサセテ居ク

▲▼1511ページ▲▼ 大正14(1925)年5月24日(日)

天気 曇後晴

朝川辺函館発信來 北海道定期飛行予算書ヲ至急送ツテ呉レトノコト スグ作製ニカハリニ時頃完成 スグ近藤ニ上野駅迄持參セシム 多分今夜八時ノ急行デ行クダロウ。ツヒデニ竹中へ寄ラセル 木曜日カスミガ浦へ行クカラ同行スル旨事ツテル 川辺妻君ニ式百円受取ル事ヲ話シス 川辺ヨリ渡セトノ手紙アリタル由 夜セキデ苦シム 仁二郎モ大分悪ルソウデアッタ

▲▼1522ページ▲▼ 大正14(1925)年5月25日(月)

天気 晴

今日ノ上京予定ヲ佐野ヲヤル

郵便物投下用。パラシュート台北号ニテ試験ス 好成绩 少シ落ス速度ガ遅スギル様デアッタ 二百米突余リカラ一分間カッタ。後女工二名イシトクラト女練習生三名同乗ス 大分重サウデアッタ

平松南部來 外ニ學習院ノ平松氏ト大蔵ト五名ニテ晝食

フライングボート中島式等ヲ取カタツケル 各務ヶ原ノ甲式三型到着 スグ工場ニ運搬シテ來タニハ少シ変デアッタ 川辺ヨリ百八十円受取ル 金ナイカラトノコト 変ナ妻君ダ

今日局カラ検査ニ來ル予定デ待ツタガツヒニダレモ來ナカッタ
仁三郎悪ルソウナノデ千葉ノ醫師ヲ仰(ママ)エル スデニハイ炎ニナツテ居ルトノコトデ、
スグ看護婦ヲタノムヤラ、サンツヲ運ブヤラ大変ナサワギニナツタ 今日カラ自分ハ長屋
ニ寝ル

◆▼153ページ◆▼ 大正14(1925)年5月26日(火)

朝六時頃島先生來 心藏(ママ)ハヨクナツテ肺炎ノ方ガ進行シテ居ルトノコト(コノ記事
ダケ廿七日分)

朝早く上京 途中島先生ニ會フ 九時前高田着 シバラク待ツ内菱伊氏先着シテ居タ
二階ニ通ルトスグ北海道飛行ノ話持チ出ス。加瀬氏ヨリ一部ノ出資ヲオシマナイトノ
手紙來テ居ルトテ大變自信ノアル様ナ話シテアツタ 自分ハあく迄借金シテヤリタクナ
イト云ツタガ結局高田ガ責任ヲ帯ビルカラヤツテ呉レトノコトニナツタ。ソレデ其金デ菱
伊氏ノ方ヲ一時帰ストノコトデ要スルニ菱伊氏ニ対スル云ヒ訳ノ手段トナツタワケダ
レカラクダラヌコトヲ晝頃迄二人デ話シテ居タ 自分ハ小供ノコトガ氣ニナルノデ早く
歸リタクテツヒニ引張出シテ横山事ム所ニ行ク 氏ヲ待チ二時陸軍省ニ行ク 三時頃
振旗氏ニ會フ(二八〇頁へ)
(380ページへ続く)

◆▼154ページ◆▼ 大正14(1925)年5月27日(水)

天気 曇リ

島先生モ來 心藏(ママ)ハスツカリヨク右肺上部モヤ、ヨイトノコト 大ニ安心ス(コノ記
事ダケ廿八日分)

上京 正午鳥飼ニテ菱伊氏ニ會フ 知覽同道 一時ヨリ本部ニ行 本部長補給部長旅
行 検査室ニ行キ森氏ノ招(ママ)介ニテ新検査部長河田少将ニ面會。吉山氏ヨリ有益
ナル書類ヲ一二點借りテ歸ル 航空局ニ立寄ル 阪東氏ニ會フ 川辺ヨリ局ヤ後藤ノ處
へ帯広事件ノ電報ガアツタトノコト 随分先キ走ツタコトダト思タ 課長ニ。バラシユート
ノ事ヲ話シ昨日ノ拂下ノ領(ママ)解ヲ求メテ同道シテ役所ヲ出ル
佐藤ニ立寄り歸ル 佐野ニヨリ大藏ニ青島ノ機体買エナイ場合ト思ツテ甲式三型賣ルコ
トヲ話シテ聞カセタガ、聞カナカッタ 如何云ウ思エカ分ラナイ

◆▼155ページ◆▼ 大正14(1925)年5月28日(木)

天気 雨

川辺朝七時上野着 三時頃宅へ來タ 北海道ノ経過ヲ聞ク 金ノ事明日相談スル事ニ
ス

青島今日モツヒニ帰ラズ

今日ハ終日佐藤氏ノ黄金ト云フ小説ヲ讀ム 旧道德ヲノロツタ小説デ義理ヤ人情ハ人
間ノツクツタモノデアルカラ、コレニトラワレル事ナク自己ノ信念ニ生キルモノガ最モ忠実
ナル道德者デソレガ反ツテ將來ニ生キル道デアル事ヲ説イタモノデ自分等ノ様ナ氣ノ
弱イモノニ取ツテヨイ教訓デアツタ

仁三郎夕方体温三十五度二分ニ降ル 又悪イノデハナイカシラ

▲▼156ページ▲▼ 大正14(1925)年5月29日(金)

天気 曇リ

青島機賣ラセルベク交渉シタガ賣ラズ 後川辺直接交渉セシモマトマラズ 北海道ノ方
ハ破損シタコトニ打電シ霞ガ浦ノヲ買ベク明日行クコトニス

夕食川辺ニテ共ニス

高田信行へ今夜本所ノ爲メト云ツテ奔走セラル、コトノ事ワリ状ヲ書ク。アトニ文句ヲ
言ワレナイ様随分注意ヲ拂フ

仁三郎ハタシテ又悪クナツタノデアツタ 今日ハ二回醫師ガ來テ夕方心蔵(ママ)ニ対スル
榮養薬トカラ注射シタ 午後ヨリヤ、ヨクナル

▲▼157ページ▲▼ 大正14(1925)年5月30日(土)

天気 曇リ雨

四時半起床 川辺君同道上野七時四十五分発ニ乗ル 佐藤氏同道 氏來ズ 十時過
ギ片岡着 色々話シタガ結局マトマリツカズ荒川沖ノ分ヲ買フコトニシテ見ニ行ツタガ、
スデニクサツテ居テ使用ニ堪エズ三時半ニテ帰り佐藤ニ行キ想(ママ)談 片岡倉庫ノ分
買物交渉ヲ依頼ス。今夜行ツテ呉レルトノコト 佐野明朝ヤルコトニシテ帰ル

▲▼158ページ▲▼ 大正14(1925)年5月31日(日)

天気 曇少晴

仁三郎追々ヨロシキ方ニ向ク

昨日新入生アリ 二百円納ル 内式百五十円借リル 練習用ガソリン自分見テヤルコ
トニシテ

午後工場全員ヲ集メ今月朝日日日ノ不結果ヲ話シ式百五十円ノ内稲垣へ百円送金

ノ件ヲ領(ママ)解ヲ求メ残り全部ヲ所員全体ニ分配ス
醫師ノ方延期

▲▼159ページ▲▼ 6月

ライトプレーンクラブ新設
補助金下附ニツイテ代理部ノ設置霞ヶ浦出張所ノ件
陸軍運動ノ件
訪欧見送り飛行ノ件
大連飛行ノ件
紙製飛行機ノ件

▲▼160ページ▲▼ 大正14(1925)年6月1日(月)

天気 曇リ
佐野カスミ浦昨夜泊リ
荒木朝帰ル。近藤稻垣分送金 日本自動車会社及銀行へ使ニヤル
辻本一人來
川辺九時頃上京セシ由
午前大連へ手紙書ク 午後小供等ノ写真ヲ写ス

▲▼161ページ▲▼ 大正14(1925)年6月2日(火)

天気 曇少雨
今日航空部行ノ予定ナリシモ今月二十日迄皆不在トノコトニ中止シ午後上京 局ニテ
荒井氏ニ會フ 過日ノローン拂下ノ事ヲ話シ大連ノ件課長不在ニ付荒井氏ニ依頼ス。カ
ーチス及白戸機明後日検査來ル由 日日吉田不在 朝日雨宮小川氏ト雑談。佐藤ニ
立寄りアプロ運賃計算ヲ渡ス 明後日行クトノコト
今日八仁三郎大ニヨシ

▲▼162ページ▲▼ 大正14(1925)年6月3日(水)

天気 曇リ
時事 カスミ浦旭川間長巨(ママ)離飛行出發
アビエーションニテライトプレーン研究

高見氏ヨリ來信 同氏ト金子氏トハ相識ノ間デ會談ノ結果御尽力ヲ迎(ママ)グコトニ
ナツタ由
宮本送付写真ヲ燒ク

▲▼163ページ▲▼ 大正14(1925)年6月4日(木)

天気 晴少曇リ

時事 旭川飛行無事終ル 北京飛行同ジク

七時過ぎ佐藤氏來 八時廿六分台北号ニテ出發 西田、佐藤、自分同乗 カスミ浦ニ
行ク 昨日旭川飛行ヲ終ツタ町田大尉ニ挨拶 鏡山曹長ノ案内ニテ中央格納庫全部
ヲ見學 本部カラ來テ呉レトノコトニ副官ニ挨拶ニ行ク 十一時辭シテ歸ル

森川、芝入二名來 白戸機カーチス終ル アブロ、ローン見テ貰フ 今朝ガソリンニ鐘
學校へ渡スニ付大藏ノガソリンオシミヨリ川辺君ノ言行ニ対シ大藏ノ言葉ガオダヤカデ
ナカッタノヲ鈴木ガ川辺ニ話シタ爲メ午後後事ム所デ大問題ヲ起ス 僅カニガソリンニ鐘
ヲ買ツテヤレナカッタ爲メニ起ツタコトデ大藏ニ小言ヲ云ヒツ、ムネガセマツテツヒニ涙
ガトマラズ色々ノ事モ考ヘラレタ方迄泣キ通シテシマッタ
夜ライトプレーン研究

▲▼164ページ▲▼ 大正14(1925)年6月5日(金)

天気 曇雨

大連大坂高田、谷沢等手紙沢山書ク

橋本航空研究所及佐藤喜三郎へヤル

本日ノ新聞デ航空局甲種飛行機補助金ノ規定發表セラル
アブロ二機到着ス タ方シラベル 買物川辺君ニ依頼ス

▲▼165ページ▲▼ 大正14(1925)年6月6日(土)

天気 曇少晴

今日ハアブロ機プレーン手入ヲ初メタガ上翼ス。パーガ折レテ居タノデ中止ス。丁度青島
ノプレーン買ツテ呉レトノ話シタノデ一枚五円デ六枚買取ル スグ手入レニ着手 右ノ
金明日ヤルベク話シセシニ承知セズ今日最(ママ)非呉レ 呉レナケレバ外へ賣ルトノコトニ
大ニシヤクニサワル スグ金ヲ與へ直チニ家賃ノ督促ヲセシム。度シ難キ小人ハ困ツタモノ
ダ

「飛行機補助金下附ツイテ」及同挨拶状ヲ發送 丁度百九十枚

▲▼166ページ▲▼ 大正14(1925)年6月7日(日)

天気 晴

近來ニナイ好日曜 朝島醫師來ル 大分ヨイトノコト 今朝ニテ注射モ終ル
久シ振リデ稲垣君ニ手紙ヲ書ク
アプロ、カントクニ昨日カライソガシカッタ

▲▼167ページ▲▼ 大正14(1925)年6月8日(月)

天気 晴少曇リ

今日所沢芝川行キノ予定ノ處大蔵気分悪シクトテ中止ス
平松君來 此度宮殿下練習所へ入所スルコトニナツタトノコト
川西入リヲ延期ス

水口氏來 人力車メーター權譲リ渡假契約ヲ書ル

夕舟鈴木白戸機ニテ宙返リヲナス 大蔵ソレヲ笑フ 後チ二人ヲ呼ビヨクイマシム
夕方西田今村工場村山ヲノゾク外ノ代表トシテ川部排セキニ決議文ヲ以テ來ル 会
社ノ成立、借金ノ整 佐野ノ状況 川辺トノ關係ヲ約ニ時間ニ渡テ話シ反省ヲウナガ
ス 今一度相談ストテ引取ル。後村山ヲ呼ビヨク話シ又意見ヲ聞ク 十一時帰ル

航空局ライトプレーンクラブノ件

拂下代理部ノ件領(ママ)解ヲ得ル事

飛行協会ライトプレーン同ジク

佐藤勘定ノ件

竹中勘定ノ件

▲▼168ページ▲▼ 大正14(1925)年6月9日(火)

天気 曇リ後晴

六時起床 樋口出勤後同人ヲ呼ンデ聞ク 大分決議文ノ意味ヲ取チガエテ居タ 要ス
ルニ根據アルモノデハナサソウデアッタ。ヨク事情ヲ話ス ヨク領(ママ)解シタラシカッタ
台北号デ所沢行ノ準備ヲシタガ雨が降り出シタノデ電車デ出發 二時半學校着 マ
グネトー外二三點返納 島村ニ立寄り不足品ノコトストック表ノコトヲ協議シ三時十
五分ノ電車ニ乗ル 北島氏ト同乗 ライトプレーンクラブニツキ賛助会員タル承諾ヲ得
ル

知覽君ニ立寄ル 安藤森氏ノ方ニ出資者アリトノコトニ同氏ト会フ 安藤氏ノ商事会
社ニ金ガ入ルノデソレニ利用サレル様ナ風ニ見エタノデ事ワルコトニス 佐藤ニ立寄り帰ル
十時半

◆▼170ページ◆▼ 大正14(1925)年6月10日(水)

天気 曇後晴

朝西田二会谈 決議ヲ個シル様ナ模様ナカッタ 自分トシテハ、テツカイスル様話ス。自分ノ語(ママ)葉ニヨツテ事情ヲ知ツタ爲メ大分心持チガ、カワツタ様子デアッタ
大蔵ヲ呼び大連飛行ヲ訪欧見送り飛行トスルコトノ打合セヲナス。
川辺ト同道上京 竹中ノ小切手百二十円受取ル 佐藤ニ寄ル 不在 帰途ヲ約シテ局ニ行く。アブロ検査 鈴木台北拡張、及件打合セ課長ヲ待ツ時間後会谈 大連飛行及見送り飛行ヲ佐渡島、竹島ノ名儀(ママ)デ行フコトノ領(ママ)解ヲ求ム 快諾ヲ得ル 拂下ノ件ニツイテハ賛成ヲ得タ 尚カスミガ浦ヲ盛ニヤレトノコトデアッタ
佐藤ニヨリ右ノ打合セラナシ帰ル 八時

◆▼171ページ◆▼ 大正14(1925)年6月11日(木)

天気 晴

佐野瀬部書替 朝日。パラシユートノ金受取りニヤル アブロ完成ヲ急ガス
小西金太郎 帰出場機体振替タコトニツイテ領(ママ)解ヲ求ム 尚同人ハ今月廿五日京都ニテ飛行ノ約束ヲナシタル由 ソレニ間ニ合ワナイノデ、其爲メ同人上京打合セニ行く
夕方西田、今村二人又例ノ件ニ川辺君ニ話シテ呉レタカト聞キニ來タガヨク又領(ママ)解スル様話シテヤッタ 兎ニ角川辺モ一両日中ニ又北海道ニ行クノデアルカラ其間ニヨク協約ヲ計ル事トス
夜橋本來 ヤハリ其事ニツキコレハ又工場外川辺組ト云フ程デモナイガヤ、近イノデ、コレニモヨク話シヲ聞キ話シテ居ク

◆▼172ページ◆▼ 大正14(1925)年6月12日(金)

天気 晴

アブロ機急ガシム

佐野午後千葉ニヤッタノデ夜來ル 過日來ノ問題ニツイテ少時話ス アトハ明日ノコトニス
夕方信太郎徳治ヲ連レテ幕張迄散歩ス 自分トシテハ初メテデアッタ。帰りニ途中ヨリ腹痛デ大ニヤンダ

◆▼173ページ◆▼ 大正14(1925)年6月13日(土)

天気晴

朝西田今村來 佐野川辺ニ会见サセテ呉レトノコト 余リ早急ナノワイヤナ氣ガシタノ
デ彼レ等ノ言行ニツキ一矢ヲ報ヒ後チ佐野ヲ呼ビ彼レノ云フ處ヲ聞ク 家庭上ノ事ニツ
キ神田ノ金六返金シタトノコト 三四百円ノ貯金アツタガ今年來費消シタトノコト 此
ノ事ハ使ヒ込ンデ居タ時機ト貯金ヲ費消シタ時機ニ大變ムジユンシテ居ルガソレハ追及シ
ナカッタ 後チ自分ノ一月以來ノ佐野ニ対スル不平ヲ一切サラケ出シタ。コレニ対シテハ
一言モナカッタ 尚川辺君トノ問題モ外ニ何等川辺ハ佐野ニ個人的ニ思テ居ナイ 要
スルニ工場ニ対ス(ママ)佐野ノ行爲ガヨクナイカラデアル事ヲ告ゲル
三八一頁へ

(381ページへ続く)

▲▼173ページ▲▼ 大正14(1925)年6月14日(日)

天気晴

佐野上京セシム 朝日不在ノ爲メ、ハラシユートノ金貰エズ
本願寺大谷氏半野氏來場 交渉数時 中島式二百ヲ呉レトノコト 局ノ手續キサエス
メバ差支ナキ旨答エル。十七日局交渉ノ上返事スルコトニス
夕方川辺同道上京。佐藤ニテタ食馳走ニナル。後禿氏訪問 不在 明朝八時ヲ約シテ
帰ル

▲▼174ページ▲▼ 大正14(1925)年6月15日(月)

天気雨

六時ニテ上京 禿氏氏ト会见 ス、パローホークニ台發動機共整備ヲ引受ク 今日顔出
シ明後日工場ニ來ルトノコト 一時間程シテ辭シテ帰ル
ヒドイ雨デアッタ 森川氏電話カケテ居タノデ午後來テ呉レタガ發動機ガウマク廻ラ
ナカッタノデ困ッタ 検印ヲ持ツテ來ナイノデ明日又來ルトノコトデアッタ

▲▼175ページ▲▼ 大正14(1925)年6月16日(火)

天気晴

六時上京 針久ニ行ク 禿氏氏上野駅へ出張 伊藤、乗池、両君ニ會フ 昨日積込出
來ズ今日一所ニ行ツテ見積リサレタシトノコトナレドモ、今日所用アリコトワツテモシ今
日積込ミ出來ナケレバ明朝見ニ行ク約束シテスグ帰ル 十一時前デアッタ
佐藤氏外一名及森川氏午後來 アプロ驗(ママ)査終ル
鈴木海岸ヨリ飛行 試飛行ヲ終ル

竹中、學校ノ局提出願書ヲ作ッテヤル
今日下志津學校一週(ママ)年ニ行クコトガ出來ナカッタノハ残念デアッタ 佐野行クベク命ジテアッタノニ案内状ガワカラナカッタトテ行カナカッタ
稲垣君ヨリ折返シニ二百円スグオクレトノ電報來ル

▲▼176ページ▲▼ 大正14(1925)年6月17日(水)

天気晴

今日ハ北海道へアプロノ積出シデゴタ、シタ 午後三時頃積出ス
午後近藤竹中ノ金受取り買物ノ爲メ上京セシム。銀行時間遅レテ受取ラズニ帰ル。予定大ニクルフ

半野氏來 中島式ノ返事聞キタシトノコト 今日ハ課長不在ノ爲上京出來ズ 明日ハ大谷氏不在ノ爲メ明後日上京ノ事ニ約束シテ帰ルス

川辺北海道へ出發ス

夕方コスモスト朝顔ノ移植ヲナス

本日ヨリ仁三郎表ニ出タ方ガヨク、風呂モ普通ノ風呂ニテヨシトノコト

▲▼177ページ▲▼ 大正14(1925)年6月18日(木)

天気晴

今年初メテノ夏(ママ)サデアッタ 室内ニテハ八十度

佐野近藤上京セシム 竹中式百円入りタレドモ買物ト工賃ノ内拂デ自宅ノ方ハ僅ニ二百五十錢シカヤレナカッタ

今日ハ一人事ム所デ訪歐飛行ノ圖ヲ書ク 十年振りデ雅筒ヲ持ツタガ、少シ習工バ晝クコトノ出來ル自信ガ出來タ

夜眠レズ稲垣送金ノコト 醫師支拂ノコト 工場材料ノコト 工賃ノコト等氣ニナル

▲▼178ページ▲▼ 大正14(1925)年6月19日(金)

天気 曇後晴

今日ハ來客デー 米国帰りノ眞田、大毎ノ羽太 午後八時氏氏等來場ス。パローホーク到着

仁三郎醫師島田氏今朝來 モー普通ノ風呂ニ入レテモ外出シテモ差支ナイトノコトデアッタ

▲▼179ページ▲▼ 大正14(1925)年6月20日(土)

天気 雨

早朝ヨリス。パローホークヲ分解取調べ修理調書ヲ作ル 終日カ、ル 佐野手傳ワセル
看護婦今日帰エス

兄ヨリ手紙來 今月一万円ナイト何ニモナラナイ 此間モスデニ差押エニ会フ處デアッ
タトノコト ヨク、ノ事ト思ワレルガ今ノ自分ハ東京へ出ル旅費ニサエ差支ル有様ナノデ
今日ハ随分頭ヲナヤマシタ。返事ヲ書クニモ何書イテヨイカ分ラナイノデ明朝ノコトニス
今朝神棚ノ下ニウドゲノ花ガサイタ 家内ハ悪イト云フ 自分ハステキニヨイト云フタ
ハタシテドチラカ

▲▼180ページ▲▼ 大正14(1925)年6月21日(日)

天気 雨

兄、電通、佐藤、返書ヲ書ク 兄手紙大蔵ニ事傳テル
大蔵、西田、今村今夕出發ス

散髪ヤ來ラズ 廿十時出ル佐野、西田出勤オソク上京オクレル 佐野スパロー見積ヲ命
ジ上京 菱伊氏スデニ外出 スグ大谷氏訪問 小西マダ來ラズ 雑談ノ後チ大辻機一
台ニ承諾ヲ得 但シ次ギノ拂下機整備費ダケ負擔シテ呉レトノコト 承諾ス 帰途山
内ニテ小西ニ会フ
佐藤ニ立寄り、鳥飼ト電話ニテ話ス 井上上京中トノ事 六時ノ電車ニテ帰ル
眞田來 アブロ最(ママ)非マトメテ貰ヒタイトノコト 千円受取ル
大分ヨクナツテ來タゾ

▲▼181ページ▲▼ 大正14(1925)年6月22日(月)

天気 雨

今朝眞田君ノ注文書ヲ作製

雨ハゲシク福知氏來ラズ ニ式準備成リ試運轉ヲ行フ
夕方菱伊氏來場 訪歐見送り飛行ノ件草間氏ト相談シテ貰フ
給料四月分全部ト五月分一部支拂ヲ終ル 銀行へ五百円預金ス

▲▼182ページ▲▼ 大正14(1925)年6月23日(火)

天気 晴

正午福知氏來 後羽太吉田君來 飛行セズロ一廻シテ夕方帰ル 金件福知氏廿五
日帰坂ノ上協議決定ストノコト

朝橋本局、其他ヘヤル

ス。パローホーク二五三号見積書作ル。局提出願書ヲ近藤ニ作ラセル

▲▼183ページ▲▼ 大正14(1925)年6月24日(水)

天気 晴

六時起床 洗面、新聞、茶、朝食後工場、日記

午後大毎機所沢へ帰ル

佐野上京セシム

大連各名士ノ挨拶状ヲ發送ス。岩手号見積書、局提出願書一括シテ盛岡ニ送ル
方金五百円盛岡ヨリ來ル

▲▼184ページ▲▼ 大正14(1925)年6月25日(木)

天気 晴

時事 霞ヶ浦デー等水平(ママ)墜落死ス

今日ハ今年初メテノ暑サデアッタ 室内デ八十二度

高見氏ヨリハガキ來 丸ノ内ホテルニ居ルトノコト

午後上京 時間ガ早カッタノデ朝日へ一寸立寄ル 事ム所ニテ近藤ヲ待チ合ス

廿八日ノ少年團見學ノ事ニツキ同團員來 鳥飼氏不在 自分会フ ヤハリ宿舍カラ茶
ノミ所見学説明ナド随分厄介ナコトバカリデアッタ 鳥飼氏ノ話トハ大分違ッテ居タ

近藤ヨリ金受取り高見氏ヲ訪フ 丁度今帰ッタ處トノコトデヨカッタ。博覧会デハ金ガ
ナイノデ金子氏ト高柳氏トニ高見氏不在中ノコトヲ依頼シテ居イタガ最(ママ)非決行
スルトノコトデアッタ

東京デノ会见人員百名マデニ昇ルノデ、ドコカニ招キタイトノ希望。金ノ點ニツキ勢ヒ
何ントカシマシヨウト云ワザルヲ得ナクナッタ。

曙ニテ夕食 銀ブラヲナシテ帰ル 十二時 此金ノ事ガ氣ニナッテ仕様ガナカッタ

▲▼185ページ▲▼ 大正14(1925)年6月26日(金)

天気 雨後晴

家内朝仁三郎ヲ連レお祖師様ニ参詣ニ行ク

自分午後上京 夜十一時帰ル

▲▼186ページ▲▼ 大正14(1925)年6月27日(土)

天気 晴

六時半電車ニテ上京 高見氏訪問 二人ノ名ニヨツテ金子氏へ最低費用ト依頼状ヲ出ス
局児玉氏訪問 高見氏一足先キニ帰ル
井上氏ヨリ拂下割當テヲ聞キ、伊藤西夫氏ヨリアプロ一機整備ノ事ヲ聞キ森川氏ニ会ツテ佐藤ニ立寄り帰ル
川辺へ手紙出ス
夕方慎君來 七月中ニ免状ヲ取ラネバナラヌトノコトニ入学ヲ許ス 四百円持ツテ來預ル
高見氏ヨリ三百円卅日迄ニ金作ルコトヲ頼マレル 困ツタガ取アエズ、大毎へ打電シテ居ク
佐野此式三日不思議ニ働キ出シタ。

▲▼187ページ▲▼ 大正14(1925)年6月28日(日)

天気晴

晝夜來ノ雨晴レテ天気次第ニヨクナル
鳥飼、知覽、高見ノ順序ニテ來場 少年團十一時過ぎ來 二時長岡氏來 飛行後長岡氏ノスミスノ出世物語リ一場アリ 五時頃相前後シテ全部帰ル 非常ニクタブレタ川辺妻君二百円渡ス(慎君ノ金)
高見氏ノ三百円ムネニツカエテ閉口 如何ニモ支拂ノ方法ツカズ明日竹中、吉田へヤルツモリ

▲▼188ページ▲▼ 大正14(1925)年6月29日(月)

天気晴

終日在所 近藤竹中へ金受取りニ上京

▲▼189ページ▲▼ 大正14(1925)年6月30日(火)

天気晴

六時半上京 高見氏不在ニツキ局三行キ拂下其他ノ件打合セ再ビ十時頃高見氏訪問百五十円渡ス
海軍省ニ桑原少佐ニ面会 BR2ペラノ件打合セ 事ム所ニテ大辻菱伊氏ト会ヒ朝日へ中島返納届ノ件ニテ行ク。日日吉田訪問セシモ不在 後チ草野氏菱伊氏ト會フ

▲▼191ページ▲▼ 大正14(1925)年7月1日(水)

天氣 曇後雨

昨日ノツカレデ今日ハ午前中拂下引取ニ関スル書類ヲ作ル 近藤ニ渡シテ午後床ニツク
自分ナガラ精力ノトボシイノニ驚ク モット健康ニシタイモノダ

▲▼1926ページ▲▼ 大正14(1925)年7月2日(木)

天氣 晴

朝事ムヲ取り九時大蔵ト千葉裁判所検事局ニ行ク 十一時頃大蔵呼バレ余ハ午後ニテ
ル 晝食眞田ト三人共ニス
一時ヨリ約四十分間聞取書キヲ作製 スグ上京 時間ガナカタノデスグ朝日ニ行キ
返納届ト金貳百円借り五時頃丸ノ内ホテルニ高見氏ヲ訪ヒ百五十円渡ス 尚種々打
合セヲナシテ六時帰ル

▲▼1933ページ▲▼ 大正14(1925)年7月3日(金)

天氣 晴

午前中事ム所 拂下引取委任状等ヲ書カセル
晝頃佐藤重次郎氏來 デボイチンライトプレーン練習ノ爲格納庫借リタイトノコト
満員ニツキ多少ノ不便ヲシノグナラ貸スコトヲ約ス。高田治作來 金貸シテ呉レトノコ
ト 十円與ヘル

上京 局ニテ中島式返納届ヲ出シ拂下期日通知ヲ依頼シBR1ノ性能ヲ調べテ高見氏
訪問 不在 大蔵事ム所迄使ニヤリ待ツ間ニ高見氏帰ル 大連出來ルモノナリトシテ準
備ヲ進メルカラ最(ママ)非進行サセラレタシト依頼ス 後チ○ヤニスツポンヲ喰ヒ十時出
発トノコトニ見送りハ中止シテ帰ル
川辺ヨリプラグアシク飛ベヌトノ打電アリタリ

▲▼194ページ▲▼ 大正14(1925)年7月4日(土)

天氣 晴

禿氏氏ヲ待ツ 九時頃來 佐野鶴見見積リノ件ニテ上京セシム
明日ヨリ第一第三日曜日ヲ休日トスル事トス

飛行宣傳部糸川良和ナルモノ來 後金ヲ飛行ヲ頼ミニ來タガ少ナクトモ半金ヲ要スル
コトヲ諒ス

右記シタモノハ昨日ノ

◆▼1955ページ◆▼ 大正14(1925)年7月5日(日)

天気 曇り

終日在所 庭ノ草取り

糸川外二名ビラ撒依頼ニ來ル 日曜ナリ金モ持ツテ來ナイノデ明日ニス

◆▼1966ページ◆▼ 大正14(1925)年7月6日(月)

天気 曇り少雨

佐野小西同道大谷氏へ金件ニテヤル外大川塗料ノ返事聞クコト 結果ヨシ 日米スタ
ー残金聞合セ 十一月十四日スデニ式百五十五円上ゲ高田受取り済ムカモ 研究所
ニ印刷スル領収書ナリシ由

朝川辺ニテガソリン十函購入セシム 台北号ニ五カン入レテ立川ニ行ク 菊池同乗 丁
度式ノ初マル前デアッタ 森氏ニゴムパイプヲ貫ヒ帰ル時タンクモリ出シ取ハツシテ半田
付ヲナシ十二時十五分前出発帰ル

後糸川ノビラ撒布ニ行ク 二十円内金鈴木ニ渡ス

◆▼1977ページ◆▼ 大正14(1925)年7月7日(火)

天気 雨

終日小雨 降ツタリ止ンダリムシ暑イ日デアッタ

午前中手紙ヲ書ク 午後甲式三型自家用分翼ヲ調査ス

米川氏來場 スパローホーク一台ダケマトメルトノコト 二五三号ノ方ガヨイトノコトデ
アッタ

二五一号本日ヲ以テ作業中止スルコトトス 但シ二五一号後チニ完成セシムル自信ヲ
有ス

◆▼1988ページ◆▼ 大正14(1925)年7月8日(水)

天気 晴

今年初メテノ暑サ 東京八九十三度ノ由

今日ハ笹山ヲ相手二甲式三型プレーンヲ調べ手入レヲス

台北号帰ラズ夜十二時頃松田帰ル マグネトー悪イトノコト 明朝西田同道ノコト

白戸ヨリ妻君ニ事傳ケ ローン外ニ買手ガアルカラ入ルノカ入ラナイカトノコトニ入ルノ

ダガ今現金ガナイカラ今月末カ來月中頃ニ拂ヘルガイケナケレバ外へ賣ツテモヨイト返
事ス

◆▼2001ページ◆▼ 大正14(1925)年7月9日(木)

天気 曇り

今日ハ笹山相手ニ胴体ノ組立ヲナス
妻君ヨリ白戸ノ返事待ツトノコトデアッタ
大坂ヨリ急用アルスグイトノ電報アリ アトノコト佐野橋本ニタノミ準備ス 金ナク明
日ニ延期 夕電報打ツ。糸川ヘビラノ金請求打電ス
六時頃台北号帰ル

◆▼2000ページ◆▼ 大正14(1925)年7月10日(金)

天気 雨

終日雨

糸川五十円持参 内五円鈴木昨日ノヲ返シ 十五円瀬部利子其他トシテ近藤渡シ三
十円ヲ旅費トス。糸川水戸飛行ノ申込ミアリ 二千円費用務所持チ 一日五百円費
用及ガソリン向フ持チ
日野君來 ホ式百五十円ホシイトノコト 事ワル
天王寺谷來 十一日ヨリ鈴木貸スコト承諾ス 手當及旅費(額ヲ定メズ)與ヘルコト
甲式三型夕方迄組立テ 後チ出發 佐藤へ電話シテ川辺ヘスチット送ルコトヲ依頼ス
東京駅八時五分大坂行きニ乗ル

◆▼2001ページ◆▼ 大正14(1925)年7月11日(土)

天気 晴

大坂着 天気ヨク高足駄デ少々キマリ悪ルカッタ
兄丁度家ニ居テ一人トランプヲヤツテ居タ
兎ニ角裏ノ家デモヤ、様子ヲ聞キ根本的ニ整理ノ必要ヲ感ジタ。差當リ梶原ノ手形ノ
件ニツキ五時佐渡島ニ河野氏ヲ問フ 決極(ママ)梶原ノ残金ダケ届ケレバ佐渡島ノ分ハ
約束通り待ツトノコトデアッタ
ソレヨリ先キ工場ニ行ク 野田氏來ラズ沢村ノ手形銀行ヨリ不渡リ発表ストノコト電
話アリ 取アエズ沢村へ行ツタガ不在

◆▼2002ページ◆▼ 大正14(1925)年7月12日(日)

天気 雨

五時半起床 堺ニ行ク 井上東京へ行ツタトノコト 中前ト少時話シ住吉ニ中君ヲ訪問
一時間ばかり会谈シテ帰宅 大雨ニナツタ 兄ト相談シタリ手形ヲシラベル 手形ノ借
リガ多イノデ少々氣ノ毒ナ借リばかりデ困難ダ

◆▼203ページ◆▼ 大正14(1925)年7月13日(月)

天気 晴

朝兄ヨリ手形以外ノ借入金ヲ聞キ貸借表ヲ作ル。早晝後野田氏ト堺製鉄ニ行ク 伊
藤氏不在 会計ノ人ニ大体話シテ十五日ノ分書替ヲタノミ五次郎ヲ訪問後自分ハ朝
日ニ小西氏訪問 大連ニテ朝日デー開催金二千円程出シテ貰ヒタイ旨話ス 今ハ計畫
部ノ仕事ニナツテ居ルカラ明日アタリ野田村山両氏帰リ次第相談シテナルベク希望ニ
添フ様ニスルトノコト ツヒデニ大毎ニ福知君ヲ訪フ 手金五百円東日カラ受取ル様一
昨日送ツタトノコト スグ近藤ニ打電ス

羽太君今日來ルトノコトニ同道シテ練兵場ニ行ク 東京雲低ク中止ノ電アリ 佐渡島ニ
河野ヲ訪ヒ十五日五百円入レルカラ梶原ノヲ最(ママ)非ヤツテ呉レル様タノム 決極
(ママ)處分シナイカラ、アノマ、梶原氏ノ帰ル迄居イタラドウカトノコトニ、尚考慮スルコ
トニシテ帰ル

夜夕食後五次郎來 賛次郎氏ト三人色々相談ス。兄ヨク寝テシマウ

◆▼204ページ◆▼ 大正14(1925)年7月14日(火)

天気 曇リ

朝八時堺製鉄ニ行ク 伊藤氏ヲ待ツ事約一時間半 種々懇願 書換モ出來ル様子デ
アツタガ泉原氏トカガ最初中ニ這入ツテ居ラレタトノコトデ其人ノ手ヲ経テ依頼スルコ
トニ話シガ出來テ帰ル 兄ニ報告ス

午後暇ナノデ木津川飛行場ニ行ク 藤原中島式ノ發動機試運轉シテ居タ 鵜飼練習
生三名アル由 西小路鵜飼ノ下ニ動ク。川西ノ七型ヲ見ル

後藤君今日福岡へ行ツタトノコト 後子坂東、関口氏同道福知氏訪問ス

◆▼205ページ◆▼ 大正14(1925)年7月15日(水)

天気 晴

工場ニ行ク 兄手形ノ事デ入り変リ立変リ人ガ來ルヤラ電話ガカ、ルヤラ実ニ見テ居
ラレナカッタ 五次郎、賛次郎氏來 協議ノ決(ママ)果左ノ如ク定ム

整理人賛次郎氏知人ニ一任スルコト

日報残賛次郎氏ニ任ス

今後ノ營業ハ合名会社トシ 岩崎、賛次郎、五次郎、清平、久太郎、等トス 資金三、五千円ヲ出資セシムルコト
右明日中ニドシ、運ブコト等ヲ決定ス
五時店ニテ河野氏ニ会フ 尚ヨク兄ノコト等ヲ依頼シテ帰ル 今日ハ弁挨拶モ六ニシナカッタ。彼レモ大人物ニハナレマイ
長尾ヨリ百円來 兄小使ニモコマツテ居ルラシイノデ二十円渡ス 外父ノ土産物清平、キミヲ連レテ買ヒニ行ク

▲▼206ページ▲▼ 大正14(1925)年7月16日(木)

天気 曇リ

朝竹島へ父ト挨拶ニ行キ賛次郎氏ノ見送リニテ九時四分特急ニテ出發。河野氏へ尚依頼状、高見氏へ手紙書キ京都ニテ投函ス 後チハ文藝俱樂部ナド讀ミ八時半着 両国九時ニ乗ル 駅ニテ白戸ニ会フ
十時半帰宅 入浴後床ニ入ル

▲▼207ページ▲▼ 大正14(1925)年7月17日(金)

天気 晴

台北号ビラ撒キ帰途不時着陸ヲナス 左翼破損
竹中アブロ發動機振動多キ爲メニ乾ニナルトノコト 今日ワイヤーヲ直シ其他小手入レシオセシム
朝日見送リノ件願書ヲ書カシム
初メテデボイチン、ライトプレーンヲ見ル

▲▼208ページ▲▼ 大正14(1925)年7月18日(土)

天気 晴

甲式三型大毎機廿五日飛行ニ間ニ合スベクソレ、準(ママ)序ヲ立テ命ジ八時ヨリ上京局ニ見送り飛行ノ願書ヲ出シ朝鮮飛行ニ片山氏訪問 大連ノ模様ヲ聞キ朝日ニ行ク 明日可否ニツキ返事聞クコト。大川ニ立寄り佐藤ニ寄ッテ四時帰ル 大毎機急ガセ残業ヲナス

▲▼209ページ▲▼ 大正14(1925)年7月19日(日)

▲▼210ページ▲▼ 大正14(1925)年7月20日(月)

天気晴

四時半起床 五時半ノ電車ニテ金町ニ行キ七時ノ青森行ニテ佐藤氏ト同道 伊東左内同行霞ヶ浦ニ行ク 副官及機関長ニ面會 後升種々便宜ヲ得テス。パローホーク機体發動機ニツキ充分智識ヲ得テ三時半ノ汽車ニテ佐藤氏同道帰ル

▲▼211ページ▲▼ 大正14(1925)年7月21日(火)

天気晴

手紙数本書イテ九時半ニテ上京 課長ニ會フ
見送り飛行局長ノ意見トシテヤメタラドウカトノコトデアッタ 外ニ海軍軍需課長照(ママ)介ノ件スベテ明後日出張ヨリ帰ツテカラノコトニシテ分レル 今日ハガンリ(ママ)補給ノ爲メ航空部ヘ行ク予定ナリシモ飛行不可能ナレバ中止ス 佐藤ニ立寄り米子送りイス。パノ件打合せ明日發動機送ルコトトス

▲▼212ページ▲▼ 大正14(1925)年7月22日(水)

天気晴

天気ヨク塗料ヲ手傳フ 午後ヨリ少雨アリ
大毎機試飛行 十五分高等飛行ヲ行フ 振動モ少ナクナッタトノコトデアッタ
高田信行來 晝食ヲ出ス 百円無心サレタガ佐藤デ五十円貰フ金ガアルカトソレダケ立替ルコトトス 帰リノ電車賃ガナサソウデアッタノデ五円渡ス
夕食中伊藤塗屋來 十円渡ス イツレモ父ノ小遣ノ内ヨリ

▲▼213ページ▲▼ 大正14(1925)年7月23日(木)

天気 少雨

朝九時局ニ出頭 児玉課長ヲ待ツ 一寸顔ヲ出シテ逃ゲルガ如クニ出テ行ツタ 結局話シ出來ズ。中島ノ願書ヲ出シテ其他二三打合せヲナシ帰ル
午後工場ヲ手傳フ
禿氏外数件手紙出ス

▲▼214ページ▲▼ 大正14(1925)年7月24日(金)

天気 晴

終日在所 永田局へヤル
アプロ急ガセ自分塗料ヲ塗ル

▲▼215ページ▲▼ 大正14(1925)年7月25日(土)

天気 晴後少雨

時事 朝日訪欧飛行機出発 午前九時三分

四時起床 仕度シテ一番ニテ大蔵外数名ト上京 自分ハ佐藤氏デ電話ニテ打合セ萬世ヨリ原宿ニ行ク 大変ナ人デアッタ 久邇、閑院、山階三宮殿下外新聞報道ノ通りコトニ式ハ時間等スベテ予定通り進行シテ九時三分初風ヨリ出発ス。スグ円タローニテ帰場 正午デアッタ

片岡ノ機体昨日永田局ニテ話シテ譲リ受ケ得ラレルカラ話シテ呉レトノコト 荒木カラ話シガアッタノデ暑ニ最中今帰ッタ處ナノデ大ニヤダッタカ急グコトナノデスグ又出カケ四時半鶴見飛行場着 丁度片岡ガ居タノデ話シス 來月中旬迄ニ拂下テ返ス約東デ借リルコトトシ禮トシテローン發動機ノ整理及受檢ヲ津田沼デヤツテヤルコトニス

▲▼216ページ▲▼ 大正14(1925)年7月26日(日)

天気 曇リ

非常ニツカレタノデ八時頃迄寢タ 天気悪シク塗料塗レナカッタ

永田上京セシム。川辺ヨリ定期ノ手紙來

午後佐藤重次郎君ノデボイチン試験飛行アリ 長尾大尉來 依頼ニヨリ写真ヲ取ル喜代市兄ヨリ手紙來 マダ整理ニ着手セヌ由 女モキマラストノコトデアッタ

▲▼217ページ▲▼ 大正14(1925)年7月27日(月)

天気 曇リ晴

時事 訪欧機太刀洗ニ安着ス

大毎ニ式ノ爲メ吉田氏浜名氏來場 竹中機モ共ニ合格 ニ式タゞチニ分解 発送手傳ヲナス

▲▼218ページ▲▼ 大正14(1925)年7月28日(火)

天気 晴

朝上京 局児玉課長ニ会フ 見送り飛行願書ノ却下ニツイテ依頼ス 局ノ責任トシテ

不許可ノ理由ヲ書イテ送ツテヤルトノコトデアッタ。禿氏氏ノプロペラニツイテ依頼ス
桑原少佐ニ聞合セテ呉レテ願書ペラダケニ書キ直スコトトス
鳥飼ニ行キ晝食後帰ル 先キニ佐藤へ立寄りローンペラノ件ヲタノム 所沢へ電話カ、ラ
ズ返事ヲ電報ニテ依頼シテ帰ル
夜就寢後謝文達來 明朝会フコトニス 駅前ノ宿ニ行ク

▲▼219ページ▲▼ 大正14(1925)年7月29日(水)

天気晴

謝文達來 中島式二百賣約ヲナス 千五百円現金 五百円ハ台北号ノ代 計弍千円ニ
テ極メ共ニ上京 佐藤へ材料ノ注文ヲナス 後チ話シ變リテ台北号モ持ツテ帰りタイト
ノコトニ修理六本所負擔弍千円現金ヲ受取ルコトトス 今日千円受取り帰ル

▲▼220ページ▲▼ 大正14(1925)年7月30日(木)

天気晴

午後佐野横須賀ニ出張セシム
朝九時前禿氏氏來 拂下品ノ打合セヲナス。スパーホーク二五一号ハ課長ト想(ママ)
談ノ上決定スルコトトス

朝北海道送り翼發送ス。ペラ間ニ合ズ午後日本楽器ヨリ弍十日間ニテ作ルトノ返電ア
リ 竹中ト相談ノ上來月三日竹中ノ分ヲ送ルコトニス

▲▼221ページ▲▼ 大正14(1925)年7月31日(金)

天気晴

佐野横須賀出張 自分午後三時ヨリ上京 佐藤ニテ謝買物ノ打合セヲナス
高田來 二十円渡シ後チ上京 佐藤ニテ三十円借り五十円渡ス
針久ニ禿氏氏訪問 横須賀ヨリマダ帰ラズ 活動ヲ見テ時間ヲツブシ九時再ビク(ママ)
マダ帰ラズ止ムナク帰ル

▲▼222ページ▲▼ 8月

○ライトプレーンクラブ

○拂下(局以外)運動ノ件

○陸軍運動ノ件

- 大連飛行ノ件
- 紙製飛行機
- 稲垣送金

◆▼223ページ◆▲ 大正14(1925)年8月1日(土)

天気 晴夕立アリ

終日在所 船橋ノ刑事來 謝ノ用件聞キニ來ル 千五百円ハ台北号修理費トシテ受取ルコト話ス

昨日謝警視廳ニ同行セシ由 佐藤ヨリ聞合セサス 明日帰ストノコトデアッタ

佐野帰ル 二日霞ヶ浦ニ行ク筈

職工高野退職希望トノコト 引止メルベク佐野ヨリ話シタル由 尚橋本ヨリ話サセベク命ズ

◆▼224ページ◆▲ 大正14(1925)年8月2日(日)

天気 晴

○エヨリ北海道行キマダ送ラヌ由ニツキ大至急送ラセルベク駅長ニ交渉セシム

午後ヨリ父ノ晝寢スル場所トシテ納涼台ヲツクル 金太郎乾手傳フ

午後ヨリ信太郎右ノ耳イタイトテ床ニツク 夕方三十九度二分ト高熱ガ出タノデ船

橋ノ佐藤病院へ連レテ行ク 醫師不在 熱ガアルノデ取アエズ入院スルコトニナル。信太

郎メソヽ泣キ出シテ困ツタガツヒニ泣キナガラ寢テシマッタ 金太郎ト代ツテ帰ル

夕方佐藤ヨリ使來 謝ニ金ヲ借りタイトノコトニ名刺ヲ渡ス。吉田君來 明日リバテイ

ーデ大坂ヘフィルム輸送ヲ頼ミタイトノコトニ承諾 尚大蔵ト打合セヲサス。渡辺氏來

四五日内ニ手形書キ代ヲ約ス

◆▼225ページ◆▲ 大正14(1925)年8月3日(月)

天気 曇雨

四時起床 橋本君ニ行キ自分代トシテ佐のト、カスミガ浦ニ出張セシム

リバテイーテスト不調 パイプ内ノゴムトケテツマツテ居タ

十一時二十分出発 所沢ニ行ク

十二時半自分上京 佐藤ニ立寄ゴムホース二本受取り謝ノ宿ニ行ク 今朝引上ゲタト

ノコトニ錦町警察署ニ聞ク 警視廳特高課ニ聞ケトノコトニ行ク 課長ト云フハ中々想

像ノ様デナク人ヅキノスル人デアッタ。シカモ中々丁寧デアッタ。タゞ今金ノ出所ニツイ

テ照介(ママ)中ノ返事來次第帰ストノコトデアッタ。面会ヲタノムト五時頃宿へ泊ルカ

ラ、其頃來テ呉レトノコト 鳥飼ニテ時間ヲツブシ五時行ク 刑事立合(ママ)ノ上面会
運送方法、宿ノ仕末等ヲ打合セテ帰ル
信太郎ハタゞ、耳クソガオクノ方ニカタク大キナノガ固マッテ居ルダケトノコトデアッタ

◆▼226ページ◆▼ 大正14(1925)年8月4日(火)

天気 晴夕立

大蔵ヲ謝ノ荷物取方付後面会ニ上京セシム 宿支拂ヲナシ荷物多過ギタ爲メ中止シ
警視廳ニ行キシモ行違(ママ)不明ニテ帰ル
夕方父ノ爲メノ納涼台デ初メテノ夕食ヲ初メタ處ヘニワカノ夕立デスツカリヌレテシマッ
タ

◆▼227ページ◆▼ 大正14(1925)年8月5日(水)

天気 雨曇リ

時事 円山操縦士墜落死ス

四時起床 雨ガ降り雷ガナツテ居タガ出カケル 大蔵、西田、今村同行所沢ニ行ク
上野デハ大雨ニ出会ヒ所沢デハ止ンデ居タ プログラム通り進行シテ一番オシマイノ。パ
ラシュート降下ノケイ留氣球サクニサ式一台右翼ヲ引カケ墜落 氣球ハ流サレテシマッタ
操縦士ハ午後四時四十分ツヒニ死シ同乗者ハ助カル由

自分ハ宴会ニ望マズ島村ニ立寄り知覽ニ行キ三十円渡シ鳥飼ニテ謝ノコト特高課長ニ聞
イテ貰フ 今日帰シタトノコトデアッタ 嫌ギハマッタク晴レタ由

佐藤ニ立寄り謝ヨリモウニ三百円貰ツテ呉レト頼マレテ帰ル

◆▼228ページ◆▼ 大正14(1925)年8月6日(木)

天気 曇リ

上京前兄ヘ返事ヲ書キ川辺ヘ手紙出ス

局ニ行キ検査ノ打合セヲナシ、課長ヲ待ツテ後チ一時頃課長ニ会见 謝ノ事ヲ話シ飛
行機輸出ニ関スル想(ママ)談ヲナス 結局堪航証明書ヲ一時交付シテ貰ツテ自家用飛
行機トシテ積出スコト 税関ノ聞合セニ対シテハ局ニテ保証ストノコトデアッタ

鳥飼ニテ糸川ニ会フ 朝日ニテサ式修理ノ件ヲ交渉ス 預リノ分宜シケレバ取カ、ツテヨ
シトノコト

日日ニテ吉田ト会见 リバティ―謝禮式百円位デドウカトノコト二百五十円デヨイト
話ス 十年式ノ運賃支拂ノ打合セヲナシテ分レル

佐藤ニ立寄ル 謝、津田沼ヘ行ツタトノコトニスグ帰津 五時半

四時謝帰京 明日來ル由

▲▼229ページ▲▼ 大正14(1925)年8月7日(金)

天気晴

昨夜十一時頃恵美子三十九度二分ノ熱ガ出テカラ殆ンド眠レナカッタ 朝早々家内
千葉ノ島田へ連レテ行ク 自分ハ十一時頃ヨリ船橋ノ醫師ニ行ク 三時頃帰ル 恵美子
ハキリデアッタガ他ニ傳染等ノ恐レハナイトノコト
夜又島田先生來 長尾ノ方デ寢ル

▲▼230ページ▲▼ 大正14(1925)年8月8日(土)

天気晴

早朝島先生來 午後オモ湯位ノマセテヨシトノコトデアッタ
晝過ギ吉田羽太両氏來。運送店ヨリ機體來ラズ 佐野ニ行ツテ來ル様ニ命ジタガ行カ
ナイノデ午後自分車デ行ク 赤田白井両方共不在ニテ両総ダケハカライツカズ結局
十一日付小切手手渡シテスグ持タセテ來ルコトニ話キメル 尚今後ノコトニツキヨク話シ
テ居ク 五時過ギ機體來

吉田羽太君ト涼台デビールヲノミ暗クナツテ両氏帰ル 自分運送店ヨリ帰ル頃白戸式
李操縦乾同乗 出発スグ見エナクナッタガハルカ稲毛方面ニテ不時着ヲスルノガ見エタ
スグ山田、小西、竹中、松田、ヲヤル 巡查ニ電話デ聞合セテ貫フト穴川附近松林中ニ
墜落 人無事トノコト ソコニ乾帰ル 後乾、菅原行ク

▲▼231ページ▲▼ 大正14(1925)年8月9日(日)

天気晴

竹中ノペラ北海道ヲ発送ス 伊藤左内君ニ話シテ禿氏氏拂下分借用 竹中ニ貸ス 試
運轉ノ結果良好
十年式羽布ハガス

明日カスミ浦引取ニツキ川辺ヨリ百円受取ル 七十円佐野渡シ

▲▼232ページ▲▼ 大正14(1925)年8月10日(月)

天気晴

佐野、橋本霞ヶ浦アプロ引取りノ爲メ出張

朝大毎十年式ノ修理調書作製後上京 佐藤ニテ菱伊氏ヲ待ツ 謝ニ会フ 国際ト横

浜へ行き今夜津田沼ニ帰ルトノコト 菱伊氏一時半來 三倉ノ件依頼シテ行ツテ貰フ。
日日ニ吉田君ヲ訪ヒ運賃ダケ受取り十年式ノ打合セヲナシ、尚一度佐藤ニ寄り信太
郎ノ退院ニツキ五十円借りテ帰ル
恵美子夕方ブドウ糖注射ヲナス
父昨日風ヲ引イタトテ今朝へ起キナカッタ 金太郎モ風引デ熱アリ床ニツイテ居タ
横山豊馬來場 身ノ振方ニツキ相談アリ 謝ト一度話シテ見ルコトニス

▲▼233ページ▲▼ 大正14(1925)年8月11日(火)

天気 晴

謝來場 アトアブロニ機中島一機賣契約ヲナス

▲▼234ページ▲▼ 大正14(1925)年8月12日(水)

天気 晴夕立

謝來 アトノ事ナド打合セ明日局へ同道スル約束ヲナス

夕方白戸來 李ノ修理引受ク 夕食ヲ共ニス

▲▼235ページ▲▼ 大正14(1925)年8月13日(木)

天気 晴雨

八時半ヨリ張君ト上京 日比谷事ム所ニテ謝君ヲ待ツ 刑事ヤ憲兵トモ会フ 局ニ挨拶ニ行ク 課長ニ会フ 検査ノコト森川氏ニ依頼シテ帰ル 吉田君ト一所ニナリリバテイ
ーノ金受取り共ニ知覧君ニモ会フ 同道シテ末広ニテ晝食ヲナシ佐藤ニ立寄り夕方帰
ル 観音台ニテ夕立ニ会ヒビシヨヌレニナツテ帰ル
白戸へ発動機取りニヤル ローン120式台

▲▼236ページ▲▼ 大正14(1925)年8月14日(金)

天気 雨

朝近藤ヲ呼び昨夜一昨夜共ニ川辺ニ御沖高須賀ト共ニ宿泊セシコトヲ自白ス 然ルニ
昨日朝川辺妻君ニ聞キニヤツタ處近藤居ナイトノ返事デアツタ事ヤ色々ノ事実カラ聞
イテ見タガ事実ナイトノコトデアツタ 尚將來ノ永イコトヲテトキスベテ自分ガ引受ケ
テヤルカラ何事モカクサズ話セト云ツテヤツタ處兄ニ相談ニ行クトテ今日千葉ニ行ツタ
ドウモマダフニオチナイ處ガアル

大口來 広告飛行ノ件ニツキ先方ノ人明日午後二時來場スルカラ居テ呉レトノコトデ

アツタ

午後小栗ノコトヲ聞合セニ江東憲兵分隊カラ小川ト云フ人が來タ 何ニモ知ラヌノデ知ラヌト答フ

松崎峯太郎來 十五年振りデ会ツタ ドコカ世話シテ呉レトノコトデニ三聞合セテヤルコトニシタ

昨日局芝入氏ヨリ預夕朝日ノ維持金補助願ヲドコカニ忘レテ來タノデ東京へ電話デア聞合セル 買物ニ這入ツタ呉服屋ニ居イテアツタ ヤレ、

長尾小供大蔵同道下坂セシム

▲▼237ページ▲▼ 大正14(1925)年8月15日(土)

天気 晴雨

朝近藤帰国シタシトノコトニ尚彼レノ立場ヲ説キ一先ツ帰国ヲ許可ス 何シダカシク、泣キ出シタノデマダ何ニカカクシテ居ルコトガアルラシク兎ニ角冷静ニ考ヘル様注意ヲ與ヘル 千葉ノ兄三二十円借りテ來タカラ返シテ呉レトノコトデアツタ 尚佐藤ニテ二十円受取ツテ行ク様手紙持タセテヤル

江東憲兵分隊ヨリ小栗露西亜ヨリ十万円ヲ貰ヒ飛行場ヲ船橋ニ作ルトノコト事実ナリヤトノ聞合セガアツタガ初耳デアツタノデ知ラヌ旨返答ス

夕方佐伯峯島大口來 契約書ヲ作ル 峯島ノ話シノ如キモノデハナカッタ 今月中ヤツテ見タ上デ大々のニヤルトノコト 先ツ當り前ノ事デアロウ 其間糸川ノ方ハ其マ、差支ナキコトヲロニテ領(ママ)解ヲ得

夜十時過ギ川辺妻君ヨリ東京駅発都合ニテ松山ニカヘルアトタノムトノ電報來 近藤同道セシモノト思ワル 橋本ヲ呼ビニヤリ川辺宅ヲシラベル 且代納入二百円ノ金ヲ持ツテ出タモノニテ朝七時頃東京へ二三日行クトテ出タル由 取アエズ近藤ノ宅へ打電ス

▲▼238ページ▲▼ 大正14(1925)年8月16日(日)

天気 晴雨

朝川辺姉サンヲ訪問 一應成行ヲ話シテ居ク。ナット屋ガ湯ニ入ツタリ夕食ヲ共ニシタコトナド話シアリタリ 川辺へ知ラセルコトハ今少シ確カメタ上ノコトニスベク近藤、松山両方へ帰ツタカ聞合セノ打電ヲナス 近藤返事ナシ 松山アリ マダカエラヌ又シラストノ返アリタリ

夜川辺ヨリ二回目エンジンストップ 着水セリトノ報アリ 何タル事ダ
大口來 人力車メーター初ム

▲▼239ページ▲▼ 大正14(1925)年8月17日(月)

天気 晴雨

近藤二回打電 夜返事アリ マダ帰ラス由

夕方家内ニ宅ヲシラベサセルト夜具、衣類カラ鏡台セトモノ迄持出シテアッタトノコト。

イヨ、打捨テ居ク訳ニユカナイノデ川辺へ清江其他行タカト打電ス

午後信太郎右耳又ハレタノデ同行ス 一二回待ツテ痛ム様デアレバ手術ヲ要スト

夜信太郎ノ局部ヲ冷ヤスノト恵美子ガ寝ナイノトデ眠レズニ時過ギ漸ク眠ニツク

▲▼240ページ▲▼ 大正14(1925)年8月18日(火)

天気 曇雨

終日朝日ノ申請書実費計算ニカハル

中川君機体検査ニ來場

夕方信太郎再ビ入院 明日手術スル由 吉ツキ添ヒ 稲毛ヨリ母來

▲▼241ページ▲▼ 大正14(1925)年8月19日(水)

天気 晴

本日夕方手術ス

終日在所 オチツカナイ日デアッタ

▲▼242ページ▲▼ 大正14(1925)年8月20日(木)

天気 晴

早朝鳥飼ヨリ使來 宮本ノ手組(ママ)持參ス 朝六十五錢受取金全部ヲ持ツテ上京

局ニ行キ実費計算書五通提出 台北号ノ堪航書借用ノ件課長ノ承認ヲ得。雨宮氏ニ

會フ アトノ機体ニツキ協議ス

鳥飼ニテ千円借り外ニ齒車十三円五十錢ヲ借リル

三時半東京ステーションホテルニ宮本氏ト會フ。相手方相内氏モ來。宮本トサルヲ製作

スル事ヲ主トシテ居タガ先方ハアルモノヲホシイトノコトデアッタ。例ニヨツテ宮本ノ自己

尊大広告アリ。相ツチヲウテ居ク

其前少シ宮本ニツツカ、タノデ中ナオリノ意味デスグ帰所。徳治、恵美子ヲ相手ニ夕食

ヲ取ル

▲▼243ページ▲▼ 大正14(1925)年8月21日(金)

天気 晴

今日且代二ヶ月分(七八)食料ヲ呉レタノデ少シ小遣ガ出來タワケダ

宮本組ノ見積ヲ書イテ發送ス

謝其他ドコカラモ金ガコナイ

鈴木昨日帰所 二日最(ママ)非ヤリタイトノコトナレドモ間ニ合ヤギモン 兎三角今日ハ天王寺谷(ローン)部品及金受取リノ爲メ出張セシム

▲▼244ページ▲▼ 大正14(1925)年8月22日(土)

天気 晴

鈴木駿(ママ)査願提出ノ爲局ヘヤル

アブロ兎三角大至急初メサセル

今日ハ八月份帳簿記入全部ヲ終ル

昨日近藤宅ヨリ松山ニ居ルトノ知ラセアリ 松山高木氏及近藤銀次郎氏へ手紙書ク
夕方土丹板大東商会へ注文ノ爲メ電話ヲカケニ行ク。ツヒデニ朝日へモ電話スル マダ到着ノ電報コヌトノ事デアッタ

▲▼245ページ▲▼ 大正14(1925)年8月23日(日)

天気 晴

稲垣ヨリ來信 六月一日發送ノ金到着セザル件ニツキ非常ニ憤慨シテ來テ居タ。手紙毎ニ自分カラハナレ行ク彼レノ心持チガハッキリ分ルノデ心細イ。當方ノ事情ヲ云ツテヤレバ尚更ダシ、タ、ヒタスヲ謝君ノ送金ヲ神ニ祈ルノミ。之レガ不調ニ終レバ彼レモ手バナサナクテハナルマイ

▲▼246ページ▲▼ 大正14(1925)年8月24日(月)

天気 晴少雨

修理セシムベキマグネト―整理ヲナス

晝前川辺君帰津 發動機ダケ手入レシテ再度渡道ノ計畫 午後妻君ノコト川辺ヨリ

口ヲ切リアキラメタルト云フヨリ、ムシロヤツカイ拂ヲシタト云フ風デアッタ 上遠野氏

來 広東方面ヨリ飛機十台ノ話シアリ 十三年式サ式其他リバティーヲ見セテ帰ス

知覽君來 陸海軍拂拂下運動ノ件打合セヲナス

吉、母ト交替シテ午後帰ル 信太郎元氣ヨキ由

▲▼247ページ▲▼ 大正14(1925)年8月25日(火)

天気 晴

吉田君來 夕方帰ル 今月中ニ金這入ル様急グ

▲▼248ページ▲▼ 大正14(1925)年8月26日(水)

天気 大雨

颱風アリ 千葉沿岸ハ被害少ナシ

朝鈴木ノ兄來場 最(ママ)非期日ニ間ニ合セラレタシトノコトニ兎ニ角局(同道)ス 検査
官行違ヒニ行ツタトノコト 尚アトノ検査ヲ依頼シテ帰ル 井上長一ニ会フ 大連飛行
満鉄ノ二千円ヲユツテ呉レトノコトデアツタ 高見ノ事ヲ大分悪ク云ツテ居タ 何ニシ
テモ一應紹介ノ上下返事ス 課長モ云テ聞ク。川辺ニ会フ 松山へ行トノコト 帳簿トバ
スケツトフトゞケルコトヲ約シテ帰ル 松田ニ持タセテヤル
高見へ打電ス

▲▼249ページ▲▼ 大正14(1925)年8月27日(木)

天気 晴

帳簿記入ヲナス

今年ハ金ノ這入リ工合ガ悪イノデ各方面期日其他ノ處ソレゞ手紙ヲ出ス
発動機取付ノ爲メ十二時過ギ迄夜業ヲナス

佐野ハ何ヲシテ居ルノカサツパリ分ラナイ。金工部ニウロツイテ居ルダケデ少シモ事ム所
ニオチツカナイ 今日ハ自分ハ禿氏ノ見積ヤ願書迄作ルノデ非常ニイソガシカッタ

▲▼250ページ▲▼ 大正14(1925)年8月28日(金)

天気 晴

非常ニ暑イ日デアツタ

謝文達打電 金請求ス

夕方父ノ酒ガ少シシカナクテアト入レロト云ワレタトキ広瀬ガフサガツテ居ルノデ金太
郎取リニ行カズ現金買サセルニモ金ナク寒ニ閉ロシタ

眞田機試飛行ヲ行フ 朝、夕方鈴木機試飛行 二回目プッシュロット折レテ中止 夜業
ニナオス

▲▼251ページ▲▼ 大正14(1925)年8月29日(土)

天気 晴

永田帰ル 川辺ノ話シヲ聞ク

午後三時頃ニナツテモ金來ラズ 父ノ酒ガ気ニナツタノデ永田ニ五円借りテ金子雪齋先生へ弔電ヲ打ツ。吉小遣取りニ船橋ヨリ帰ル 幸ヒ古川ヨリ食費入りオリ受取ル 鈴木機試飛行良好 四枚羽ヘラニテ検査終ル 浜名辻本氏來場

早朝徳治ヲ連レ今年ハ金ガナイノデ庭ノダリヤヲ切ツテ山県ノ墓地ニ参詣ス

▲▼252ページ▲▼ 大正14(1925)年8月30日(日)

天気晴

時事 露国機出發ス

今日ノ様ニ仕事ガインソクテ金ガナイナド実ニ閉口

佐藤氏來 謝金ノ件ニツキ共ニ長春へ打電ス

▲▼253ページ▲▼ 大正14(1925)年8月31日(月)

天気晴

今日ハ早朝徳治ヲ連レテ船橋ノ信太郎ヲ見舞ニ行キ夜迄遊ブ 徳治泊ルトノコトニ居イテ帰ル

夜羽太ヨリ手紙來 甲式三形(ママ)ノ件不正云々ニツキ少シコウフンシテ眠レナカッタ

▲▼254ページ▲▼ 9月

○ライトプレーンクラブ

○稲垣ノ件

○拂下ノ件

○大連飛行ノ件

○紙製飛行機

○支那飛行機

▲▼255ページ▲▼ 大正14(1925)年9月1日(火)

天気晴

五時半起床 大毎ノ甲式三型ノ件ニツキ大ニ面目ニ關スルノデ機体返送方ヲ云ツテヤル

帳簿記入 八月〆切ル
鈴木一行本日出發ス 百円受取ル
禿氏ヨリ百五十円來 大蔵ニ東京へ取りニヤル
局機関學生三名來場 合計四名トナル

◆▼256ページ▲▼ 大正14(1925)年9月2日(水)

天気 晴

露機所沢へ一機到着ス

橋本立川へ 佐野東京へヤル

笹山ヨリ一千五百円満鉄ヨリ直接送金サセルトノ電アリタリ 大ニ活氣ヅク 然シ高見君ガ行ツテ送ラストノコトダカラ一寸アブナイ氣モスル

謝ヨリ手紙來 機体輸送困難ニツキ發動機ダケ先キニ送レアト交渉中トノコト。困ツタ今月末迄ニ送ル由

稲垣、米屋、醫師、職工、製材屋、佐藤、島村、運送店、ドレモコレモ永クノバセナイモノデ頭ガ変ニナル様ナ氣ガシタ 夜モ夢ニソシナコトノミ見ツゞケルノデヨク休マラナイソレデモ朝早クオキルト氣持ハヨカッタ 朝食前ニ大抵手紙ニ三本ハ毎朝書ク

◆▼257ページ▲▼ 大正14(1925)年9月3日(木)

天気 曇リ雨

八月分決算ヲ終ル

◆▼258ページ▲▼ 大正14(1925)年9月4日(金)

天気 雨

吉田君正午來 十年式ノ金持ツテ來テ呉レタ 晝食後帰ル

夜サ、山ヨリ安心アレ八日キマル見込ミトノコト

夕方永田、支那行キニツキ大蔵菊池ト送別バンサン会ヲ催ス 川辺千葉辨護士ニ行クトテ出席間ニ合ズ十一時頃帰ル

◆▼259ページ▲▼ 大正14(1925)年9月5日(土)

天気 曇晴

久シ振リデ晴レタ 中島百五十手離レニナル

眞田ノペラニツキ苦心ス イヨ、製作スルコトニキメタガ材料ト金ノ問題ダ

夜渡辺幸作來 謝ノ方ダメノ話シヲナス

◆▼260ページ▲▼ 大正14(1925)年9月6日(日)

天気 曇後少雨

今日成田山ニ参詣スル予定ナリシモ明日ガソリンヲ買ツテヤラネバナヌノト白戸ガ來ルカモ知レヌノト散髪屋ガオソカッタノデ中止ス キングヲ讀ム 少時村田外手紙ヲ書ク

頭ガ変デドウモマトマッタ考ヘガ一寸トモ出來ナイ 少シ頭腦ノ健康方ヲヤラネバイケマイ

夜夢ヲ見スギルノデ朝少シモ頭ガヤスマツテ居ラナイ

夕方庭ノ掃除ヲナス

◆▼261ページ▲▼ 大正14(1925)年9月7日(月)

天気 晴

上京 局 朝日 鳥飼、アト商会。井上ニ会フ 用件工場日誌ニアリ
夜九時頃帰ル

◆▼262ページ▲▼ 大正14(1925)年9月8日(火)

天気 晴

機関學生本日帰ル 夕費一日五十錢ノ割ニテ受取ル

佐藤喜氏海軍ノ人ト來 小僧ヲ依頼ス

天王寺谷ノ二市操縦ニ自分トリカゝル

學校ローン検査ノ爲メ芝入氏來 ツヒデニ中島式飛行試験ヲ菊池行フ

竹中ヘラススム

信太郎退院ノ予定尚遅レテ本日一度帰リ夕方又行ク 本日ヨリ一人ニシテ家内帰ル

◆▼263ページ▲▼ 大正14(1925)年9月9日(水)

天気 曇晴

終日在所 大坂ツルヨリ昨日手紙來。コチラノ事情委シク云ツテヤル

學校ノローン發送ノ爲メ大ニ氣ヲモム 結局明朝出スコトニナル 材木間ニ合ワズホ式式

百ノ分ヲ使用ス 七時迄夜業

▲▼264ページ▲▼ 大正14(1925)年9月10日(木)

天気 雨

今日ハ近來ニナクユックリト静養出タ(ママ) 市川土堤ヲ歩イタ事モ又近頃ナイ事デア
ツタ

夜喜劇ヲ見十一時帰宅

▲▼265ページ▲▼ 大正14(1925)年9月11日(金)

天気 曇リ風

風強シ

佐野鈴木ヨリ來リタル金局ヘ取リニヤリシモマダ來ラズトテ持テ來ズ 夕方少シアヤシ
ク思タノデ七十円先手ヲ打ッテヤル 夕方モウ百円呉レトノコト 色々話シタガ最(ママ)
五十円ダケデモ貰イタイ 大船屋二百円借りガアルカラトノコト 承認シテヤッタガシ
ヤクニサッテ(ママ)今夜ハヨク眠レナカッタ 大船屋ヲシラベサセタガ貸ハナイトノコト 兎
ニ角出來ルダケシボリ取セテ止メル考ヘニイヨ、相違ナイ 何ントカ先手ヲ打テ止メサ
セタイモノダ
橋本上京セシム

▲▼266ページ▲▼ 大正14(1925)年9月12日(土)

天気 晴

佐野ノ件夕方橋本ニ話ス 解雇ニ違(ママ)存ヨリムシロ賛成ノ意デアアッタ
近藤盛夫ニ改心スル様手紙書ク 妻君ノ方ハ金ノ件返事出ス
笹山総太郎ヘ返事出ス

▲▼267ページ▲▼ 大正14(1925)年9月13日(日)

天気 晴

朝謝ノ函取方付ヲナス
且代練習ス
清恵送り荷物本日小包ニテ出ス 北海道據リ發送ス

▲▼268ページ▲▼ 大正14(1925)年9月14日(月)

天気 晴

上京 局ニ森川氏ニ会フ 井上氏ニ拂下ノ事聞ク マダ決定ヲ見ナイトノコト
春沢辨ゴ士ニ行ク 丁度在宅 雑談後チ決極(ママ)百円ヲ七十円ニシテ全部支拂フ
鳥飼ニテ知覧君ニ會フ。マグネトローヲ受取ツテ帰ル

▲▼269ページ▲▼ 大正14(1925)年9月15日(火)

天気 晴

洗濯屋ノビラヲ撒ク

三橋ヲ午後來 五十円ダケ支拂ツテヤル

信太郎本日退院シテ帰ル

▲▼270ページ▲▼ 大正14(1925)年9月16日(水)

天気 晴

終日在所

裏ノ鳥小屋方角ガ悪イノデ南ニ移轉サセル

夕食時天王寺谷來

▲▼271ページ▲▼ 大正14(1925)年9月17日(木)

天気 雨

朝ヨシノ夢ヲ見タ ■ ■ 妻ハ大変早ク起キテグズ、ニ云ツテ居タ

菊池二等試験着陸場見分ノ爲一ノ宮ニ行ク

眞田機破損 着陸マダ、ハダメ

兄ハ手紙出ス

▲▼272ページ▲▼ 大正14(1925)年9月18日(金)

天気 雨

久シ振リニ高橋今朝治來場 色々雑談

北海道ハハンドマグネトトブラック十ヶ送ル

▲▼273ページ▲▼ 大正14(1925)年9月19日(土)

天気 晴

夜ハ秋冷ヲ覺エル

菊池二等試験アリ 成績優秀ナラズ 立野氏來場

▲▼274ページ▲▼ 大正14(1925)年9月20日(日)

天気 晴

早朝鳥飼氏來場 千葉東洋航空研究所ノ件

菊池式等試験ノ件

天王寺谷練習生練習ノ件 其他終日ゴタ、シタ日デアッタ 夕方水口氏來 夜ニ入ル
兎ニ角品物持ッテ帰ル

▲▼275ページ▲▼ 大正14(1925)年9月21日(月)

天気 晴

午前九時頃上京 十一時局着 浜名氏一名ナノデスグ協会ト鳥飼ニ行き家ノコト、公
正証書ニスルコト 家賃二十円ニシテ貰イタイコト 西塚氏三十円トノ切出シ 右大坂
ト相談ノ上決定ノコト 尚賣買ノ件等懇談ス 午後局ニテ森川氏ト会见 竹中実費計
算書訂証(ママ)外ニ通提出

佐藤ニヨリ、宇野氏ヲ訪問セシモ不在 名刺ヲ置イテ帰ル

川辺氏帰り夜会談 話シノ模様ニヨレバ近藤同道名古屋ニテ姉ニ引渡シタル由 然ルニ
今夜再ビ松山ニ近藤行ク筈ナリトノコト 其辺ガフニオチナカッタ

▲▼276ページ▲▼ 大正14(1925)年9月22日(火)

天気 晴

今日ハ暑イ ソシテ終日ヤ、コシイ日デアッタ

川辺本日出発ノ予定ナリシモ古原ノ横山氏來 夕方話シヲシテ居タ
ス。パロホーク試飛行ニ回 成績ヨシ

天王寺谷發動機試験 割ニヨシ

謝文達ヨリ式百円來 小西ニ宇野君ノ事依頼スル事ニシタ

▲▼277ページ▲▼ 大正14(1925)年9月23日(水)

天気 曇リ

時事 航空大演習初マル

水口氏來場 夕方辻居リ大口ヲ呼ビ明日取付ニヤルコトニ約ス

川辺君今夜出発ス

▲▼278ページ▲▼ 大正14(1925)年9月24日(木)

天気 雨

禿氏來ルトノコトニ待ツタガツヒニ來ラズ

大藏西田姫路ニ行ク

大口朝カラ來タガ工作遅レタ方水口氏へ上京ス

▲▼279ページ▲▼ 大正14(1925)年9月25日(金)

天気 雨

終日在所

車輪整理ヲヤラセル。橋本善喜森氏(照(ママ)介シテヤル 夕方帰ル 森氏ニ会ツタガ佐

藤氏ニ会エナカッタトノコト 又一二日居ラセネバナライ

菊池二等免状受領協会へ願書出サセル

▲▼280ページ▲▼ 大正14(1925)年9月26日(土)

天気 晴

終日在所 車輪手入レヲナサシム

自身同ブンノ製作ヲナス

▲▼281ページ▲▼ 大正14(1925)年9月27日(日)

天気 晴

杉山少将以下約十名工場見学

朝日計算書冊号ヲ作ル

▲▼282ページ▲▼ 大正14(1925)年9月28日(月)

天気 曇リ

時事 航空大演習終ル

菊池ノ甲式二型試飛行ヲ見テ上京 スグ朝日ニ行キ久松氏ニ会フ 冊号残金受取り

新橋ノ住友ニテ現金トシ附近ニテ散髪後有楽町ニ行キ家ノ話シス。西塚不在 今夜遅

クナルトノコトニ又ノ事ニシテ国際ニ電話ヲカケ発動機發送ノ事ヲ打合せ帰ル

帰途有楽町駅前ニテ吉田君ニ会フ

朝上京前禿氏氏ノ計算書ヲ作ル

▲▼2833ページ▲▼ 大正14(1925)年9月29日(火)

天気 雨

左内君ニ金ノ件交渉 勘定書ヲ渡ス
尚禿氏氏へ手紙出ス

謝文達へホ式発動機発送ス
職工ニ給料内渡シヲナス

▲▼284ページ▲▼ 大正14(1925)年9月30日(水)

天気 雨

昨日ヨリ頭ガドウモ変ダッタガ今日ハ又特ニ悪ルク仕事ヲ仕初メルト頭ガノボセル様ニ
感ジテドウニモイケナイノデ記帳ヲ止メ午後植木イジリヲ少シヤル 雨ノ爲メ思フ様ニ
出来ナカッタガソレデモ幾分気持ガ直タガ夜又イケナカッタ
プッシュロットニツキ川辺ヨリ手紙來 少シシヤクニサワル

▲▼285ページ▲▼ 10月

- 一 ライトプレーンクラブ
- 一 稲垣送金
- 一 大連飛行
- 一 紙製飛行機
- 一 拂下ノ件

▲▼286ページ▲▼ 大正14(1925)年10月1日(木)

天気 晴

朝雨後晴レ

今日ハ終日庭整理 マキノハガリヤ桃ノ植替ヲナス
水口氏來ルトノハガキアリシモ來ラズ

▲▼287ページ▲▼ 大正14(1925)年10月2日(金)

天気 曇少雨

三十日ノ雨デ被害ガアツタ様デ東京デハ五十年間ニ初メテノ降雨量デアツタ由
橋本君ニ稻垣宛手紙出サセル
船橋ノ高等課カラ謝ノ件ニツキ聞合セガ來タノデ往復文書ナド見セル 控エテ帰タ
今日ハ宅ノ軒ノ改造ヲナス

▲▼2888ページ▲▼ 大正14(1925)年10月3日(土)

天気 晴

時事 佐藤重次郎氏鶴見ニテ甲式三型テ墜落惨死
朝仕事ヲ命ジス。パローノ試飛行ヲ見食後上京 卅八号分五百円朝日ニテ借り進化論
ノ活動ヲ見テ鳥飼ニ行キ家ノ話シ 鳥飼ノ希望全体百円ニテ借受ケノ件西塚ニ話ス
帰途買物ヲナシ十時ノ電車ニ乗ル

▲▼2889ページ▲▼ 大正14(1925)年10月4日(日)

天気 晴

今日ハ父ヲ連レテ上京ノ予定ナリシモ金が不足シタノトス。パローホーク發送イソグノト
デ中止 樋口、高野ニ出荷シテ貰ツテ午前中アブロ積込ミ 午後ス。パロー荷造リニカ、
六時迄残業 自分モ手傳フ 今日ハ又タエラレナイ程頭ガ悪ルカッタ

▲▼2900ページ▲▼ 大正14(1925)年10月5日(月)

天気 晴曇リ

禿氏ス。パロー發送 北海道ローン發送

稲垣父ヨリ手紙來 川辺ヨリ又スプリングノ事手紙來ル コレデ同ジ事が四五通ニナル。
シヤクニサワツタガアトヲ見ルト氣ノ毒ニナツタ 大分悲觀シテ居ル様ダ 自殺ノオソレ
ナイカシラント思ワレル位デアツタ 何ントカ云ツテヤリナケレバナラマイ
佐野ノ件モ早ク片付イタガお春サンガニンシン中ニツキ之レモ考ヘテヤラナケレバナラナ
イ 一應お母サンニ話シテ見テヤロウカ
ドウモ頭ガナオラナイ 実ニ何モノモ手ニツカナイノデ閉口 ダガ、今ハ自分一人舞台
ダカラ休ムコトモ出來ナイ。然シ労働(ママ)シテ居ル間ハ割合ニヨイ 今日ハ酒ヲヤメテ
見タ

▲▼2911ページ▲▼ 大正14(1925)年10月6日(火)

天気 曇雨

ス。ローホーク本日出荷 貨車間ニ合ワズ四度請求セシメ夜十三頓(ママ)車來 積込ミヤリシモ、シートナク明朝ノ事ニス
大内君晝出發 樋口丸山夜出發 計算書ヲ渡シ尚別ニ手紙ニ通フ樋口ニ事傳ル
鈴木帰場 發動機破損ノ模様ヲ聞ク 發動機發送済ミ外部品持参セシム
今日ハ非常ニ頭ノ工合ガヨカッタ 昨晚酒ヲ節シタ爲メカ 本日モ節酒ス

▲▼292ページ▲▼ 大正14(1925)年10月7日(水)

天気 曇雨

今日ハ朝日ノマーク記入 終日ヤル
女工大部分發動機研キニ使用ス
大口本日ヨリメーター作ニ來
朝早クト夕方草花ノ苗床ヲツクル

▲▼293ページ▲▼ 大正14(1925)年10月8日(木)

天気 曇少雨

六時ヨリ朝日マーク記入 晝迄ニ終ル 三十号組立
菊池明日飛行シタク。ペラ間ニ合セテ欲シイトノコトデアッタガアイニク今日ハ信太郎ヲ漸ク醫者ニヤルダケノ外キング買フ金モナイノデ出來ナカッタ 涙グマシイ日デアッタ
午後マギラス爲メ植木ノ植替ヤ、花ノ種ヲ蒔ク
夜西塚ヨリ明朝來テ呉レトノ電報ガアッタ

▲▼294ページ▲▼ 大正14(1925)年10月9日(金)

天気 雨

六時起床 佐藤孝吉兄へ返書ヲ書ク
九時ヨリ上京 局ニテ拂下割當ヲウツシホ式ニ号拂下ヲ依頼 白戸式補助金ノ件森川氏ニ聞合セタガ駄目
課長ヨリ永田ノ手紙見セラレタ 洪ノ無責任ニモアキレタガ自分ノ先見ガ適中シタ訳ダ 兎三角金ヲ送ラネバナライ事ガ大問題デアル
朝日借入金ニツキ色々工合ス 兎三角社ニ行ク 長舉氏マダ當分居ルトノコトニ一寸安心 久松氏ノ自宅ヲ聞キテ帰ル
鳥飼対中山家ノ件家賃地代等一ツノ覺書キニ西塚君ガ書イテアッタノデ鳥飼氏ニ手交話シス スベテ承認シタガ家賃二百円ヲ百八十円ニシテホシイトノコトニ電話ニテ聞合

セ契約スルコトニシ自分ダケ判ヲ押ス。西塚氏明日出發トノコトニ、鳥飼氏松本ニテ送別ノ宴 アマリ進マナカッタガ同行ス

▲▼295ページ▲▼ 大正14(1925)年10月10日(土)

天気 雨

菊池アセリ気味アリ出發ヲ見合セシメ注意ヲ與フ 大藏夜盛岡へ立ツ。眞田ヨリ百五十円來 横山ト協議 百円内入トシアト荷爲替ヲ附スルコトトス
泉屋ヨリ白米代請求アリ 禿氏分來ル迄延期願フ
今日モ式ノ部品ニテ垣ヲツクル

▲▼296ページ▲▼ 大正14(1925)年10月11日(日)

天気 曇リ

菊池出發ヲ急イダガ汐ノ間二合ズ満汐後十二時海岸ヨリ出發ノ節海中ニ突中
發動機停止セシモサカ立シテペラヲ折ル 予備ノペラナク直チニ作業ニ着手 夜九時迄
二布張り終ル 發動機海水浸入ノ爲メ分解 午前一時迄ニ完成ス
川野猛岩崎照(ママ)介ノモノセツト一犯ニテ四ツ谷署ヨリ刑事二名來 李商孝ノ時計ヲ持ツテ行ツテ居タ。丁度午後岩崎ヨリ手紙來 大坂ノ岩崎ヨリ照(ママ)介シ來リタルモノノ由
夜張君明日出發ニツキ佐野、橋本、西田、菊池、今村ト会食ス

▲▼297ページ▲▼ 大正14(1925)年10月12日(月)

天気 晴

張出發 二十円返却出來ズ鳥飼ニテ借りテ返ス爲メ橋本上京セシム外局朝日ニ寄ラス
菊池本日十二時出發 カスミケ浦着陸 タシクモリヲ発見 修理ノ爲メ佐野出張セシム

▲▼298ページ▲▼ 大正14(1925)年10月13日(火)

天気 晴

盛岡本日發会式 本日尚飛行ノ筈
菊池午後盛岡仙台ニ無事着
小供ノ飛行機ヲ作ルベク考案ヲナス

▲▼299ページ▲▼ 大正14(1925)年10月14日(水)

天気 晴

仙台泊リ菊池何等通知ナシ 多分泊ッテ居ル事ダロウ
樋口丸山帰ル 金貰ッテ来ナカッタトノコト 早速手紙ヲ出シ尚電報ヲ打ッ
夜鳥飼氏等数名明日ノ初獵ニ來ル
夜菊池六郷安着ノ電アリ

◆▼300ページ◆▼ 大正14(1925)年10月15日(木)

天気 晴

小供飛行機ノ設計
朝自轉車ノ練習
鳥飼氏等不獵ニテ晝頃帰ル 千鳥ヲ八羽取ッタダケデアッタ
今日ハ今米ガナク手紙ヲ書イテ泉屋ヘヤル 夕方再度ノ使デ届ケテ呉レタ。禿氏ヘ打電
ス
信太郎今日ハ醫者行ヲ中止サセル

◆▼301ページ◆▼ 大正14(1925)年10月16日(金)

天気 晴

今日ハ禿氏ヘ午後打電スルノニ女中ノ金遣使カッテシマッタ。菊池カラハ夜金ニ三日オク
レルトノ入電ガアッタ 眞田ハ五百円月末ニシテ呉レトノ電報ガアッタガゼヒ都合シテ呉
レル様打電ス
信太郎女中ノ金デ醫者ヘヤル

◆▼302ページ◆▼ 大正14(1925)年10月17日(土)

天気 雨

禿氏眞田共ニ金送ラズ電報交渉モ電報料ニコマル
川野猛昨夜帰ッタトノコト 身柄引取書ト大坂迄ノ旅費十円ヲ與ヘテ帰ス 十円樋口
ヨリ一時借リヲナス
午後天王寺谷ニ話シテシヨーンニ中島式ヲ買ワセテ稲垣ノ旅費ヲ作ルコトヲ思ヒツク
菊池ヨリ西田スグヨコセトノ打電アリ 幸ニ今日天王寺谷カラ四十円遣入ッタノデニ
十円持タセテ明早朝出發サセル

◆▼303ページ◆▼ 大正14(1925)年10月18日(日)

天気 雨

雨又ハ風ノ爲メ練習出來ズ
昨日思ヒツイタコト天王寺谷ニ話ス スグシヨーンニ話シタ 要領ハ四千五百円ノ内天王寺谷二千円負擔スルカラシヨーンニ弐千五百円出セトノコトデ大乗氣デアッタ 然シ自分ノ方ハ稲垣ノ金ダケアレバヨイノデ二千円手取り 五百円天王寺谷手数料 合計弐千五百円デ賣ルコトニナツテ居ル
小供ノ機体ヲツクル

▲▼304ページ▲▼ 大正14(1925)年10月19日(月)

天気 晴

日本自動車、奥田、瀬部朝日ト手形関係橋本上京セシム
機体製作
稲垣ヨリ書留メニテ九月廿五日迄ニ電報ニテ返事ヲ乞フ旨送金ニ関シ通信アリ 父君カラモ手紙來 自分ノ考ヘヲ通知ス

▲▼305ページ▲▼ 大正14(1925)年10月20日(火)

天気 晴

昨日橋本上京 朝日不在 日本自動車ダケニテ帰ル
禿氏トクソク 夜月末行クトノ返アリ
菊地電報セシモ返ナシ
昨夜川辺ヨリヨウエイジキケンスグイテクレトノ電アリ エイジ分ラズ電報ニテ聞合ス返ナシ
朝会社総会通知書全部發送 後チ九月分決算ヲナス
三時頃ヨリ機体製作
今日ハ又アタマガ重カッタ

▲▼306ページ▲▼ 大正14(1925)年10月21日(水)

天気 晴

イシタ方明日ヨリ退所シタシトノコト ○四年勤メタ由 ヨク其勞ヲネギライ又急ガシ時ハ手傳ツテ呉レルコトニ打合せス
朝手紙記帳。泉屋ヨリ又請求ガ來タノデ使ノモノニヨク通信帳簿ヲ見セテ領(ママ)解ヲ求ム
自轉車屋ガ來タノデ之レハ品物ヲ返スコトニシタ

稲垣父ヨリ六月一日送金ノ件ニツキ嚴シイ手紙來 スグハガキニテ返事出ヌ
夕方機体製作

禿氏尚半金デモ手紙ヲ出シタ。菊池モ打電シタガ返事ナシ
イヨ、明日上京シテ見様ト思フガ今日モ信太郎醫者ヘヤルコトガ出來ナカッタ

▲▼307ページ▲▼ 大正14(1925)年10月22日(木)

天気 晴曇リ

菊池通信料付キデ漸ク午後返事アリ 廿三四日飛行スル予定 廿四日金送ルトノコト
ナリ

明日慰靈祭ノビラ撒キ二十円持ッテ來タノデホツトシタ 之レデ早速明日上京ノ予定
知覽天王寺谷ヘ打電ス

夕食中天王寺谷、富田ト云フ青年ヲ連レテ來テ來月三日九州延岡デ飛行スルニツイ
テ天王寺君ニ依頼シテ來タトノコトニ今夜立ッテ呉レトノコトデアルガ何シタモノカトノ
コト二三日ニハ到底間ニ合ワナイコトヲ立証シテ天王寺谷出張ヲ延期シ中島式取極メヲ
急ガセルコトニス
中島式ヲ組立ヲナス

▲▼308ページ▲▼ 大正14(1925)年10月23日(金)

天気 曇リ晴

九時頃ヨリ上京 十一時鳥飼ニテ知覽君ニ會フ 十合ノ件逋信省ヲタシカメ差支ナケ
レバイツデモ委任状ヲ書クガ少シマトメテ借リタイト話シテ居イタ 尚今日電車内デ
思ヒツイタ飛行場補助資格ヲ設ケテ補助ヲ出サセルカ委託生ヲ出サセルカヲ大臣ニ直
接話シ得ル人ニ交渉ノ件モ話シス。後チ日比谷ヲ散歩シ、渡辺ニ行キ鈴木ノ件話シ、朝
日ニテ金貫ヒ(三十號塗料)カガミガ原機体交渉セシモ各務ヶ原ノ分ハ以後同地デ整
備スルコトニナッタトノコト 六七百円デ出來ルナドト云ッテ居タガアトノ仕事ニ實際困
ツタ 尚來年度ノ事ニツイテ聞ク。サ式余リ出ナイトノコトニ伊藤式百馬力位ノモノヲ
使用スルコトヲ進メル 尚ヨク協議シテ居クトノコトデアッタ

早川氏ニ會フ

▲▼309ページ▲▼ 大正14(1925)年10月24日(土)

天気 晴

シヨーン中島式ノ件ニツキ永田ニ行ク ヤハリ不景氣ノ影響ハコ、ニモアツテトモダメラ
シカッタ

オソバデ酒ヲ馳走ニナリ帰ル
佐藤ニ立寄り環帯ヲ分ケテ貰フ
色々アトノ金策ヲ工夫シツ、帰ル 夜九時

▲▼310ページ▲▼ 大正14(1925)年10月25日(日)

天気 晴

此二三日メツキリ冷タクナツタ
千葉ノ高塚午後來 誠ニ自分ノ立場ヲウタガワレルノデ困ルカライクラデモヨイカラト
ノコトデアッタ 最モノコトデアル
大辻ヨリ千円持參金付ノ助手一名使ツテ貰ヒタイトノコトデアッタ 稲垣ノ金ノ入ル
場合ダカラ一寸考ヘタ。兎ニ角明日午後會フコトニ打電ス
菱伊氏來場 卅一日總會ノ準備ヲナス

▲▼311ページ▲▼ 大正14(1925)年10月26日(月)

天気 晴

小西機体洗ヒニ着手サセル
十時頃ヨリ上京 二時鳥飼ニテ大辻ト會フ 助手ノ件ヨク事情ヲ話シ稲垣ノ爲メニ止
ムヲ得ズ採用スルコトニシ今夜本人ト會見ノ結果電報ニテ知ラセテ貰フコトニス

▲▼312ページ▲▼ 大正14(1925)年10月27日(火)

天気 晴

菊池ヨリ六百円 眞田分モ到着 大ニ安心ス
慎テール自身ニテ初メル
夕方自轉車練習ス

▲▼313ページ▲▼ 大正14(1925)年10月28日(水)

天気 晴

橋本買物及瀬部へ上京セシム
千二百円入金アッタノダガ足りナクナツテシマッタノデ内ノ支拂ヲ止メ尚樋口ヨリ二
十円借りル

▲▼314ページ▲▼ 大正14(1925)年10月29日(木)

天気 曇り

上京 鳥飼ニテ大辻ヲ待チ八百五十円受取ル スグ正金ニ行キ巴里大使館氣付日佛銀行宛七百五十円 永田ハハ二百二十円上海支店渡シニテ送金ス 局ニ立寄リライトプレーンクラブ創立ニツキ課長ノ領(マ)解ヲ求メ朝日ニ行キ坂崎氏ニ書イテ貰ッテ巴里ヘ打電ス。久松氏ニクラブ發起人ヲ依頼シ鳥飼ニ立寄り佐藤ニ行ク 十六ニナルモノ一名世話スルトノコトニ会フ 身体モ大キク立派デアッタ

▲▼315ページ▲▼ 大正14(1925)年10月30日(金)

天気 曇晴

七時四十分ニテ吉田君ト同車 九時半横須賀着 井上藤原安藤ニ会フ 午□後田浦ニテ現品引取り田川ニ依頼シ 井上、藤原、安藤、宗里、木部、浅見ト追浜ヲ見学ス 新ラシイベニヤ張りノ飛行機ハイムケンヲ見タ ロールバツハノドウモ感心シナイ飛行機ダッタ

鳥飼ニテ石橋白戸ニ會フ 石橋ニ三日中ニ奉天ニ行ク由。佐藤ニ寄ッテ環帯ワイソギ帰ル

▲▼316ページ▲▼ 大正14(1925)年10月31日(土)

天気 晴

日本晴レノ好天長節デアッタ

今日ハ終日イソガシカッタ

高橋健手形書替六ヶ月

旧会社総会 菱伊佐藤氏來 型式ダケ終ル

▲▼317ページ▲▼ 11月

稲垣送金

ライトプレーンクラブ

拂下ノ件

紙製飛行機

▲▼318ページ▲▼ 大正14(1925)年11月1日(日)

天気 曇後雨

高野出勤 朝日三十号パイプ付 次夫君夕方部品取りニ帰ル
夜川辺ヨリ永田ゼッタイニツキ三百円送ッテ呉レトノ電アッタガ多分余市出張中ニ來
テ居タモノデアロウト思ッタ 尚先日三十円來タノハカストルヲ送ッテ呉レトノコトデア
ッタ由 明朝返事ス

▲▼319ページ▲▼ 大正14(1925)年11月2日(月)

天気 雨後曇

女工イシ休ミニツキアプロエレベター自分デ張り女工ニ縫ワセル
禿氏氏金件四日会见ノコト打電ス
此二三日頭ガ非常ニヨクナッタ 内ニジツトシテ居ルノハヨクナサソウダ

▲▼320ページ▲▼ 大正14(1925)年11月3日(火)

天気 晴

知覽関根外二名來場 拂下ニ関スル件
今日ハプロペラ塗りエヲヤル 思ッタ様ニウマク行ッタ 菊池帰ル 明日スグ仙台ニ帰ル
夜禿氏ヨリツゴウニテ九ヒアサウエノツクトノ入電アリ 困ッタ

▲▼321ページ▲▼ 大正14(1925)年11月4日(水)

天気 晴

謝其他手紙川辺引上ヲ急ガセル
飛行協会長岡閣下宛本所経歴書ヲ書イテ送ル
禿氏へ金取りニヤルコトニシ菊池ニ頼ム

▲▼322ページ▲▼ 大正14(1925)年11月5日(木)

天気 晴

元ノ器具室ヲ預リ品保管室ニ変更スルノデ片付ケヲナス。スパナー類ガ随分沢山出タ
三十号整備多忙

▲▼323ページ▲▼ 大正14(1925)年11月6日(金)

天気 晴

今日ハ終日十月分ノ記帳 昨夜眠レナカッタノデ思フ様ニカドラナカッタ

父宮内ヲタノムゼンソクヨリ持(ママ)ガヒドクナツタ
夜今村ヨリ禿氏氏十五日デナケレバ金出来
朝日三十号試飛行 木下氏受取テ帰ル

▲▼324ページ▲▼ 大正14(1925)年11月7日(土)

天気晴

父ハ今朝非常ニムネガイタイトテ苦シガツタ 夕方ニナツテ少シヨクナツタノデホツトシ
タ
其爲メ今日ハ何ニモシナカッタ 午後少シ帳簿ヲツケル

本記事ハ八日ノモノナリ

▲▼325ページ▲▼ 大正14(1925)年11月8日(日)

天気晴

今朝工場ニ出ルト永田君ガ来タ 昨夜遅ク帰タトノコト
大蔵ヲ付ケテ浅野ニ金取りニヤル 午後二時半帰ル 二千円ヲ練習費ニ 千五百円ヲ
預リトシテ受取書ヲ出ス

大蔵局児玉課長ヨリ川西行キノ想(ママ)談ガアツタカラ先生ニ万事タノムトノコト尚
最(ママ)非将来工場ニ働キタイノデ水上ヲ拡張シタラロ実ヲ設ケテ帰ルトノコト 外ナ
ラヨクナイ事ダガ坂東ニ対シテハアエテ遠慮スル要ハナイ
父今日ハ大変ヨカッタ様デアツタ

本記事ハ明日ノ分ナリ

▲▼326ページ▲▼ 大正14(1925)年11月9日(月)

天気晴

夕方菊池仙台ヨリ帰ル
十月分決算準備ヲナス

本記事ハ七日ノ分

▲▼327ページ▲▼ 大正14(1925)年11月10日(火)

天気 晴

父ハ今日大變工合ガヨサソウデアッタ
川辺へ浅野ノ金ノ内ヨリ六百円送金 其外諸拂ヒヲナシ手形未書替ノ分モスマセル
二千円ハナクナツタガ禿氏白戸ノ分ヲ入レテ居クコトニス
吉田君午後來場

▲▼328ページ▲▼ 大正14(1925)年11月11日(水)

天気 雨

仕事ヲ命ジテ居イテ上京 局ニ出頭 課長スグ出懸ケテ会エズ 三十号ノ実費調書ヲ
出シ中島大辻ノ願書ヲ訂正シ、サル落下傘装置ノ青写真ヲ貰ヒ、日日ニテ吉田君ニ會
ヒ共ニ知覽ト花月ニテ晝食 航空社問題ニ入り非常ニ非堪(ママ)中ノ由ニツキ吉田君ヨ
リ片倉へ伊藤君ニマカセテ見テハト交渉サセルコトニシタ 先日ノ方ハ一時保留ニスル事
広瀬ニテ麻布ヲ求メ病氣見舞ニ行ク

▲▼329ページ▲▼ 大正14(1925)年11月12日(木)

天気 晴

父ハ今日ハスツカリヨク床ヲ上ゲタ
學校及銀行計算ヲナス 預リノ千五百円ニ喰ヒ込ダノデモウ支拂ヲ中止スルコトニ
シタ 午後島村來 ヤムヲ得ズ百円ダケ拂フ
夜雨降ル 川辺君ヨリ金ツイタヘン來ル

▲▼330ページ▲▼ 大正14(1925)年11月13日(金)

天気 晴

▲▼331ページ▲▼ 大正14(1925)年11月14日(土)

天気 晴

▲▼332ページ▲▼ 大正14(1925)年11月15日(日)

天気 晴

今日ハ休日 一人デ雨戸ノガラスハメヲナス 二時頃迄カ、ツタ スツカリ出来上ツテカ
ラ上京 泊ル

▲▼333ページ▲▼ 大正14(1925)年11月16日(月)

天気 晴

池袋駅ニテ井上長一ト會フ 同車シテ行ク 十時前手續キヲ終リ雨宮氏ト押収 格納
庫へ飛行機ヲ見ニ行キ中央格納庫ニテ吉田君ニ會フ 十二時半和田君大坂ヨリ飛來ヲ
迎エテ上倉ノ模様ヲ吉田君ヨリ聞キヤ、有望ナリトノコトニ分レテ美好亭ニテ井上雨宮
両氏ト晝食後サルムソソノ發動機ヲ見ニ行クテ雨宮氏ト同車シテ帰ル

▲▼334ページ▲▼ 大正14(1925)年11月17日(火)

天気 曇リ

七時起床 佐野出勤セズ晝前借リタオーバーヲ返シニヤツタ處午後出テ來タ。橋本上
京シタイトノコトニ許可
本日出發ヲ見合セ帳簿整理 十月分決算ヲ終ル
發動機試験台ノタンクヲ學校部へ移轉サセルノデ午後八發動機飛行部全部カ、ル

▲▼335ページ▲▼ 大正14(1925)年11月18日(水)

天気 雨

不在中ノ仕事ヲ書キノコシ橋本佐野ニ命ジ上京 父ニ盛岡ニ行クトコトワル 遠藤ニテ
証樹一丁求メ佐野ニテボールトヲ注文。局ニ行キ検査ヲ依頼シ鳥飼ニ行ク 国際運送
ト協議シテ三十日ノ阿蘇丸ニ積込ムコトニシ今日ノ用件及右ノ件ヲ手紙ニテ津田沼ニ
送ル

▲▼336ページ▲▼ 大正14(1925)年11月19日(木)

天気 曇リ

六時半着 スグ工場ニ行ク 色々事情ヲ聞ク 先月出資スル筈ノモノナキ爲メ取引先キ
ニ違約多ク行ケナクナツタトノコト 又利益モナクナツタニツキ田舎ニテモ引コモル様ナ
話モアツタガ、尚一度個人的ニ自分ガ出資ニツキ意見ヲタゞシテ見ルコトニシタ 晝頃恵
美須町ニ行ク 母ノ墓ニ参ッテ宅ニ行ク 姉夫妻ニ到底出ス見込ミハナイモノト思ワレタ
午後兄來 公園ニ行キ兄ノ決心ヲ聞ク

▲▼337ページ▲▼ 大正14(1925)年11月20日(金)

天気 雨

早朝大降りの中ヲ堺ニ行ク 五次郎外出ノ處デアッタノデ井上ニ行キ二時間ノ後再ビ行ク マダ帰ラヌトノコトニ來テ貰フコトヲタノミ帰リ竹島老主人ノ病氣見舞ニ喜代市氏ト行ク 此頃ヨリ雨ヤム 帰途朝日ニ立寄り 野田氏不在 長舉氏ニ面會 經濟的機体ノ便ニツキ大ニ論ジ且ツ依頼シテ帰ル。四郎平君病氣ノ爲メ丁度來合セタ五次郎君ト同道行ク 文句多ク到底出資ノ見込ミナシ タ、一時的融通ナラバ出ストノコト尚喜代市五次郎ガ引受ケルナラ出資モ差支ナシトノコトナリキ 五次郎ハ見込ミナシヤハリ一時的ナリトノコト 二人ニ分レテ帰リ兄及ツル君ト協議 人ヲタノマズヤルコトニシテ、今日八円手町ニ泊ル

▲▼338ページ▲▼ 大正14(1925)年11月21日(土)

天気 晴

朝工場ニテ獨力実行ニツキ協議シ表ヲ貸シ工場ニテ營業スルコトニナリ君子ノ健康ノ爲メ津田沼ニ引取ルコトニ決メル
松谷ニヨリ晝食ノ馳走ニナリ、恵美須町ニテ帰リノ仕度ヲナス。ツル來 家庭ノコトニツキ今少シヨクキメテ呉レトノコトニ今日延期スルコトニナル
夜清平ト活動ヲ見ル

▲▼339ページ▲▼ 大正14(1925)年11月22日(日)

天気 晴

朝清平ト温泉ニ行キ天王寺公園ヲ散歩シ石垣ニ寄り自轉車ヲ頼ミ表ノ借家人ノ件ニツキ聞合セタガ一寸頼リナカッタ
晝前ヨリ裏ノ兄トナンバニ行ク ソレヨリ先姉ト打合セ組合ノ分裏デ全部負擔スルコトニナル
工場ニテ八ヶ條ニ渡ル案ヲ作製 皆ノ同意ヲ得テ実行スルコトナル タゞ未決ニ差當リ式ヶ月ノ出資ヲナスコトト父ノ予(ママ)金ノ事デアッタ。君子ヲ連レ八時五十分兄靖、久次郎見送りニテ出発ス

▲▼340ページ▲▼ 大正14(1925)年11月23日(月)

天気 晴

十時東京駅着 富士ハ初メヤ、雲ガアッタガ次第二晴レテヨク見エタ 二重橋前ヲ拝觀

シテ兩國ニ行キ十一時ノ汽車ニテ帰ル
午後工場ヲ見帳簿記入

▲▼341ページ▲▼ 大正14(1925)年11月24日(火)

天気 曇リ

帳簿ヲスツカリ記入ス
各方面手紙ヲ出ス

▲▼342ページ▲▼ 大正14(1925)年11月25日(水)

天気 曇リ

終日在所 之レト云フコトモシナカッタ

▲▼343ページ▲▼ 大正14(1925)年11月26日(木)

天気 曇リ

今日ハ非常ニ冷エタ

十時頃ヨリ出テ上京 局ニテ児玉課長ニ會フ 大蔵川西行キノコト 鈴木ノ事 ライト
プレーンノコトスベテ領(ママ)解ヲ得

吉田君ニ會フ 上倉ノ方ノ返事ヲ聞ク 近ク同道スルコトニ打合せス

知覧君ニ會フ 杉山少将ノ意向ヨシトノコト

朝日ニ立寄りテ帰ル

佐藤ニテ買物ヲナス

▲▼344ページ▲▼ 大正14(1925)年11月27日(金)

天気 晴

宮本氏ヨリ眞中モノノ件ニツキ佐渡島へ用事アリ会ヒタシトノコトニ午後ヨリ上京ス。佐
藤ニ立寄り奥田電話ニテ交渉後ステーションホテルニテ會フ 沈没船積荷ノ眞中塊百
五十屯(ママ)バカリノモノヲ買ツテ貰フニツイテ同船引上費ノ金融通方デアッタ。駄目
ダトコトワツタガ一應聞イテ呉レトノコトニ手紙出スコトニシタ

▲▼345ページ▲▼ 大正14(1925)年11月28日(土)

天気 曇後雨

終日在所 大倉上京セシム
川辺君モ來宅 禿氏委任状モカ、ザル由 局補助金下附ノ上支拂フトノ書類ナラ書ク
トノコト 不誠意極マル人デアル 実二人ハ見掛ケニヨラナイモノダ

▲▼346ページ▲▼ 大正14(1925)年11月29日(日)

▲▼347ページ▲▼ 大正14(1925)年11月30日(月)

天気晴

早ク白戸ニ行ク 朝食ヲ馳走ニナリ

▲▼349ページ▲▼ 大正14(1925)年12月1日(火)

天気晴

鈴木結婚ノ件ニツキ渡辺ニ行ク 五日結納 廿頃婚禮ノ事ニ打合セテ帰ル
鳥飼へ行キ稲垣ノ金策ニツキタノム

▲▼350ページ▲▼ 大正14(1925)年12月2日(水)

天気 晴風

終日烈風ノ爲メイヤナ一日デアッタ
芝入氏來場

▲▼351ページ▲▼ 大正14(1925)年12月3日(木)

天気 晴

小供ノ自轉車來 組立ル
検査官來

七時頃迄夜業シテ十一月分決算終ル
今日鳥飼ノ返事聞ク爲メ上京ノ予定ナリシモ明日ニス

▲▼352ページ▲▼ 大正14(1925)年12月4日(金)

天気 晴

川辺ニテ打合せ後上京 三越ニテ買物ヲナス 四日五十 最低一組 安イモノデアッタ
局ニ行キ操縦士願書提出 補助金書類不備訂証(ママ)ス
朝日ニ行ク 早川氏ニ階段ニテ會フ 各務ヶ原機体明日取りニ行ツテ呉レルトノコト 雨
宮氏ト同道スル事トス 三十号大坂根(ママ)屋川附近ニ不時着小破セリト
大塚大尉平壤ニ轉任セリト 実ニ好都合 官報ヲ見ルト山本大尉モ各ヶ(ママ)務ヶ原
一隊附近ニナツタ 万歳デアアル

◆▼3553ページ◆▼ 大正14(1925)年12月5日(土)

天気晴

六時起床 仕度ヲナシアトノ事ヲ橋本其他ニ差(ママ)圖シテ九時出ル 取アエズ渡辺ニ
行ク 不在 シバラク待ツ 御湯ニ行ツテ居タラシイ 十二時同三度納メテ日取りノ打
合せヲナシ朝日ニ行ク 十五日過ギデナイト引取レナイトノ事ニ五百円借りテ帰ル 日
比谷デ打合せヲナシ廿二日午前十一時ト取キメル
十一時ノ電車ニテ帰ル 乘シテマクハリヨリ歩ク

◆▼3554ページ◆▼ 大正14(1925)年12月6日(日)

天気晴

終日気分スグレナカッタ 非常ニツカレタ様デアッタ
芝入氏來 大毎機検査 発動機振動アリ
夜トツカピンヲ買ヒニヤリ早く眠ル
信太郎自轉車今朝出來練習ヲ初ム 晝頃ニハスグニ数丁ヲ走り旋回モナス

◆▼3555ページ◆▼ 大正14(1925)年12月7日(月)

天気晴

信太郎今日ハ金太郎ト稲毛迄遠乗リシ夜シリイタイトテ泣顔シテ居タ 早く覺エタニハ
驚イタ

大連出張所ノ件ニツキ笹山ノ條件

- 一 名儀(ママ)ヲ伊藤出張所トスルコト
 - 二 笹山、高見、伊藤ノ共同ニシ損益等分ノコト
 - 三 出張所ハ高見笹山ニ全權ヲマカスコト
- 右ニツキ全部承認ス 但シ三ニ對シ根本的問題ハ自分ノ承認ヲ求メル事ヲ追加ス

◆▼3556ページ◆▼ 大正14(1925)年12月8日(火)

天気 晴

終日決算ヲナス

渡瀬材木店、日米石油今井氏來場ス 工場日記ニアリ

▲▼357ページ▲▼ 大正14(1925)年12月9日(水)

天気 晴

終日決算 夜終ル

井上長一へアブロン件手紙出ス

▲▼358ページ▲▼ 大正14(1925)年12月10日(木)

天気 曇後晴

君子本日ヨリ學校へ入學セシム 信太郎買喰ヒニツキ校長ヨリ注意アリタリ
局飛行協会日本製麻ニ行ク 事務所日記ニアリ

▲▼359ページ▲▼ 大正14(1925)年12月11日(金)

天気 晴

終日在所

▲▼360ページ▲▼ 大正14(1925)年12月12日(土)

天気 晴

時事 内親王八照ノ宮成子内親王殿下ト御命名アラセラル

七時ヨリ出テ所沢ニ行ク 佐藤ニ立寄りニユーム板注文ヲナシ十時日日ニテ吉田君ト同道 自動車ニテ所沢ニ行ク 途中同氏山本大尉ト会见ノ模様ヲ聞ク ヤ、好望ノ如ク十五日同大尉ニ會コトス 本日和田君大坂へ飛行後上倉ニ寄ル 主人不在 若主人ニ會フ 四時帰ル 佐藤ニ立寄り
謝文達へ爲替取組ミタル由

▲▼361ページ▲▼ 大正14(1925)年12月13日(日)

天気 晴

午後一同ニ決算報告ヲナス

大坂兄雨宮へ手紙出ス

▲▼362ページ▲▼ 大正14(1925)年12月14日(月)

天気晴

吉田君來 検査官明日來ル由 明日山本大尉ト吉田君宅デ会フコトトシ午後式時山本大尉ニ吉田君處へ來テ貰フコトヲ打電ス
矢野氏來 前ニハナマケタガ今度ハ大ニ働クカラ最(ママ)非ツカッテホシイトノ事デアッタ。今少シ何ントカナッたら又御願ヒスルト返事スル
父ヨリ竹島新三郎氏病氣見舞ヲ出ス

▲▼363ページ▲▼ 大正14(1925)年12月15日(火)

天気晴

十一時頃出懸ケタ處へ浜名氏來場 天王寺谷、大毎機終ル 慎機尚振動アリ。糸川來 七十円受取ル 残金明日午前中返金ノ事ニテ人形町ビラ撒布
一時二十分ノ電車ニテ上京 佐藤ニ立寄り吉田氏へ行ク 丁度四時ニナッタ 夕食ヲヤリツ、先ヅ山本氏ノ意見ヲ聞ク 長口(ママ)舌ガアッタガ結局氏ガ千円程現金ヲナルベク出サナイデト思ツタガ尚即決ヲ保留ス
九時辭シテ歸ル 十二時

▲▼364ページ▲▼ 大正14(1925)年12月16日(水)

天気晴

中山氏ヨリ來テ呉レトノコト二十時頃ヨリ出懸ケル 佐藤ニテ航空社問題金ニツキ相談 春ナレバトノコトデアッタ
夕方吉田君へ弍千円ヲ千五百円ニ引下ゲ、伊藤名儀(ママ)ノコト年内ニ覺書キヲ作製 春登記スルコトニ話ス
局ニテ課長ヨリ修理ノ件種々懇切ニ話シアリ。決算報告ヲナシ希望ヲ述ベテ辭ス 遠藤氏ニ会フ 廿五日頃迄金待ツテ呉レトノコト 廿日頃十五平方空輸スルカラ、タノムトノコトデアッタ。朝日ニテ伊藤氏ヨリ廿三平方トアブロ注文ヲ受ク。大毎十年式見積リヲ出ス事トナル
夜福屋ニ行き中山氏宿ニ同宿ス

▲▼365ページ▲▼ 大正14(1925)年12月17日(木)

天気晴

久シ振リニ宿屋泊リデ朝湯ニ入ル
有楽町、区役所へ名儀(ママ)変更届出ニツキ書類ヲ作ルベク麹町区役所ニ行キ代書ニ書
類ヲ作ラセ有楽町ニテ鳥飼ヨリ印ヲ取ル 時間ガ大分間ガアッタノデ日本製麻へ金支
拂ニ行ク 明日麻布間ニ合セテ貰フ

◆▼366ページ◆▼ 大正14(1925)年12月18日(金)

天気 晴

中山氏ヨリノ照電ニテ朝一二通手紙ヲ書キ上京 福屋ニ行ク。有楽町借手アリ 鳥飼
氏トノ仕切ヲシテ貰フニツイテ立会テホシイトノコトデアッタガ、カンジンノ借手ツヒニ
來ラズ不調ニ終ル。

夕方局帰リノ學生、川辺君ト同道 散歩方々高田氏ヲ訪問ス 後チ鳥飼ニ立寄り麻
布ヲ受取り菊池旦代ニ持タセテ帰ス

中山氏ノ出発後八時半帰宅夕食

ドウモ近來腹ノ工合ガ悪イシ且ツ頭モ悪ルク何ンダカ、腦充血ニデモナリソウナ氣ガシ
テ一度醫師ニ見テ貰ワネバナラヌ

◆▼367ページ◆▼ 大正14(1925)年12月19日(土)

天気 晴

夜田中不二雄君來

◆▼368ページ◆▼ 大正14(1925)年12月20日(日)

天気 晴

夜少雨

局補助金ノ件鳥飼ニ立寄りアンドリユース内金ヲ渡ス

吉田君トイケスニテ会见 覺書下書キヲ作ル

目黒鈴木鉄工所ニテ齒車式十三日中ニ完成ノ事ヲ約束シテ帰ル

◆▼369ページ◆▼ 大正14(1925)年12月21日(月)

天気 雨

終日在宅 午後川辺ニテ鈴木ノ打合セラナス 百円借り受ケ所員ニ分配ス

◆▼370ページ◆▼ 大正14(1925)年12月22日(火)

天気 晴風

全国多ク東北ニ暮風アリ 片岡君福島ニテアプロ破壊サレシ由
早朝上京 局ニテ中島式補助金ノ件ヲ森川氏ノ領(ママ)解ヲ得 課長急(ママ)ガシク
後チノ事ニス 局ニテ吉田君ニ會ヒ風月ニテ茶ヲノミナガラ話シラス 覺書出來ル 名儀
(ママ)問題上倉ノ名ヲ出ス事ニヨツテ自分名儀(ママ)ハ固シツセザル事トス 朝日ニ寄ル
久松氏待ツ 十二時過ギル 止ムナク用件ヲ依頼シテ帰ル
自分デ白戸式胴体ヲ張ル
社ヨリ稲垣父へ半金借入ノ手紙出ス

▲▼371ページ▲▼ 大正14(1925)年12月23日(水)

天気 晴

鈴木結婚式 自分媒酌人トシテ立会フ
夕方自動車ニテ津田沼ニ帰り一切ヲ終ル
大蔵上京セシム 大毎残金受取り

▲▼372ページ▲▼ 大正14(1925)年12月24日(木)

天気 晴

終日在所
夜鈴木ノ所員対スル披露会ヲ設計室ニテ行フ

▲▼373ページ▲▼ 大正14(1925)年12月25日(金)

天気 晴

十時ヨリ上京 局ニ補助金ヲ聞合セタガ経理部ニ行ツテ居テ到底間ニ合ワズ。課長ニ面
会 アトノ中島式ノ件辻本君ヨリ話シタコトニ関シ領(ママ)解ヲ求メ春ノコトニス。慎君
ノ試験不合格ニツキ想(ママ)談ス
稲垣ヨリ明日送金ノ事ニ借用金ノ事極メメル 明日送金ノ金工夫ス 漸ク止ムナクバ
三十八号ノ金ヲ受取ル方法ヲ立テ夜帰宅後十時計算書ヲ作ル
吉田君ニ會フ 上倉東ナルモノハ賃貸シタシトノコト 大ニ我意ヲ得タレバソノ方法ニテ
進ムコトニス
清平來ル

▲▼374ページ▲▼ 大正14(1925)年12月26日(土)

局ニテ早川氏ニ領(ママ)解ヲ求メ朝日ニテ三十八号残金及。ハラシユートノ金全部受取ル。
スグ正金ヨリ稲垣へ送金 大倉ニ稲垣ヨリ五百円借りニヤル 百円別ニ受取ル。日本自
動車へ五十円内入りニヤル

▲▼375ページ▲▼ 大正14(1925)年12月27日(日)

天気 晴

航空社問題ニツキ十時ヨリ吉田君へ行ク 丁度二時前山本氏スグニアリ 二時上倉、
高橋來。決(ママ)局第二案 貸貸借七十円、後四百二十円三ヶ年ノ契約ニテ尚会社
組織ノ場合彼レ等ニ優先権ヲ與フル事ノ覺書ヲナスコトトシテ夕食後分レル

▲▼376ページ▲▼ 大正14(1925)年12月28日(月)

天気 雨曇リ

九時半局ニ出頭 スグ請求書提出 午後一時小切手受取り日本銀行ニ行キ四時半現
金ニナル

其間児玉課長ト早川氏ノ領(ママ)解ヲ求メ朝日三十号ノ修理内金五百円ヲ借ル
夜日比谷松本ニ出席 相羽君ノ送別会ニ

▲▼377ページ▲▼ 大正14(1925)年12月29日(火)

天気 晴

十一時帰宅 諸給與ノ取調ベヲナス
海気館ヨリ番頭來場 一月ヨリ月賦トス

▲▼378ページ▲▼ 大正14(1925)年12月30日(水)

天気 晴

禿氏、大口、遠藤一文モ這入ラズ。其上ニ吉田君ニ五十円、浅野洋服代ニ四十八円取
ラレ閉口 兎ニ角所員佐野ノ外全部支拂ヒヲナス
小林其他ツヒニ一文モ支拂出來ズ 禿氏へ請求ス
夜禿氏ヨリ三時電爲替セリトノ返電アリタリ

▲▼379ページ▲▼ 大正14(1925)年12月31日(木)

天気 晴風

午前中工場事ム所方付ケヲナス
羽太氏來場セシモ風強ク飛ベズ 晝食後帰ル
三時半漸ク禿氏ノ金來 ソレ迄氣ヲモムコト一通リナラズ 米屋ヲノバシ 高塚ト鈴木
工場へ各五十円ヅ、佐野へ昨日二十円ノ外二百円ト大蔵三二十円 アト八十円ニテ
御節ト正月ノ小遣ニアテル

ヤハリ本年モ同ジ正月ダ 然シ去年ヨリイクラカマシノ様ダ
尚明年度ノヤ、ヨサソウナ配氣(ママ)ガ見ユルノトデ去年ノ様ナ非(ママ)觀ハシナイ。コ
トニ航空社問題ガ馬鹿ニウレシイ

◆◆380ページ◆◆ 補遺

(153ページから続く)

振旗氏ハタゞコチヲノ云フ通りデヨカノウ、トノコトダケデアッタ 自分ハ挨拶シタ
ダケデ横山氏ガ書類ノ書方ト提出方法ニツイテニ三打合せサレタダケデアッタ ソレ
カラ横山氏一人デ、盛岡トカ云フ少佐三面會ヲシタ 大分話シタ 永カツタガ結句軍
馬補充部ノ土地ハ絶対ニ駄目ダカラヤメロトノコトデッタトノコト。一度横山事ム所ニ
引上ゲ善後策ヲ協議ス 尚出頭ノ一方ノ方ハ馬政局へ移管ニナツテ居ルカヲテ之レモ
ダメ。ヤルナラ朝鮮ノ方ガ有望ダトノコト 高田ハスグソレデハ朝鮮ノ方へ願書ヲト云フ
様ナ氣配ガ見エタカラ自分ハ利権屋トアヤマラレルノハイダカラ止メタイト云ツタ 横
山氏モ其説デアッタ 尚コノ軍馬補充部ガ駄目デアルコトハ、スグニ横山氏ガ以前高級
副官カラ聞イテ高田ニ話シテアッタトノコト。ソレヲ僕ニ今迄カクシテ居タノダ イヨ、
信用ゼロダ 之レガ駄目トスルト北海道ニ飛行ス目的モナクナツタ訳デ高田氏ト

◆◆381ページ◆◆ 補遺

(153および172ページから続く)

自分トハ全然縁ガナイコトニナル
七時頃辭シテ日比谷デ高田ト分レ帰宅 明日斎藤ヲ廿一日ニ津田沼へ連レテ行クコト
ヲ打合セテ知ラセルトノコトデアッタ 帰途手紙デ高田ト縁切ニ一切手ヲ引イテ貰フ
コトヲニツツテヤロウカト考ヘツ、帰ツタ 小供ハ大丈夫カシラ

六月十二日續キ

尚本人ハ家庭ハタトエ内職シテモヤルトノコトニ大ニ自分モ氣持チヲ直シ後チ川辺君ニ此
度ノ件ヲ一切話シテ領(ママ)解ヲ求メ、後チ佐野川辺ヲ和解 將來協調シテ工場ノ發

展ヲ計ルトノ言ヲ得タノデ、之レヲ機会トシテ西田今村ニ会见 領(ママ)解ヲ得 次イ
デ荒木、鈴木、菊池、橋本、近藤、大蔵、ヲ呼ビ將來從來ノ感情ヲ去リ元ノ飛行部ト
シテト同ジ心持チデ互ニ工場ノ爲メニ努力サルベク領(ママ)解ヲ求ム 大蔵一人尚種々
ノ事ヲ云ヒ出シタガ、取リ上ルベキ何等根拠アル話ニアラス。タゞ感情問題ニスギナカッ
タガ尚ヨク領(ママ)解スル様コン、川辺、自分ヨリ話シツヒニ沈黙シタ コ、デ

◆◆382ページ◆◆ 補遺

(381ページから続く)

目出度解決ヲ終ツタノガ丁度六時頃デアッタ

午後二時過ぎ長尾大尉立野助手來 鈴木ノ台北拡張順調ニ無事終ル

菱伊ノ名刺ヲ以テ大正火災保険会社員來場 工場ヲ案内ス

夕方吉野ト云フ横浜ノ人 昨日居イテ帰ツタドグラスヲ取リニ來ル マダ出來テ居ナ
カッタノデ明日ニシテ貰フ 話シ好キノ男デ一時間バカリ話シテ居タ 後チ飛行機ヲ見
セル 大辻ノ飛行機五百円ナラ賣ルト云ツタ最(ママ)非買ヒタイト云ツテ居タ

知人名簿

住所	電話	氏名	関係
盛岡市呉服町二一	六五九	日ノ出館 中田英太郎	
々 内丸三六	八六三	禿氏岳山	
々 々	一〇一 二三七 九二八	岩手日報社	
々 鍛冶町 長沢屋		阿部康蔵	
々 油町七六番地		工藤長孝	
々 呉服町 日出館		中田	
札幌市山鼻町四一七	一五〇六	阿由葉宗三郎	
々 北三條東三丁目五	一七五八	湯谷政治	
々 南四西三、七	二三〇 四四〇	石黒雅吉	
々 北大通り西三、六	二五〇〇(4)	北海タイムス	
392 ページ			
盛岡市八幡町		野川初太郎	
々		沢田屋	
札幌市南三、西五、二	五二五	福井事青鬼竹松	
旭川五条通十八丁目右十号		村上五平	
満州長春東三馬路源豊號		謝文達	
札幌測候所		豊蔵所長	
同南大通西十丁目		林類蔵	
同 々 北海タイムス		山口政氏	
同測候所々員根室測候所々長	四六九	松川哲美	
小樽新聞社重役		坂牛眞太郎	禿氏照介
旭川新聞社長		田中秋戸	々
393 ページ			
室蘭毎日新聞社長		鈴木重吉	々
小樽新聞札幌支社員		板谷	松川氏照介
盛岡市新馬町九五ノ十五		西小路晃雄	
北海道古平町	五九	横山隆起	
札幌市山鼻町一七九〇	関南人呼出二七一 三	竹下浩	
々 全五五七		河合七郎	北海タイムス社会 部長
々 北十一條西三丁目五番地		東富七	々

青森市古川町廿四 丸大東奧運送店方	一五	小田桐健次郎	
仙台市名掛町三五	二〇〇三	中沢修蔵	宮城飛行協会会計
々 新傳馬町	一四九八	菊田定郷	々市会議員
東京市深川区和倉町三番地黒亀橋ギワ		三倉製材所亀次郎	墨田五八四六
巢鴨町巢鴨一〇七二		菱伊新三郎	
394 ページ			
深川区有楽町一ノ一 有楽館六階富国 徴兵保険会社	二味篤ノ助		
埼玉県浦和町二七〇〇		同	自宅
東京西巢鴨町二四三		東京軽合金製造所	
東京府下荏原郡池上村大字徳持四九四 池上電車池上下車	高田益三	高田式三ッ丸モータ ー製作	
下谷区清水町十七番地	小石川七二一五	大正國士会本部	
府下瀧ノ川町田端一九五番地	々 六九二五	岡本天龍有輪事	
京橋区南鍋町一ノ五 山口ビルデイン グ	銀座三八二四	古瀬菊雄	
芝区愛宕町三丁目一番地		渡辺吉五郎	
札幌南七條西六丁目		鈴木源十郎	サッポロ社
札幌市南七條西五丁目	一七九九	吉田重貞	札幌毎日新聞
札幌市南一條西三丁目		松本英次郎	札幌商会議員
395 ページ			
福島市曾根田町田中二七	四二二 四二三	稲葉常吉	
本郷区駒込林町一八一	小石川一八二七	同出張所	
京都市中立賣御門前	西陣二三四六	小国長兵衛	
牛込区山吹町七七		堀洋三	
札幌南大通西三丁目	三五九	本沢直道	一正亭
牛込区津久戸八幡町四番地		高林清三	
府下荏原郡大井町海岸二五〇五		々	
仙台市新傳馬町	一四九八	菊田定郷	市会議員 宮城飛 行協会理事長
府下杉並町阿佐ヶ谷八〇一		吉田禎治	
巢鴨宮仲二二三七		春沢得一	
鎌倉小町三五五		松本源三郎	
南葛飾郡小松川町下平井		亀村梅吉	
396 ページ			
京橋区銀座二丁目十二番地		米井商店	
赤坂表町三ノ三三		安藤幾太郎	

深川区木場町十八番地		山田正太郎	
牛込二十騎町一四		寺家村和介	
		瀬部多蔵	
府下大井町関ヶ原一二一〇		石橋勝浪	
中野千光前三〇二三		杉浦幸三郎	
京都室町中ノ立賣下ル	西陣一二七一	柳原美行	
府下大井町字金子六二〇六		田中福二郎	
千駄ヶ谷字原宿二九〇		対馬二郎	
本郷湯島六丁目廿七	小石川七四一三	アート商会	柳原
397 ページ			
府下入新井町不入斗一一八六		片岡文三郎	
京橋区霊岸島町六	銀座三四九五	桑原商店	
夫塚仲町四一		伴野賢造	
大坂市西区新町北通一丁目五番地		中島直光	
大連市弥生町二番地ノ二〇		高見安次	
岐阜市加納町五ノ一〇五一		大塚寅雄	
満州鉄嶺小五条通り		笹山徳太郎	
日本橋区本町三丁目二十一山口ビルディング七階	大手一一七一 三四三〇	日米石油株式会社 今井庄太郎	
神戸市会下山手 六丁目神港クラブ内 会下山館一号室	佐藤鈴子		
麹町区紀尾井町三番地		磯部鉄吉	
大連市外譚家屯所振東學舎		金子雪齋平吉	
東京小石川区水道端三丁目十六番地 牛込区築地町十五	水口秀世		
398 ページ			
大井町鹿島谷三一四四番地	大森一〇六九	伴野賢造	
東京日本橋区本町三山口銀行六階	大手二六一	東京商店	伴野氏
府下荏原郡大森入新井町新田		同工場	
支那河南省洛陽西宮營市街六号		安岡駒好	
東京府下巢鴨新田八二九	小石川四六六七	石橋計器製造所	
本郷駒込千駄木町五八 安藤方		高田信行	
名古屋市東区矢田町		右同	
静岡市川辺二七五		青島飛行機自動車研究所	
横須賀海軍軍需部々員		片平機関大尉	
中華民國開封慈閔里十四号		謝騰甫	

横須賀海軍軍需部長		芹沢主計大佐	
399 ページ			
霞ヶ浦海軍航空隊機関隊長		佐藤中佐	
々		西島俊夫中尉	
々 副官		可児満寿夫	
麴町区永田町一丁目卅一番地	青山六八八〇	森四郎	
名古屋市外小幡ヶ原陸軍演習場 名古屋飛行學校		太田喜八郎	
日暮里日暮里町一〇七四		磯健太郎	
本所江東市場		益田秀吉	
海軍省艦政本部第二部		桑原中佐	
		畑英太郎	
所沢飛行學校操縦班		赤木大尉	
々 三國町御幸町		鈴木彦蔵中佐	
横濱市尾上町三丁目 アサノベニア横浜賣店 ミツバ商会	徳永清吉		
400 ページ			
東京府下亀戸町一七七五		松崎峰太郎	
神戸市三ノ宮町一丁目		高島虎楠(神港タクシー株式会社ニテ)	
長春東三馬路源豊號	電報	謝文達	
北京前門外煤市街漳州西館		謝文達 張如璧	
河南省督辦軍務公署副官處		謝騰甫	
北京南新華街南口 振北公司 發動機材料 天津留メ			
401 ページ			
河南省代表 上海英租界静安寺南洋路叶應里五四〇号	凌印青		
漢口大智門輔義里 河南督署辦公處長		郭文軒	
千葉鉄道聯隊内計理部		田中春助	30
東京小石川区雜司ヶ谷町十一		糸川良和	
岐阜県恵那郡大井町本町		近藤辰次郎	
松山市春日町		高木市太郎	
東京府下羽田北糞谷町二八四六		天王寺谷季一郎	
住吉区住吉町九八六ノ三		中正夫	
402 ページ			
府下豊多摩郡杉並町成宗九十三番地		佐伯岩見	

牛込区飯田町六ノ一		々	事ム所
有楽町一ノ四	大手五二一〇 高 ナワ四六九一	宮本喜與蔵	
上海文路一三八号	北一六〇四	大東貿易公司 相内 重太郎	支那 宮本組 飛 機
小石川同心町一番地		中屋事川辺清一	
夫連市三葉博覧会第一会場第二號賣店		笹山徳三郎	
本郷駒込林町一七四	小石川五三三 五 一五一	亀田源次郎	河喜多研究所
月木 午後 2-4 田町ビル号室寿永前	高輪四四五三 カ マクラ七〇	寺島宇瑛美	
東京府下高田町七八〇		有坂ミサオ	
東京市麻布区東町一三 鈴木方		大辻春雄	
督理浙江軍務善後事宜公署参謀處		洪雪中	
403 ページ			
東京市芝区芝公園第五號地二番ノ五 株式会社アンドリュース商会	アールエムアンド リュウス		
宮城縣本吉郡唐桑村大字唐桑鮪立		鈴木義雄	
松山市港町五丁目 料理店		高須賀	川辺
松山市北京町七七 小池ハルヨ方		高木治恵 近藤	
麻布区本材木町二〇〇		宇野岩崎信太郎	
市外滝ノ川町田端三十三番地 八幡前神 明車庫前		高田信行	
千葉市千葉町吾妻町二丁目		高塚藤吉	
仙台市 南町 皆実町一四〇ノ一		眞田行綱	
広島県尾道市三軒家町 寒月堂方			
大連市沙河口大正通り三十番地		笹山徳三郎	
東京府下杉並町高円寺四五六		旦代次雄	
河南省鄭州醫院内		安岡駒好	
名古屋市南区大江町七番地		三菱内燃機製作所	

404、408 ページ

収入録

月日	摘要	金額
12	川辺四十円ノ残	30
々	同高田禮	11
々	イモヤ 千円口 2/22	350
1	川辺北海出發ノ時 3/10	300
12	川辺サイケン分	150
1/31	川辺 2/15	600
2/25	高田芋屋へ三百五十円ト共ニ返シ	150
2/28	手形別ニ入レル 3/31	200
408 ページ		
1/9	川辺手ヨリ芋屋	150.000
27	津田沼ヨリ	50-
2/4	村上五平	150-
3/19	白戸ヨリ 250 円ノ内	120.000
30	高田ヨリ札幌ニテ	40-
4/4	盛岡ニテ工藤ヨリ借	50-
4/8	白戸借分協会ヨリ	250-

416

支出録

月日	摘要	金額
5/4	永田滞留費	50-
々	々	60-
20	々 滞広	50-
々	々 々	30-
5/4	丸惣宿拂	13.15
6/16	川辺持参	200-
6/29	支那マグネトー送料	7.90
417 ページ		
	ガソリン	30-
418 ページ		
4/7	白戸借 250ノ内支出	円
/8	知覧	30-
々	高田	20-
々	買物メリンス	11-
々	電車パス	3-
々	電車	.83
々	晝食二人	.80
々	トッカピン	5-
々	小児オモチヤ	.35
々	吉渡肉屋拂	10-
々	同上次良三拂	20-
9	瀬部内入	50-
々	同利子	15-
々	汽車	1.62
々	電車	.83
々	瀬部土産物	2.20
々	晝食	2-
々	夕食二人	4-
々	雑誌	1-
々	立川行旅費	20-
11	近藤渡	10-
々	片瀬行	3.60

419 ページ		
3/30	雑誌	1.000
3/31	汽車賃	21.870
々	雑誌新聞	1.25
々	見送り番頭	1-
4/1	スゞユニカン	3.200
々	風呂番	.500
々	赤帽盛岡	.30
々	アンマ	.50
4/4	盛岡ムツカン拂	12.72
々	茶代祝儀	5-
々	電報	.30
5	晝食	2.50
々	クツ下	.450
々	電報外	.870
々	メンタルテストノ本	1.20
420 ページ		
7	朝食	.500
々	晝食	1.500
々	上野駅知覧君	1.500
々	電車	.420
々	自動車 タクシー	1.500
々	高田へ電報	.300
	第一回北海道行以上	
	第二回以下	
3/19	切符 二枚急行券共	47.500
々	高田渡	100.000
々	津田沼東京汽車	.790
々	赤帽 両国	.500
々	々 上野	.250
20	エハガキ	.250
々	辨當 森	1.000
々	電報 函館	.600
々	赤帽 々	1.000
々	お茶其他	.400

23	コンパス	3.350
々	現代	1.500
々	活動電車共	.880
26	サンパツ	.500
421 ページ		
3	牛乳	.250
々	車賃	.600
4	東京迄旭川ヨリ汽車二等	23.610
々	新聞雑誌エハガキ	.950
々	車中食事	.300
々	活動	.900
5	カバント手提ゲ	15.400
々	リンゴ八函土産物	15.520
々	電報料橋本	1.050
々	旅館中村屋	58-
々	女中七円茶代八円	15-
々	番頭	.500
々	夕食 4.50 雑誌其他	6.000
6	赤帽函館	.300
々	函館電車片道	.05
々	電報知ラント西小路	.70
々	キング三月号	.500
々	電車	.080
々	函館宿心付共礼晝食	5.350
々	夕食	1.500
々	急行券	2-
7	電報	.300
422 ページ		
22	書留	.130
23	印紙	.300
23	活動	.500
25	電車二往復	.240
24	印紙ト電報	.480
27	印紙	1.500
々	雑誌	.800

々	カミソリトクリーム	2.450
28	活動ト電車、夕食、櫛	3.500
29	風呂番心付	1-
々	活動トパウリストター	2-
々	電車賃	.240
30	週刊朝日	.120
31	キング	.50
々	カラーーツ	.75
31	不明	7.600
1	電車賃	.120
1	夕食三名松川板谷氏	12.000
2	サンパツ	.500
々	切	.450
々	電報	.300
3	旭川迄汽車	4.610
423 ページ		
1/9	高田渡シヤケ代	51.700
々	クツトカバー	13.500
々	夕食	2.400
々	晝食	.95
々	電車	.42
々	拂下代金	16.500
々	知覧渡シ	5.000
々	サンパツ	.60
10	自動車チップ	1.000
々	写真フィルム二本	1.400
16	飯坂印紙ト心付	2.000
々	札幌迄切符	18.200
17	宿番當	.500
18	赤帽	.300
々	禿氏贈物	3.500
20	新聞	.170
21	盛岡宿	10.600
々	雑誌	.500
々	晝食サンパツ	1.990

々	連絡船ボーイト急行券	1.800
々	夕食函館	1.050
22	ゴム靴ト電報 心付.50	8.400